

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第74集

ぬの ひら 遺 跡
布 平 遺 跡
ふる しろ 遺 跡
古 城 遺 跡

県営広域営農団地農道整備事業西臼杵2期地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

宮崎県埋蔵文化財センター

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第74集

ぬの ひら 遺 跡
布 平 遺 跡
ふる しろ 遺 跡
古 城 遺 跡

県営広域営農団地農道整備事業西臼杵2期地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

宮崎県埋蔵文化財センター

序

宮崎県教育委員会では、県営広域農道の建設に伴い、宮崎県西臼杵郡日之影町に所在する布平遺跡ならびに同郡高千穂町に所在する古城遺跡の発掘調査を実施いたしました。

この布平遺跡の周辺は、県総合博物館所蔵の布平出土とされる夜臼式の刻目突帯文土器をはじめ、以前から打製石鏃など縄文時代の遺物が出土することでよく知られております。今回の調査では、この縄文時代後期から晩期にかけての遺物が多量に出土したほか、中世を中心と考えられる掘立柱建物跡や多数のピット群等、現在に至る西臼杵地区の斜面を利用した居住形態の貴重な調査事例を得ることができました。

また、古城遺跡の調査では、緩斜面に立地した弥生時代中期末から後期にかけての20数軒の竪穴住居跡群や縄文時代早期の押型文土器・晩期の黒川式土器期の良好な遺物包含層などが調査され、この西臼杵地区の該期の人々の生活を解明するための貴重な資料が数多く確認されています。

本書が、学術資料としてのみならず学校教育や生涯学習の場で広く活用され、埋蔵文化財の保護に対する認識と理解の一助となることを期待します。

なお、調査にあたって御協力いただいた地元の方々や関係諸機関の各位に厚く御礼申し上げます。

平成15年3月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 米良弘康

例 言

- 1 本書は、県営広域営農団地農道整備事業西臼杵2期地区に伴い、宮崎県教育委員会が平成8～9年度に実施した布平遺跡の発掘調査報告書ならびに平成10年度に実施した古城遺跡の発掘調査報告書である。調査は、宮崎県西臼杵支庁農政水産課の依頼により宮崎県教育委員会が調査主体となり、宮崎県埋蔵文化財センターが実施した。
- 2 本書で使用した位置図は国土地理院発行の2万5千分の1図を基に作成した。また、周辺地形図は西臼杵支庁農政水産課作成の500分の1図を基に作成した。
- 3 発掘現場における遺構等の実測・写真撮影は、布平遺跡は主に米久田真二が、古城遺跡は和田理啓、福田泰典、柳田晴子が行った。また、空中写真については両遺跡ともに(有)スカイサーベイ九州に委託した。
- 4 遺物の実測・トレースは、土器については主として整理作業員が行い、菅付和樹、谷口武範、吉本正典が補正した。また、石器については、布平遺跡出土の石器のうち主要なものは株式会社文化財環境整備研究所に委託し、そのほかの石器ならびに古城遺跡の石器については、藤木聡を中心に重留康宏・遠部慎・古屋美樹・丹俊詞・小宇都あずさ・金丸史絵が実測し、トレースは藤木・重留ならびに整理作業員が行った。なお、遺物の写真撮影は菅付、甲斐貴充、今塩屋毅行が行った。
- 5 本書で使用した方位は座標北および磁北であり、それぞれG.N.・M.N.と明記した。また、基準高については海拔絶対高を用いた。これらの基準点の設置は、布平遺跡はフェニックス測量設計コンサルタント株式会社に、古城遺跡は有限会社高千穂開発に委託した。
- 6 土器の色調及び土層断面注記の土色の一部は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準拠した。
- 7 本書に用いた遺構の略号は、次のとおりである。
集石遺構…S I 竪穴住居跡…S A 土坑…S C 掘立柱建物跡…S B
- 8 布平遺跡で実施したテフラの同定、炭化物の年代測定、プラント・オパール分析ならびに古城遺跡で実施した樹種同定、炭化物の年代測定、プラント・オパール分析は(株)古環境研究所に委託した。
- 9 本書の執筆は、布平遺跡は菅付・谷口が分担して行い、古城遺跡は福田・日高広人・吉本・菅付・谷口・丹・藤木が分担して行った。編集は菅付・福田が担当した。
- 10 調査の記録類および出土遺物は、宮崎県埋蔵文化財センターに保管している。

本文目次

第I章 はじめに

第1節 発掘調査に至る経緯	(菅付)	1
第2節 調査の組織	(ク)	1
第3節 遺跡の位置と歴史的環境	(ク)	2

第II章 布平遺跡の調査

第1節 調査の経過と概要	(菅付)	5
第2節 遺跡の層序	(ク)	7
第3節 遺構と出土遺物	(菅付・谷口)	9
第4節 まとめ	(菅付)	34

第III章 古城遺跡の調査

第1節 調査の経過	(福田)	65
第2節 基本層序	(ク)	66
第3節 遺跡の概要	(藤木・菅付・谷口・福田)	66
第4節 縄文時代早期の遺構と遺物	(福田・日高・吉本)	77
第5節 縄文時代晩期の遺物	(菅付)	89
第6節 弥生時代以降の遺構と遺物	(谷口・丹)	95
第7節 石器	(藤木)	104

挿図目次

第1図 布平・古城遺跡の位置と周辺遺跡図	3
第2図 布平遺跡周辺地形図	6
第3図 布平遺跡基本土層及び土層断面図	8
第4図 布平遺跡V層上面検出遺構分布図	10
第5図 布平遺跡竪穴住居跡実測図	11
第6図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図(1)	12
第7図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図(2)	13
第8図 布平遺跡V層上面検出土坑実測図	14
第9図 布平遺跡VI層(アカホヤ)上面検出遺構分布図	16
第10図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図(1)	17
第11図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図(2)	19
第12図 布平遺跡出土土器実測図(1)	20
第13図 布平遺跡出土土器実測図(2)	21
第14図 布平遺跡出土土器実測図(3)	22
第15図 布平遺跡出土土器実測図(4)	23
第16図 布平遺跡出土土器実測図(5)	24
第17図 布平遺跡出土土器実測図(6)	25

第18図	布平遺跡出土土器実測図（7）	26
第19図	布平遺跡出土土器（8）・土製品・石製品実測図	27
第20図	布平遺跡弥生時代以降出土遺物実測図	28
第21図	布平遺跡出土石器実測図（1）	29
第22図	布平遺跡出土石器実測図（2）	30
第23図	布平遺跡出土石器実測図（3）	31
第24図	布平遺跡出土石器実測図（4）	32
第25図	布平遺跡出土石器実測図（5）	33
第26図	布平遺跡出土打製石斧形態別比較図	34
第27図	古城遺跡基本層序模式図	66
第28図	古城遺跡グリッド配置図	68
第29図	古城遺跡1区遺構分布図	70
第30図	古城遺跡2区遺構分布図	71
第31図	古城遺跡3区遺構分布図	73
第32図	古城遺跡4区遺構分布図	75
第33図	古城遺跡出土縄文土器実測図（1）	78
第34図	古城遺跡出土縄文土器実測図（2）	79
第35図	古城遺跡出土縄文土器実測図（3）	80
第36図	古城遺跡出土縄文土器実測図（4）	81
第37図	古城遺跡出土縄文土器実測図（5）	82
第38図	古城遺跡2区縄文時代早期集石遺構分布図	83
第39図	古城遺跡3区縄文時代早期集石遺構および礫の分布図	85
第40図	古城遺跡出土縄文土器実測図（6）	90
第41図	古城遺跡出土縄文土器実測図（7）	91
第42図	古城遺跡出土縄文土器実測図（8）	92
第43図	古城遺跡出土縄文土器実測図（9）	93
第44図	古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（1）	97
第45図	古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（2）	98
第46図	古城遺跡出土弥生時代以降土器実測図（3）	99
第47図	古城遺跡出土弥生時代鉄器及び玉類実測図	100
第48図	古城遺跡出土石器実測図（1）	108
第49図	古城遺跡出土石器実測図（2）	109
第50図	古城遺跡出土石器実測図（3）	110
第51図	古城遺跡出土石器実測図（4）	111
第52図	古城遺跡出土石器実測図（5）	112
第53図	古城遺跡出土石器実測図（6）	113
第54図	古城遺跡出土石器実測図（7）	114

第55図	古城遺跡出土石器実測図 (8)	115
第56図	古城遺跡出土石器実測図 (9)	116
第57図	古城遺跡出土石器実測図 (10)	117
第58図	古城遺跡出土石器実測図 (11)	118
第59図	古城遺跡出土石器実測図 (12)	119
第60図	古城遺跡出土石器実測図 (13)	120
第61図	古城遺跡出土石器実測図 (14)	121
第62図	古城遺跡出土石器実測図 (15)	122
第63図	古城遺跡出土石器実測図 (16)	123
第64図	古城遺跡出土石器実測図 (17)	124
第65図	古城遺跡出土石器実測図 (18)	125
第66図	古城遺跡出土石器実測図 (19)	126
第67図	古城遺跡出土石器実測図 (20)	127
第68図	古城遺跡出土石器実測図 (21)	128
第69図	古城遺跡出土石器実測図 (22)	129
第70図	古城遺跡出土石器実測図 (23)	130
第71図	古城遺跡出土石器実測図 (24)	131
第72図	古城遺跡出土石器実測図 (25)	132
第73図	古城遺跡出土石器実測図 (26)	133
第74図	古城遺跡出土石器実測図 (27)	134
第75図	古城遺跡出土石器実測図 (28)	135
第76図	古城遺跡出土石器実測図 (29)	136
第77図	古城遺跡出土石器実測図 (30)	137

表 目 次

表1	周辺遺跡一覧表	2
表2	布平遺跡B区北端土層断面観察表	7
表3	布平遺跡E区北壁土層断面観察表	9
表4	布平遺跡掘立柱建物跡計測表	10
表5	布平遺跡V層上面検出土坑計測表	15
表6	布平遺跡VI層上面検出土坑計測表	15
表7	布平遺跡出土土器、その他観察表	35
表8	布平遺跡出土石器計測表	40
表9	古城遺跡縄文時代・弥生時代竪穴住居跡一覧表	69
表10	古城遺跡縄文時代早期遺物観察表	87
表11	古城遺跡縄文時代早期集石遺構一覧表	88
表12	古城遺跡縄文時代晩期土器観察表	94

表13	古城遺跡弥生時代以降土器觀察表	101
表14	古城遺跡出土石器計測表	138
表15	報告書抄録	164

図 版 目 次

図版 1	布平遺跡全景／A～D区V層上面遺構	49
図版 2	布平遺跡G・E～F区V層上面遺構／土層断面／竪穴住居跡／出土古銭	50
図版 3	布平遺跡V層上面掘立柱建物跡	51
図版 4	布平遺跡V層上面土坑（1）	52
図版 5	布平遺跡V層上面土坑（2）／布平遺跡出土土器（1）・古銭	53
図版 6	布平遺跡出土土器（2）	54
図版 7	布平遺跡出土土器（3）	55
図版 8	布平遺跡出土土器・石製品（4）／布平遺跡出土石器（1）	56
図版 9	布平遺跡出土石器（2）	57
図版10	布平遺跡出土石器（3）	58
図版11	布平遺跡出土石器（4）	59
図版12	布平遺跡出土石器（5）	60
図版13	布平遺跡出土石器（6）	61
図版14	布平遺跡出土石器（7）	62
図版15	布平遺跡出土石器（8）	63
図版16	古城遺跡全景	147
図版17	古城遺跡集石遺構／竪穴住居跡／土坑	148
図版18	古城遺跡出土縄文土器（1）	149
図版19	古城遺跡出土縄文土器（2）	150
図版20	古城遺跡出土遺物（1）	151
図版21	古城遺跡出土遺物（2）	152
図版22	古城遺跡出土石器（1）	153
図版23	古城遺跡出土石器（2）	154
図版24	古城遺跡出土石器（3）	155
図版25	古城遺跡出土石器（4）	156
図版26	古城遺跡出土石器（5）	157
図版27	古城遺跡出土石器（6）	158
図版28	古城遺跡出土石器（7）	159
図版29	古城遺跡出土石器（8）	160
図版30	古城遺跡出土石器（9）	161
図版31	古城遺跡出土石器（10）	162
図版32	古城遺跡出土石器（11）	163

第Ⅰ章 はじめに

第1節 発掘調査に至る経緯

県営広域営農団地農道西臼杵2期地区の事業は、平成6～20年度までの予定で、西臼杵郡日之影町西深角から高千穂町野方野まで標高756mの上野岳にトンネルを通し、また深く浸食された岩戸川を橋梁で越えて大野原に至る総延長5,800mに及ぶ広域農道を建設するという計画である。この計画を受けて県教育庁文化課では、事業を担当する県西臼杵支庁農政水産課と協議を行い、計画路線を踏査確認後、日之影町西深角ならびに高千穂町野方野方面の比較的平坦もしくは傾斜の緩やかな地形の箇所を中心に平成7年11～12月試掘調査を実施した。その結果、試掘箇所では遺跡は確認できなかったが、以前から縄文時代の遺物等が表面採集されていた日之影町布平遺跡と高千穂町大野原の古城遺跡が、工事の実施計画に影響を避けられないことから記録保存の措置を執ることとなった。

布平遺跡の発掘調査は、道路の開削によって島状に残される水田部分も国道218号線と同程度の高さに削平するため面積的に広範囲の調査となり、平成8年11月26日から平成9年5月30日までの83日間、約3,000㎡で実施された。

一方、古城遺跡の調査は、遺跡の西側の県道7号線に交差するため道路敷きが盛土でかさ上げされ高くなることから法面を含めた広範囲の面積を調査することとなり、平成10年4月20日から平成11年1月22日まで約9,225㎡で実施された。

第2節 調査の組織

調査の組織体制は次のとおりである。

調査主体 宮崎県教育委員会

発掘調査（平成8～10年度）、整理・報告書作成（平成10～14年度）機関

宮崎県埋蔵文化財センター

所長

藤本健一（平成8～9年度）

田中 守（平成10～11年度）

矢野 剛（平成12～13年度）

米良弘康（平成14年度）

副参事

木幡文夫（平成8年度）

副所長

岩永哲夫（平成8～9年度、平成9年度は調査第二係長兼務）

江口京子（平成10～11年度）

副所長兼総務課長

菊地茂仁（平成12～13年度）

大藪和博（平成14年度）

副所長兼調査第二課長

岩永哲夫（平成12～14年度）

庶務係長

三石泰博（平成8～9年度）

児玉和昭（平成10～11年度）

総務課総務係長

亀井維子（平成12～13年度）

野邊文博（平成14年度）

調査第二係長

北郷泰道（平成8年度）

青山尚友（平成10～11年度）

調査第二課調査第三係長 菅付和樹（平成12～14年度）

（調査担当）

布平遺跡（平成8～9年度）

調査第二係 主 査 谷口武範（平成8年度、平成8～11年度は調査調整担当）

同 主 事 高橋 誠（平成9年度）

同 調査員 米久田真二（平成8～9年度）

古城遺跡（平成10年度）

調査第二係 主 査 福田泰典

同 主 事 和田理啓

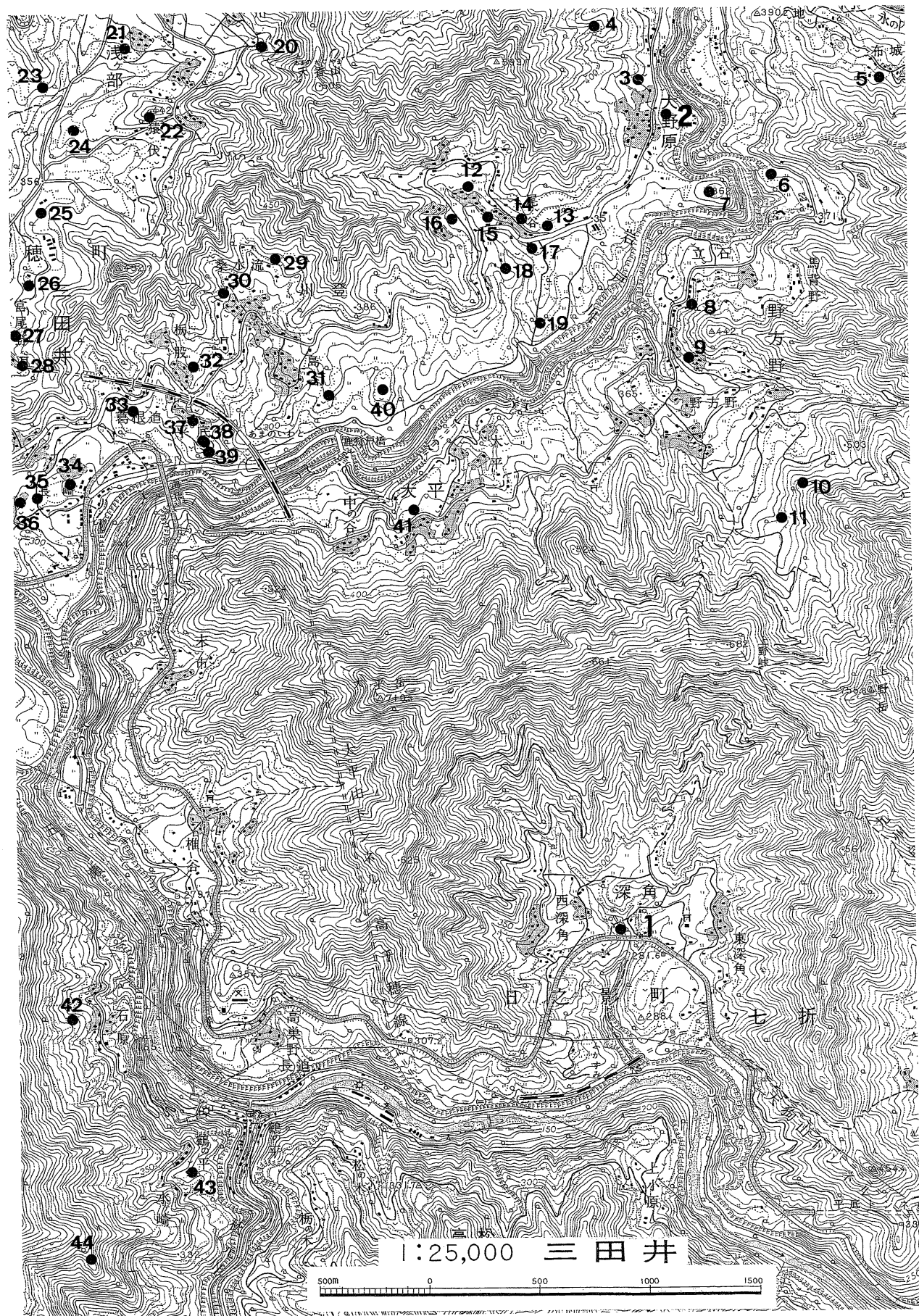
同 調査員 柳田晴子

第3節 遺跡の位置と歴史的環境

布平遺跡のある日之影町や古城遺跡のある高千穂町は、九州山地の東側、宮崎県の北西部に位置している。五ヶ瀬町から高千穂町、日之影町、北方町の一帯は、基盤をなす阿蘇溶結凝灰岩が五ヶ瀬川とそ

1	布平遺跡	23	堂山遺跡（古墳・散布地）
2	古城遺跡	24	長畑第2遺跡（縄文・散布地）
3	大野原遺跡（縄文・散布地）	25	宮尾野第3遺跡（縄文～弥生・散布地）
4	岩戸五ヶ村遺跡（縄文～弥生・散布地）	26	宮尾野第2遺跡（縄文～弥生・散布地）
5	布城遺跡（縄文・散布地）	27	宮尾野第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
6	詰の尾羽根陣跡（中世・城跡）	28	荒立神社前（縄文～弥生・散布地）
7	亀山城跡（中世・城跡）	29	桑水流（弥生・散布地）
8	立石横穴墓（岩戸4号横穴、古墳・横穴墓）	30	桑水流横穴墓（高千穂55号墳、古墳・横穴墓）
9	極殿遺跡（弥生・散布地）	31	尾久保第2遺跡（縄文～弥生・散布地）
10	野方野神殿遺跡（縄文～弥生・散布地）	32	栃又第2遺跡（縄文・散布地）
11	馬場先遺跡（弥生・散布地）	33	馬門遺跡（縄文～弥生・散布地）
12	堂ノ元遺跡（縄文～弥生・散布地）	34	長崎第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
13	棚宜ノ地遺跡（縄文～弥生・散布地）	35	長崎古墳（高千穂16号墳、古墳・円墳）
14	尾谷古墳（高千穂48号墳、古墳・円墳）	36	長崎第2遺跡（縄文～弥生・散布地）
15	尾谷遺跡（縄文・散布地）	37	栃又1号横穴墓（高千穂3号墳、古墳・横穴墓）
16	今村遺跡（縄文～弥生・散布地）	38	栃又古墳（高千穂4号墳、古墳・円墳）
17	梅ノ木原遺跡（縄文～弥生・散布地）	39	栃又第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
18	松ノ原遺跡（縄文・散布地）	40	尾久保第1遺跡（縄文～弥生・散布地）
19	長迫遺跡（縄文・散布地）	41	大平中の谷横穴墓（岩戸7号横穴墓、古墳・横穴墓）
20	柿ノ木水流遺跡（縄文・散布地）	42	石原遺跡（縄文～弥生・散布地）
21	梅木遺跡（縄文・散布地）	43	水ヶ崎遺跡（縄文～弥生・散布地）
22	長畑第1遺跡（縄文・散布地）	44	谷城（中世・城跡）

表1 周辺遺跡一覧表



第1図 布平・古城遺跡の位置と周辺遺跡図

の支流により深く浸食され、その高所は比較的緩やかな傾斜の台地や丘陵となっているが、川に面した端部は急崖をなし起伏に富んだ地形を形成している。

布平遺跡は、宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折字布平13367ほかに所在する。日之影町役場から北西5.6km、高千穂町役場から南東4.3kmの西深角地区に位置している。標高756mの上野岳から710mの大平岳に至る山塊の南側の深角川に刻まれた谷に沿って開かれた棚田と集落が営まれた中に深角公民館の西分館がある。この公民館一帯の東向きの緩斜面が遺跡であり、公民館建設の際にも多量の遺物が出土したとされる。今回調査した箇所は、その中の深角川に面した標高約280m前後の東斜面である。現況は斜面を棚状に開田した水田地帯となっている（第2図）。この日之影町を含む西臼杵郡3町の中で、高千穂町の遺跡分布状況は詳細分布調査によりかなり分かっているが、五ヶ瀬町、日之影町は殆ど遺跡の存在が不明のままである。そのような状況の中、この布平遺跡の東方5.2～5.6kmの日之影川左岸に位置する新畑^{にいばた}洞穴、その南南西の大溜^{おだまり}遺跡は、昭和28年に日向遺跡調査団により発掘調査が行われ、鐘崎式土器など縄文時代後期中葉頃の遺物が出土している。また、さらにその北北東約11.5km上流に位置する出羽洞穴は、昭和40・41年に南九州短期大学ほかによる発掘調査が行われ、後期旧石器時代の遺物が出土している。最近の調査例としては、遺跡の南東約3.7kmの五ヶ瀬川右岸に位置する田向遺跡・平谷遺跡があげられる。これらの遺跡は、県道向山・日之影線の改良事業に伴う事前調査として発掘調査が実施された。このうち田向遺跡では、縄文時代早期の集石遺構や押型文土器・塞ノ神式土器、前期の轟B式土器・曾畑式土器、後期後半の円形プランの竪穴住居跡や熊本県の辛川式併行の土器等、縄文時代の広範な時期の遺構・遺物が発見されている。一方、平谷遺跡では、縄文時代早期の集石遺構や押型文土器、後期中葉～後葉・晩期中葉の遺物、弥生時代後期の方形プランの竪穴住居跡や遺物等が検出されている。

遺跡の北側の上野岳～大平岳の山塊を越えた高千穂町は前述のとおり遺跡詳細分布調査が終了していることもあり数多くの遺跡が周知されている（第1図・表1）。その中であって古城遺跡は、西臼杵郡高千穂町大字三田井字古城に位置し、高千穂町役場の東北東約4kmの岩戸川右岸標高330m前後の緩斜面上に立地している。遺跡の周辺には、西南西約3.8kmに多量の縄文時代後期後半の遺物が出土した陣内遺跡や南西やや北寄り5.3kmのところに弥生時代中期末から後期にかけての竪穴住居跡が高い密度で谷地形から検出された南平第3遺跡などが存在している。また、古城遺跡の南東約0.4km程のところには、三田井氏の家臣富高氏と高橋元種との合戦で著名な中世山城亀山城跡があり、本遺跡でも関連遺物と見られる青磁片等が出土している。

このほかに高千穂町では、役場の南西1kmの五ヶ瀬川左岸にあるセベツ遺跡で縄文時代晩期前半中～後葉の竪穴住居跡が検出されている。住居形態は楕円形で田向遺跡の1例と合わせてもわずか2例だけながら、ほかの県内の縄文時代後期後半～晩期前半の状況と同様円形を基調とする竪穴住居が営まれている。このことから布平遺跡の方形の竪穴住居跡は、多数の縄文土器が出土しているものの埋土状況から縄文時代の遺構ではないと判断されたことの妥当性が追認できよう。また、古城遺跡の円形になると思われる竪穴住居も部分的検出ではあったが、遺構形態からも縄文時代晩期の竪穴住居と見て差し支えないと考えられる。そのほか高千穂町内では周辺地域に比べて遺跡の周知度が高いこともあり、今回報告する古城遺跡を含め弥生時代の集落跡が発掘調査で6例ほど確認されている。

第Ⅱ章 布平遺跡の調査

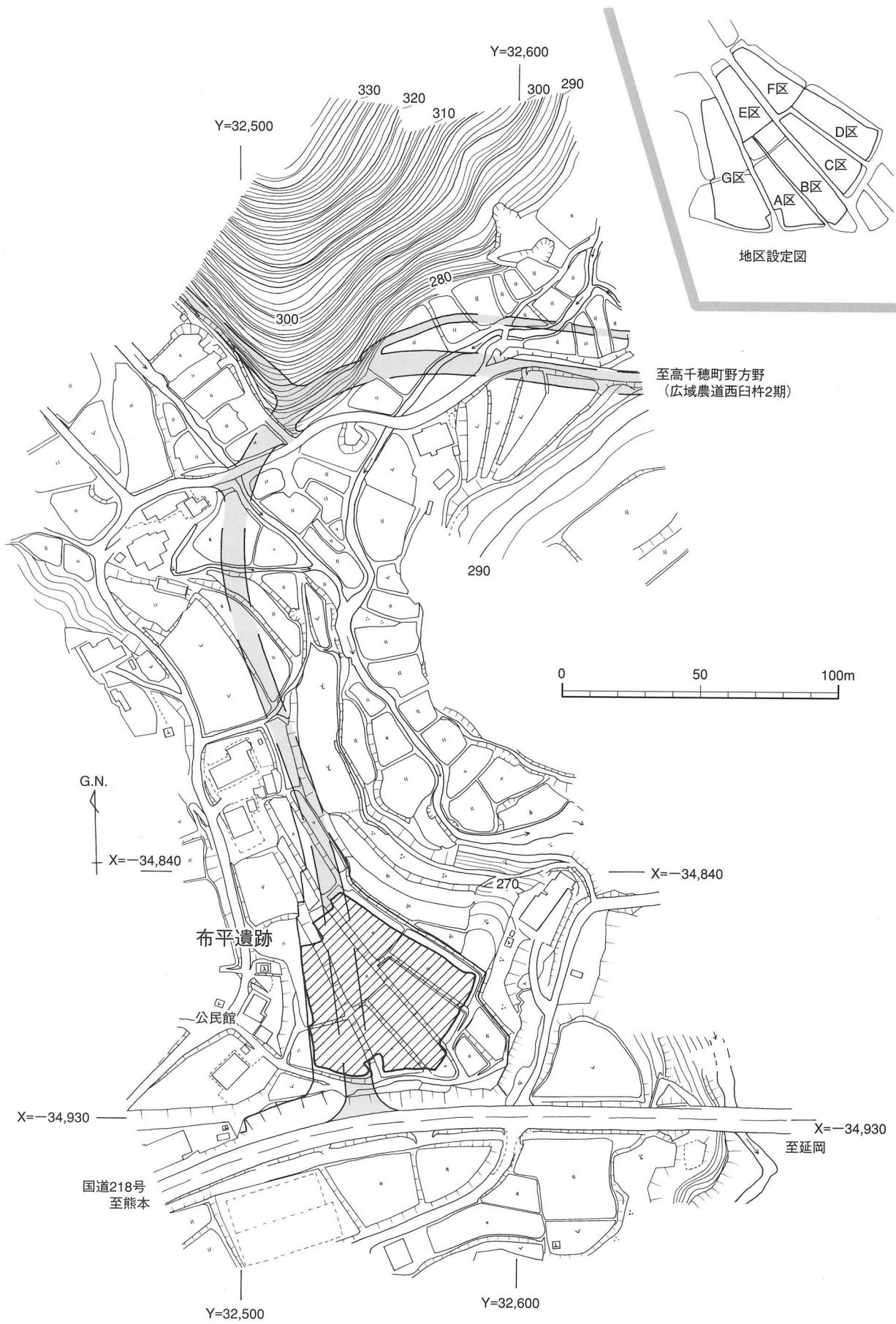
第1節 調査の経過と概要

今回の報告書の作成については、執筆・編集担当者が当時の調査担当者ではない。これは、当時主として調査に従事した嘱託調査員が調査後5年を経過して既に退職していること、また、当時後半の一定期間ともに調査に従事した担当者が、既に定期異動により執筆できなくなったという事情によるものである。従って、遺構の検出状況や遺物の出土状況・取り上げ方法等詳細は不明であり、残された図面や写真記録、調査員のメモや終了後報告、実際の遺物等を基に報告者が理解・判断した範囲で報告することになる。以下、調査日誌等を基に調査の経過並びに概要を述べる。

前述のとおり発掘調査は平成8年11月26日から平成9年5月30日まで実施された。調査区が道路敷き及びその周囲の水田削平部分となったため、排土を置く場所の関係から調査区を南半・北半のふたつに分けて南半から調査を行っている。先ず初めに調査区全体に土層等を確認するためのトレンチを入れ、南半の2段目の水田から重機による表土剥ぎを行った。調査は、便宜的に調査区南半の棚田の区画ごとに2段目から下方へA～D、北半の2段目から下へE～F、そして最上段をGとして地区分けし実施した。グリッド杭は設置したが特にグリッド名を付けることはせずに、杭は基準点や標高の確認など実測作業用のみ使用したようである。そして遺物の取り上げはグリッドごとではなく、殆どが各地区の各層ごとに一括取り上げされている。

重機による表土の除去が終了したA区からD区までの南半から精査を始めたところ、Ⅲ層（暗褐色土）・Ⅳ層（黒褐色土）から縄文時代後晩期の遺物が多量に出土し始め、Ⅴ層（褐色土）上面で黒褐色土が埋土の土坑2基や多数のピット群、その中から8棟の掘立柱建物跡等を検出している。ただし、このⅢ・Ⅳ層からは少量ながら中世の青磁・白磁片、弥生土器、古墳・古代の土師器小片等も混在して出土している。検出面のⅤ層からは量は少なくなるが縄文土器をはじめ弥生・古墳時代の土器と思われる小片も出土している。Ⅴ層を精査したのち、Ⅵ層（アカホヤ火山灰層）上面で土坑4基を検出して、平成9年2月末から3月初めには排土の移動を行いながら最上段のG区、そして北半のF区・E区の調査に順次移っている。北側も同様の手順で調査を実施し、Ⅴ層上面で同じく黒褐色土が埋土のピット群多数と土坑4基、F区で掘立柱建物跡1棟、E区では半分のみ残存した竪穴住居跡7軒分（当初は5軒として認識されている）を検出している。その後、Ⅵ層上面では土坑4基を検出し、E区・F区・G区南半はⅦ層上面まで精査し、縄文時代早期の土器が出土している。

なお、Ⅴ層・Ⅵ層上面検出の土坑の基数については、調査終了後に提出された結果報告においてはⅤ層上面から土坑5基、Ⅵ層上面から土坑9基という記述がある。しかし、同時に添付された平面図には褐色土層（Ⅴ層）上面で土坑6基、アカホヤ火山灰層（Ⅵ層）上面で土坑8基が報告されており、記述内容にずれが生じている。本報告では、文字記述の間違いと図面作図の間違いのどちらがより間違いが少ないか考えた結果、添付平面図の基数の方で報告することとした。また、これらの遺構の時期について当時の記録では、Ⅴ層上面検出の遺構を古代～中世の時期に、Ⅵ層上面検出の遺構を縄文時代後～晩期に比定している。



第2図 布平遺跡周辺地形図 (1 / 2,000)

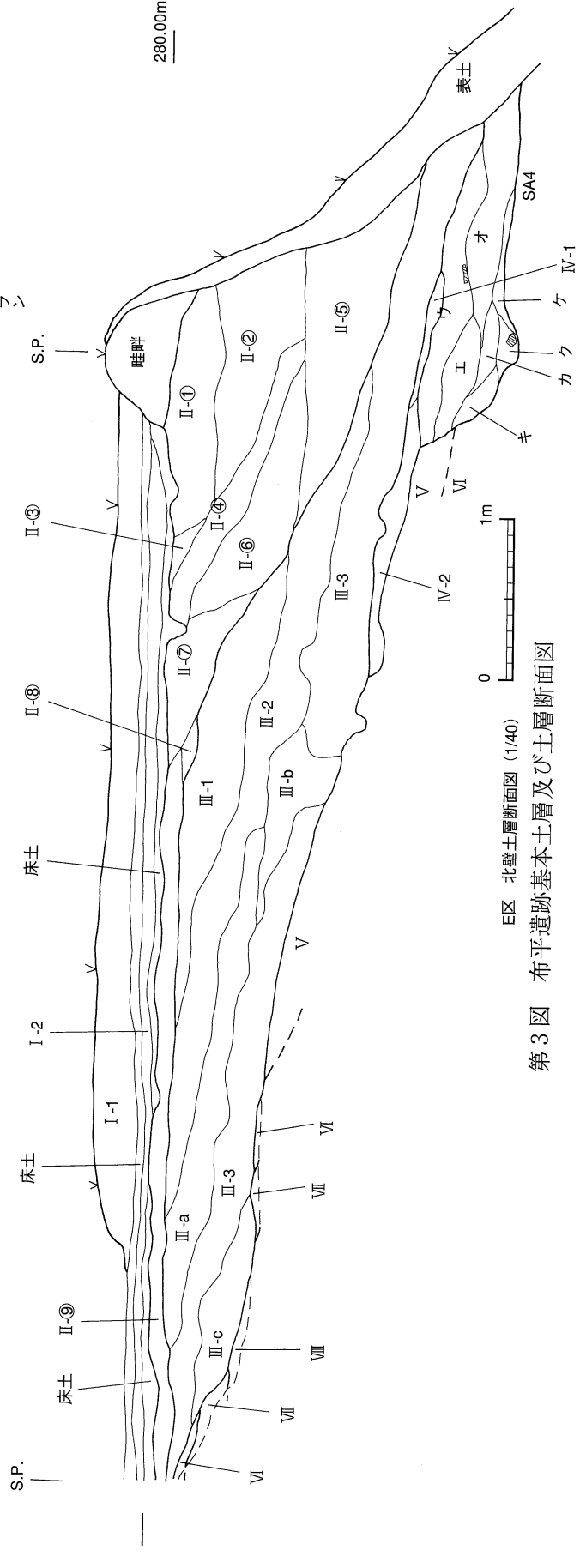
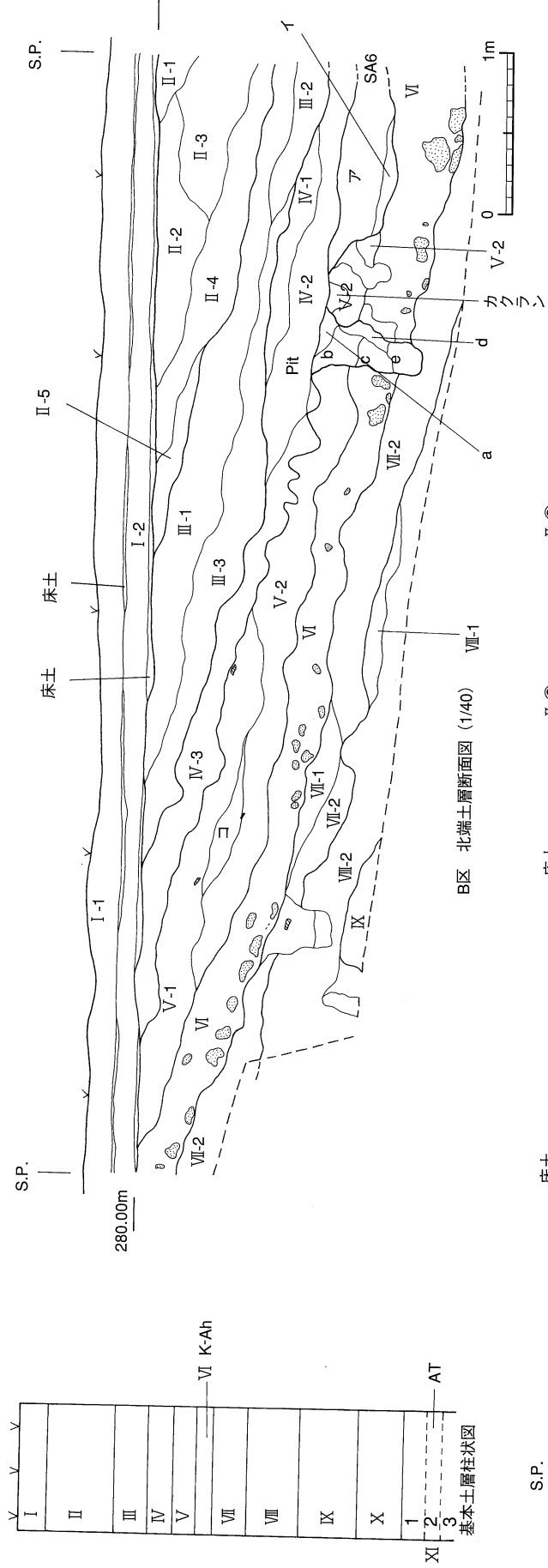
第2節 遺跡の層序

布平遺跡の基本層序については、調査終了後の結果報告、土層断面図、調査日誌及びテフラ分析結果の記述から次のとおりである（第3図）。なお、土層観察か所は、第4図中に示したB区北端部とE区北壁ならびにテフラ分析資料の採取か所においてである。

第I層表土は、現水田耕作土である。層厚は約27cm、新旧の2枚の水田に分けられる。II層は水田耕作のための客土とされ、棚状の田を作る際に高所を削平し低所に盛土したものであろう。厚いところで約70cm。III層は暗褐色土で、根拠は示されていないが霧島高原スコリアが混入した中世整地土とされている。土色の違いから数層に分層されている。層厚は約50cm。IV層は黒褐色土（テフラ分析の層序では暗灰褐色土）でやはり数層に分層でき、5～25cmの厚さである。縄文時代後晩期の遺物包含層とされるが実際には青磁・白磁も出土している。このIV層からはイネやオオムギのプラント・オパールが検出され、周辺での栽培が指摘されている。V層は褐色土で20～30cm。ススキ属・クマザサ属・クスノキ科などの植物珪酸体が検出されており、アカホヤ火山灰降灰後の植生の回復状況が推定されている。この層の上面でピット群等を検出している。第VI層は黄褐色細粒火山灰層とされ、約6,300年前に降灰したアカホヤ火山灰層である。層厚は10～20cm。VII層は粘質がある暗褐色土で約25cm。縄文時代早期の遺物包含層である。プラント・オパール分析から周辺に照葉樹林の存在が推定されている。VIII層は黒褐色土で約55cm。植物珪酸体分析からはヨシ属が検出され、何らかの原因で湿原的状况になったものと報告されている。IX層は黄褐色土（テフラ分析の層序では褐色土）で約60cm。IX～X層はササ類が主体のイネ科植生が存在していたとされる。X層は黄褐色土でIX層によく似ているが粘性を帯びたシルト質の硬くしまった層である。層厚は30～40cm。XI層はテフラ分析の層序では3層に分層されており、上から1暗灰褐色砂質土で25cm、2黄色軽石混じり黒灰褐色土16cm、3黒褐色土12cmと続き、このうちXI-2層が約2万4～5千年前の始良T n火山灰（AT）層である。この前後の水期中もクマザサ属などのササ類を主体とした植生が報告されており、当時の動物相を考える上で重要といわれている。XII層は粘性を帯びた明黄褐色土でやや硬くしまる。IX層によく似る。なお、これらの層の厚さは傾斜地であることを考慮

表2 布平遺跡B区北端土層断面観察表

I-1	現水田耕作土	黄灰色	
I-2	旧水田耕作土	黄灰色	
II-1～5	客土		
III-1	暗褐色	やや軟	3～10mmの炭化物粒や1mm前後の焼土粒を極少量、2～10mmの小礫を含む。旧表土か。
III-2	暗褐色	やや軟	2mm前後の炭化物粒を極少量、5mm前後の小礫を少量含む。
III-3	暗褐色	やや軟	2mm前後の炭化物粒を極少量、1mm以下のV層細粒を少量含む。
IV-1	黒褐色	やや硬	2mm前後の炭化物粒及び小礫少量含む。
IV-2	黒褐色	やや軟	1～5mmの炭化物粒及びV層粒極少量含む。
IV-3	黒褐色	やや軟	5mm～10mmのV層粒少量含む。さらさらした土。きめ細かい。
A	SA6埋土	黒褐色	やや軟 1mm～15mmのV層粒少量、5mm前後の炭化物粒極少量含む。
I	SA6埋土	黒褐色	軟 2～5mmのV層粒多量含む。攪乱のような土。
V-1	褐色	やや硬	3mm前後の炭化物粒極少量含む。20～30mmのIV層ブロック含む。ややしまる。IV層とV層の漸移層
V-2	褐色	やや硬	3mm前後の炭化物粒極少量含む。V-1層よりしまる。
VI	黄褐色	やや硬	30～200mmのアカホヤブロックを下位に含む。シルト質系の土。
VII-1	にぶい黄褐色	やや硬	VI層とVII層の漸移層。アカホヤブロック少量含む。
VII-2	にぶい黄褐色	やや硬	5mm～50mmの灰黄色粘土ブロック少量含む。やや粘性あり。
VIII-1	黒褐色	硬	VII層とVIII層の漸移層。やや粘性あり。
VIII-2	黒褐色	硬	20～50mmのIX層ブロック極少量含む。非常にしまり粘性を帯びる。
IX	黄褐色	やや硬	含有物なし。やや粘質。
a	ピット内埋土	黒褐色	軟 30mm前後のV層ブロック含む。
b	ピット内埋土	黒褐色	軟 2mm前後のV層粒少量含む。
c	ピット内埋土	黒褐色	軟 2mm前後のV層粒を含む。アカホヤも混じる。
d	ピット内埋土	黒褐色	軟 2mm前後のV層粒多量に含む。
e	ピット内埋土	暗オリーブ褐色	やや硬 3mm前後のアカホヤ粒少量含む。
コ	暗オリーブ褐色	硬	1mm～10mmの炭化物粒多量に含むしまった土。遺構埋土類似。



第3図 布平遺跡基本土層及び土層断面図

表3 布平遺跡E区北壁土層断面観察表

I-1~2	B区と同じ
II-①~⑨	客土
III-1~3	B区と同じ
III-a	暗褐色土 やや硬 1~2mmの炭化物粒、焼土粒、褐色土粒、5mm前後の小礫含む。
III-b	暗褐色土 軟 1mm前後の褐色土粒、10mm大の小礫少量含む。もろく柔らかい。
III-c	暗褐色土 やや軟 III-3層よりやや暗い。1~5mmの褐色土粒含む。しまりが無い。
IV-1~2	B区と同じ
ウ	SA4埋土 黒褐色土 やや軟 5mm前後の炭化物粒、20~30mmのIII層ブロック少量含む。
エ	SA4埋土 黒褐色土 やや軟 3mm前後の炭化物粒、10mm前後のV層粒を少量含む。
オ	SA4埋土 黒褐色土 やや硬 1mm前後の炭化物粒・焼土粒少量含む。しまっている。
カ	SA4埋土 黒褐色土 やや軟 1mm以下の炭化物粒含む。
キ	SA4埋土 黒褐色土 軟 3mm前後のV層粒含む。
ク	SA4埋土 黒褐色土 軟 2~5mmのV層粒・焼土粒含む。
ケ	SA4埋土 黒褐色土 やや硬 1mm以下の炭化物粒、10~20mmのV層ブロック含む。

すると平均的な厚さであろう。

第3節 遺構と出土遺物

1 遺構

本章第1節で述べたように、調査終了後の結果報告に事実記載の誤りが見られるもののその添付図面の方を採用して、ここではV層上面検出の遺構とVI層上面検出の遺構に分けて記述する。なお、竪穴住居跡及び掘立柱建物跡、土坑の一部の断面図は、平面図の高さの記録よりおこしたものである。

(1) V層上面検出遺構 (第4図)

傾斜面の開田により調査区全体の半分以上が削平されていたが、それでもV層褐色土上面で検出された遺構は、総数700基以上のピット群と調査時に確認された9棟の掘立柱建物跡、当初6~7軒と報告された竪穴住居跡、6基の土坑である。V層上面検出遺構は主に黒褐色埋土と記録されている。

竪穴住居跡 (SA) (第5図)

B区北端の土層断面を記録したか所からE区北壁土層断面記録か所にかけて検出されている。メモなどによると、竪穴住居跡はIII (暗褐色土)・IV (黒褐色土) 層系の土砂に覆われていたという。のちに7軒とされた軒数に従うと、SA1・2・5はより新しいIII層系の土に覆われ、SA3・4・6・7はIV層系の土に覆われていた。このうちSA2はIII層系埋土が中心でSA5は床面付近及び壁際にIV層系埋土がレンズ状堆積していたという。故にSA5よりSA2が新しいとされる。また、SA6は若干III層系埋土が入り、SA1より古いSA7よりは新しい。SA3・4は完全にIV層系埋土であったという。出土遺物は殆ど縄文時代晩期の遺物中心であるが、SA6の床上5~10cmから開元通竇と元符通竇が各1枚ずつ出土し、またSA1のピット埋土中から白磁片が出土しているという (現在白磁片の所在は不明である)。また、当初SA2でのちSA2とSA5に分けられた竪穴住居跡には2か所の焼土面と1か所の硬化面が確認されており、当初SA1でのちSA1とSA6・7に分けられたうちのSA1には3か所の焼土面、SA6にも1か所の焼土面が確認されている。SA3・4には焼土面は確認されていないが、壁際を巡る溝が確認されている。これらの遺構は、床面の硬化面や焼土痕から竪穴住居跡と認定されたものであるらしいが、削平されたためか残存部分が非常に少ない。主柱穴については住居床面にピットが数多くあるため特定できていない。



第4図 布平遺跡V層上面検出遺構分布図 (1/400)

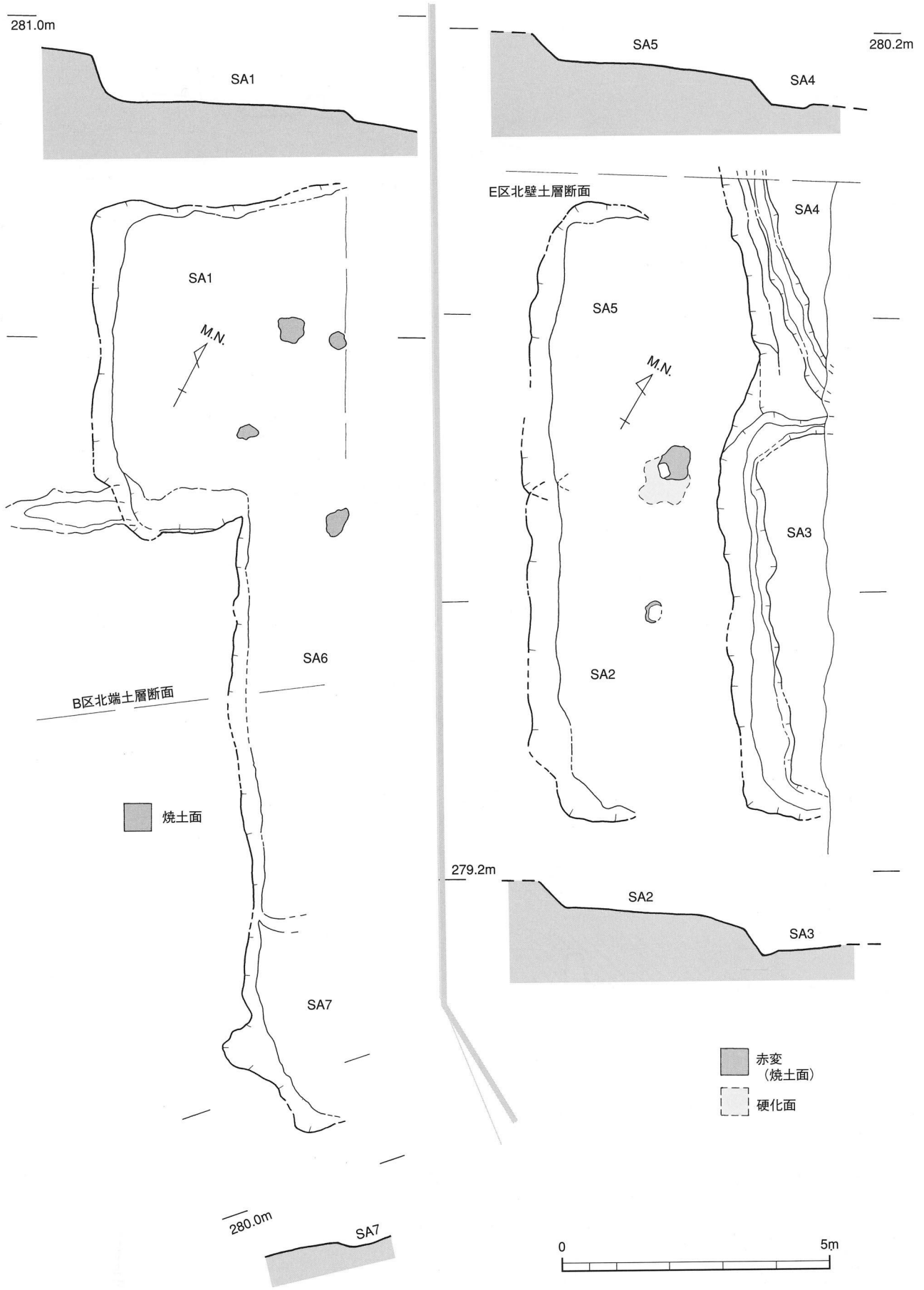
掘立柱建物跡 (SB) (第6図~第7図 表4)

調査中に掘立柱建物跡と認定されたピット列は9棟ある。その殆どが1間×2間の単純な建物である。多くは等高線に添って建てられており、そのうち2例が切り合っている。SB9のように等高線に垂直

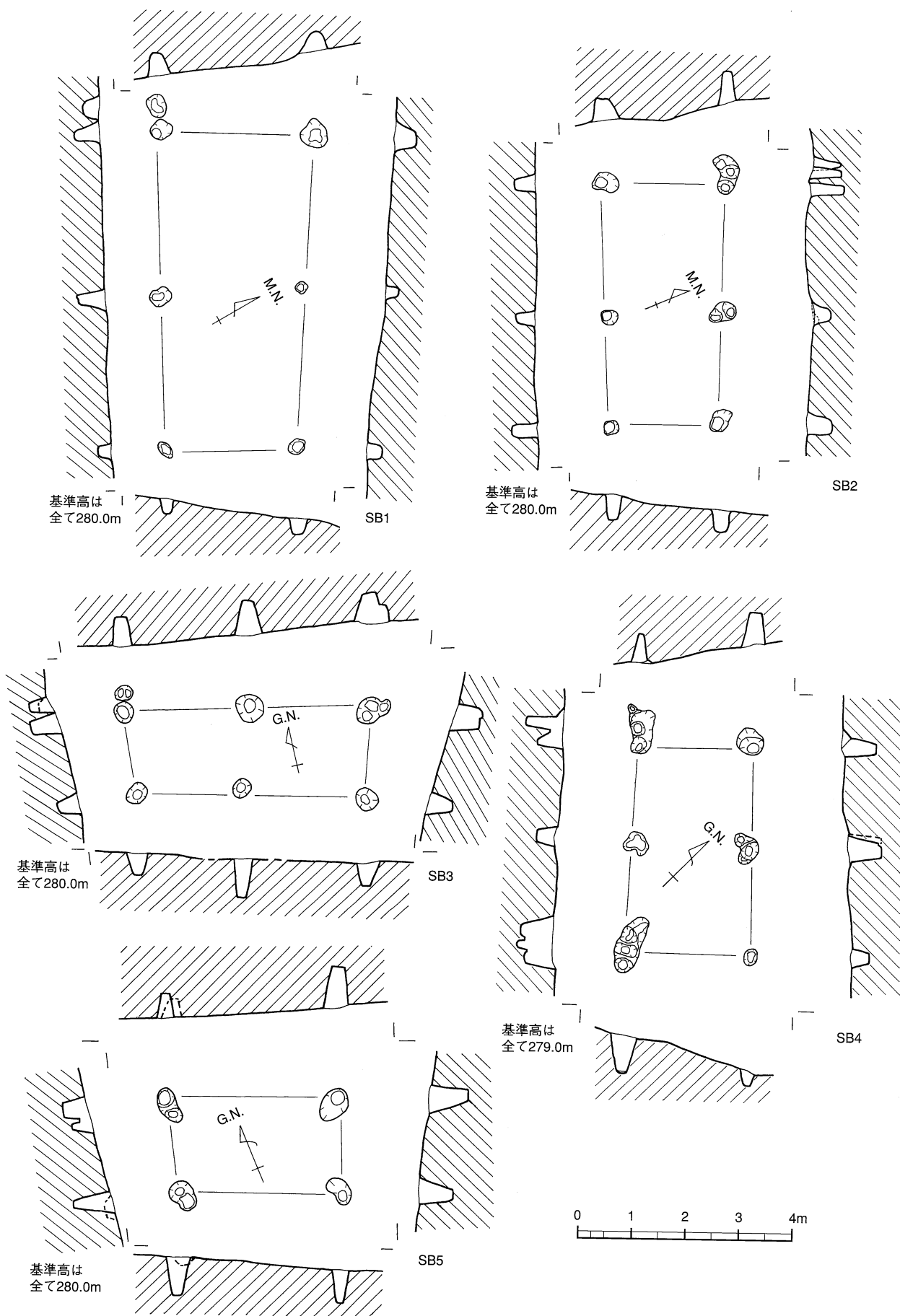
表4 布平遺跡掘立柱建物跡計測表

※面積は長方形と見なして計算した

番号	検出地区・層	主軸方位	規模	桁行 (m)	梁行 (m)	面積 (㎡)	重複関係	備考
SB1	B区・V層	N-56° -W	1間×2間	2.4	5.8	13.9	SB2と切合い	磁北
SB2	B区・V層	N-67° -W	1間×2間	2.0~2.3	4.4~4.5	9.6	SB1と切合い	磁北、柱間平均値での面積
SB3	B区・V層	N-78° -W	1間×2間	1.6~1.8	4.2~4.6	7.5		座標北
SB4	B区・V層	N-43° -W	1間×2間	2.1~2.3	3.8	8.4		座標北
SB5	B区・V層	N-67° -W	1間×1間	1.8	3.0~3.2	5.6		座標北
SB6	C区・V層	N-59° 30' -W	1間×2間	3.1~3.3	5.4~5.9	18.1	SB7と切合い	座標北
SB7	C区・V層	N-72° 30' -W	1間×2間	3.1~3.2	4.5~5.0	15	SB6と切合い	座標北
SB8	D区・V層	N-67° 30' -W	1~2間×5~6間	2.6	6.6~6.9	17.6		座標北、変則的柱穴
SB9	F区・V層	N-41° 30' -E	2間×4間	2.6~2.7	4.5~4.7	12.2		座標北、総柱に近い

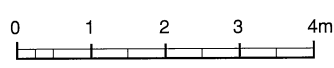
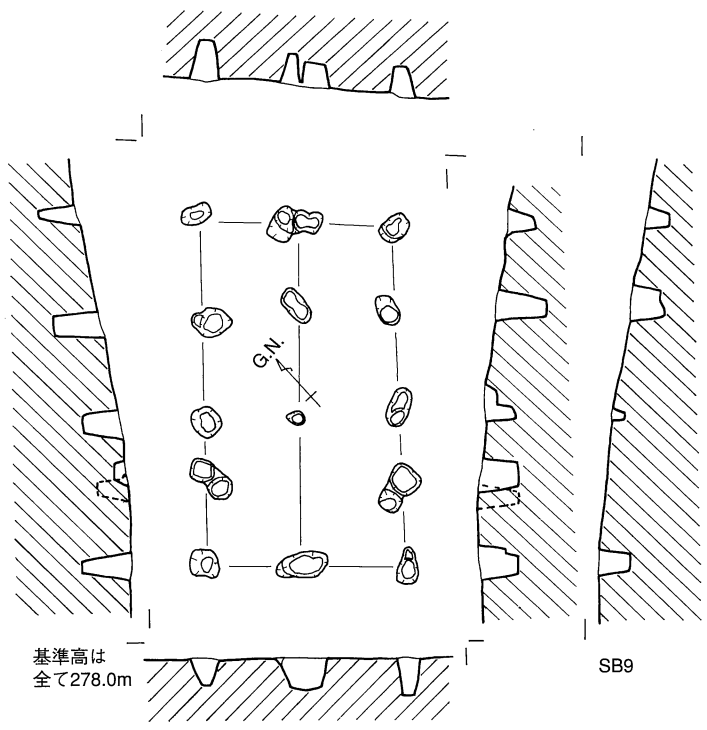
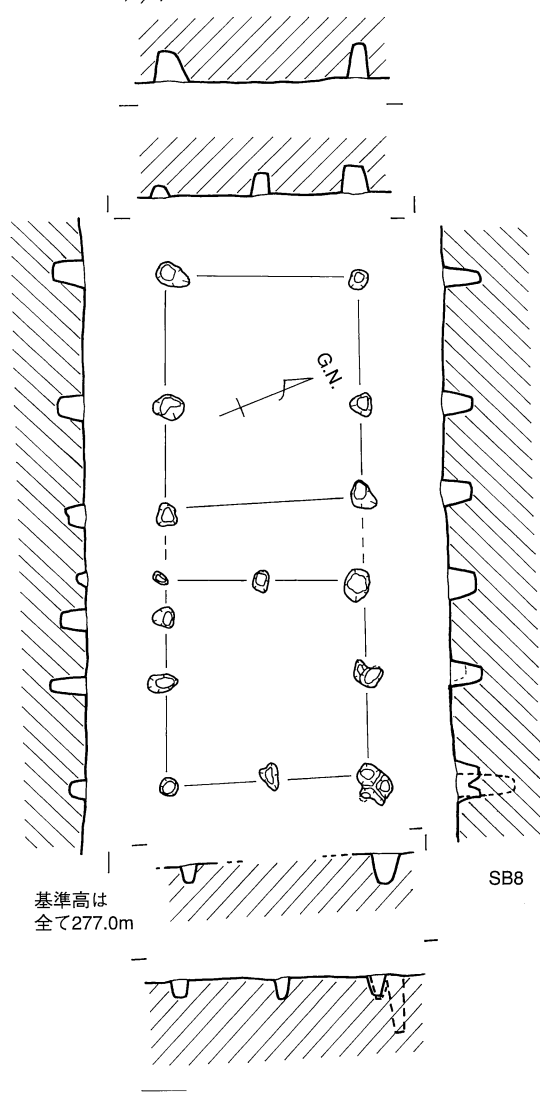
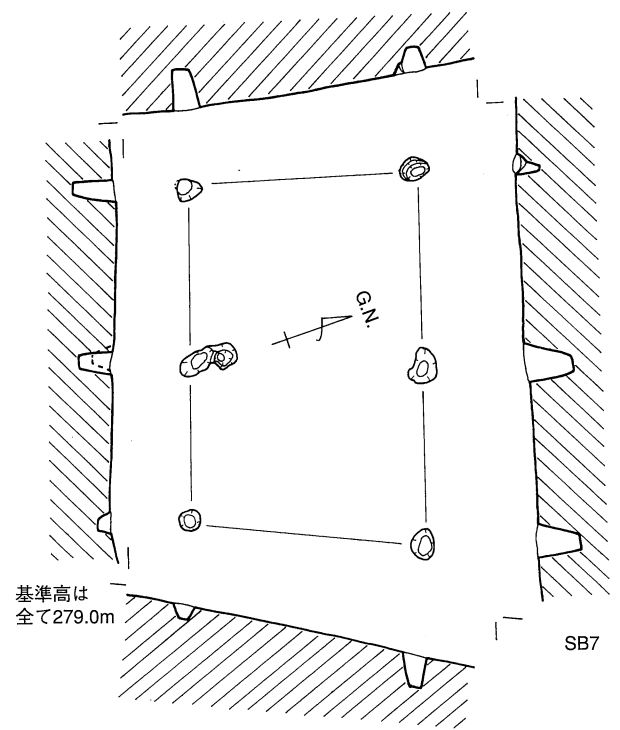
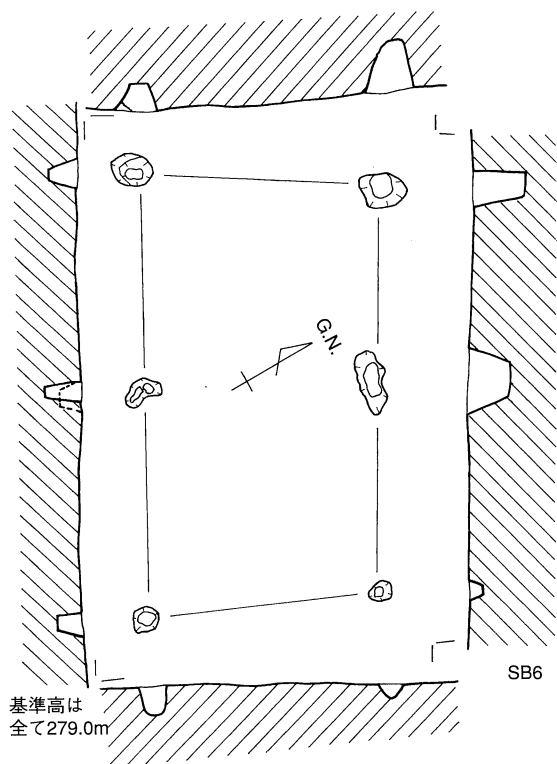


第5図 布平遺跡竪穴住居跡実測図 (1/100)

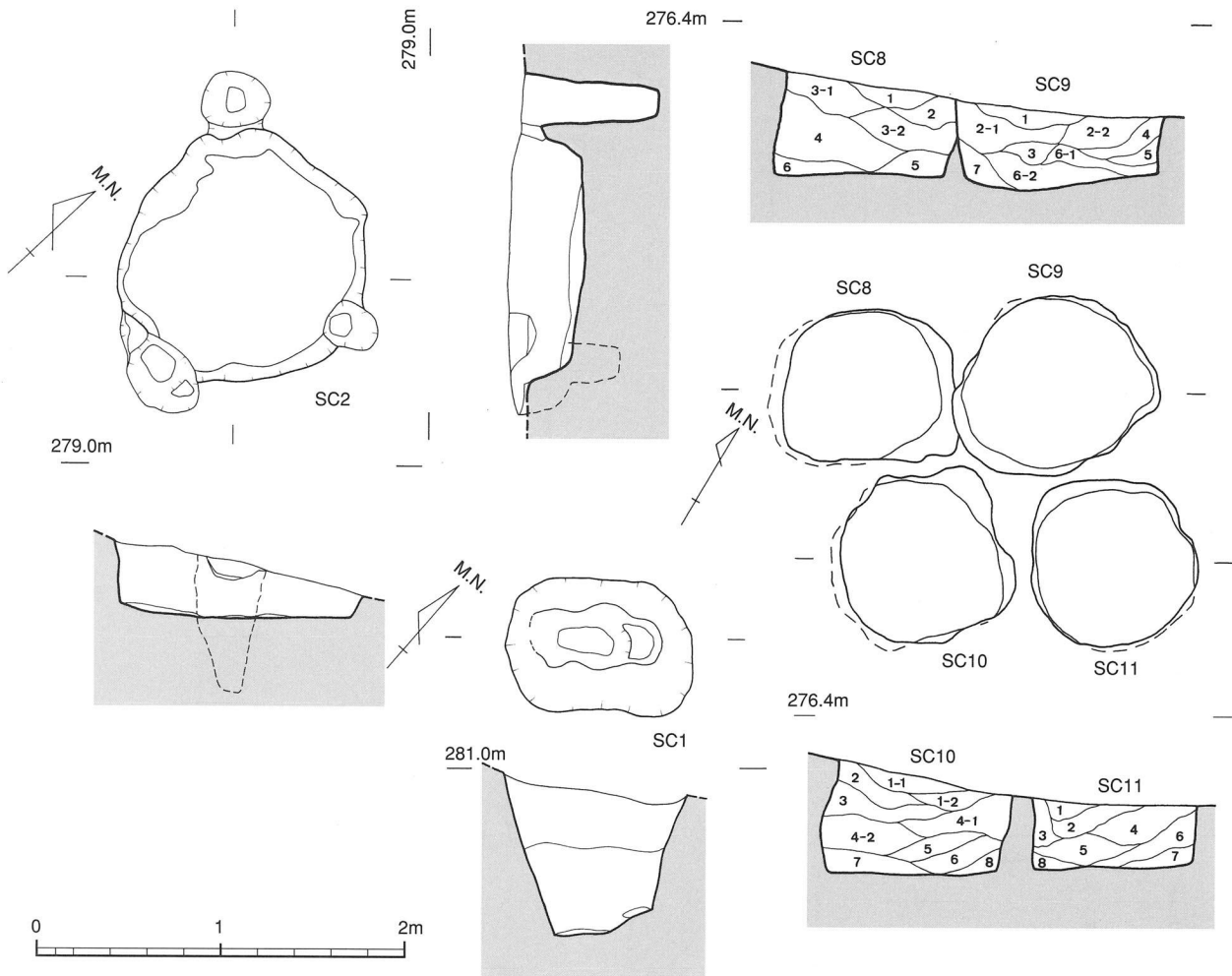


第6図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図(1)

S = 1 / 100



第7図 布平遺跡掘立柱建物跡実測図(2) S = 1/100



第8図 布平遺跡V層上面検出土坑実測図 (1/40)

SC 8

- 1 黒褐色 軟 2mm前後のV層粒を含む。
- 2 黒褐色 やや軟 2mm前後のV層粒、30mm前後の暗褐色土ブロックを含む。
- 2-1 黒褐色 やや軟 5mm前後のV層粒を多量に含む。1mm前後の炭化物粒極少量含む。
- 3-1 黒褐色 軟 3mm前後のV層粒を少量含む。
- 3-2 黒褐色 やや軟 3~5mmのV層粒を含む。
- 4 黒褐色 やや軟 1~8mmのV層粒及び20mm前後の同ブロックを少量含む。20mm大のアカホヤブロック少量含む。
- 5 黒褐色 軟 5~10mmのV層粒を含む。4層に似る。
- 6 黒褐色 やや硬 5mm前後のV層粒を含む。他層よりしまる。

SC 10

- 1-1 黒褐色 やや硬 2mm前後のV層細粒を少量含む。
- 1-2 黒褐色 やや硬 2mm前後のV層粒を極少量含む。
- 2 黒褐色 やや軟 1~5mmのV層粒、アカホヤ粒を含む。5mmの焼土粒を少量含む。
- 3 黒褐色 軟 1~10mmのV層粒、アカホヤ粒、30mm前後のV層ブロック含む。
- 4-1 黒褐色 軟 2mm前後のV層粒を多量に含む。まれにアカホヤ粒が混じる。
- 4-2 黒褐色 やや軟 2mm前後のV層粒及び10~20mmの同ブロックを含む。
- 5 黒褐色 軟 30mm前後のV層ブロック少量含む。1mm前後のアカホヤ粒入る。
- 6 黒褐色 軟 3~5mmのV層粒を少量、5mm前後の炭化物粒を極少量含む。
- 7 黒褐色 やや軟 5~20mmのV層粒及び同ブロックを含む。やや粘性あり。
- 8 暗褐色 やや硬 1mm以下のアカホヤ細粒を少量含む。

SC 9

- 1 黒褐色 やや軟 2mm前後のV層粒を少量含む。
- 2-1 黒褐色 やや軟 5mm前後のV層粒を多量に含む。1mm前後の炭化物粒極少量含む。
- 2-2 黒褐色 やや軟 5mm前後のV層粒を少量、30mm前後の同ブロックを少量含む。
- 3 黒褐色 軟 50mm前後のV層ブロック、3mm前後のアカホヤ粒を含む。
- 4 黒褐色 軟 1mm前後のV層細粒を少量含む。
- 5 暗褐色 軟 10~40mmのV層ブロックを多量に含む。
- 6-1 黒褐色 軟 2~10mmのV層粒及びアカホヤ粒を少量含む。
- 6-2 黒褐色 軟 3~70mmのV層粒、アカホヤ粒及びV層ブロックを含む。
- 7 黒褐色 軟 5mm前後のV層粒を少量含む。

SC 11

- 1 黒褐色 やや硬 1mm以下のV層細粒を少量含む。
- 2 黒褐色 やや軟 1~5mmのV層粒、アカホヤ粒を少量含む。3mmの焼土粒を極少量含む。
- 3 黒褐色 やや軟 10~30mmのV層ブロックを多量に含む。
- 4 黒褐色 やや軟 1~20mmのV層粒、アカホヤ粒及びV層・アカホヤブロックを多量に含む。
- 5 黒褐色 やや軟 1~3mmのアカホヤ粒を少量含む。
- 6 黒褐色 軟 5mm前後のV層粒、20mm前後の暗褐色土ブロック極少量含む。
- 7 黒褐色 軟 1~5mmのアカホヤ粒及び焼土粒を少量含む。
- 8 黒褐色 やや軟 2~8mmのアカホヤ粒を含む。きめ細かい。

方向に建てられたものもあるが、この場合標高の低い方の柱が補強してあるかのように数が多い。このほかにV層上面検出のピット群については、記録によるとその殆どはV層ブロックが混入する黒褐色埋土（IV層系）のピットであるが、E区の竪穴住居跡周辺ではIII層系の暗褐色埋土が8～9割を占めていて、他の地区に比べてピットの時期は比較的新しいと考えられている。

図上ではさらに5～6棟の掘立柱建物跡が復元できるが、現地での確認作業ができないため図化はしなかった。実際にはさらに多くの掘立柱建物跡が存在していた可能性がある。

土坑（SC）（第8図 表5）

土坑は調査終了後の結果報告で検出基数に記述の矛盾があった。先に触れたとおりここでは6基がV層上面で検出されたものとして報告する。なお、図面に注記等のある事柄のみ記述した。

SC1の埋土は暗褐色土を基調とするものである。一方、SC2はやや軟質の黒褐色土でSC8～11の埋土に類似する。またSC2の南側と東側は後の時期のピット2基に切られている。SC1・2のいずれからも遺物は殆ど出土していないようである。SC8～11の埋土もまたピット群の埋土と同質とされている黒褐色系の埋土である。調査者は埋土の観察からは各土坑間の時期差はさほどないのではないかとしている。SC8～11からは縄文晩期土器が出土している。当初の基数の矛盾点についてはSC1

表5 布平遺跡V層上面検出土坑計測表

番号	検出地区・層	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面プラン	備考
SC1	A区・V層上面	1.00	0.71	0.85	楕円形	暗褐色埋土
SC2	B区・V層上面	1.41	1.32	0.25	不整円形	黒褐色埋土
SC8	F区・V層上面	0.90	0.80	0.48	不整円形	黒褐色埋土
SC9	F区・V層上面	1.12	0.97	0.41	不整円形	黒褐色埋土
SC10	F区・V層上面	0.94	0.90	0.54	不整円形	黒褐色埋土
SC11	F区・V層上面	0.90	0.89	0.33	円形	黒褐色埋土

のみが暗褐色土系の埋土であり、他の同上面検出遺構に比べてやや違和感がある。

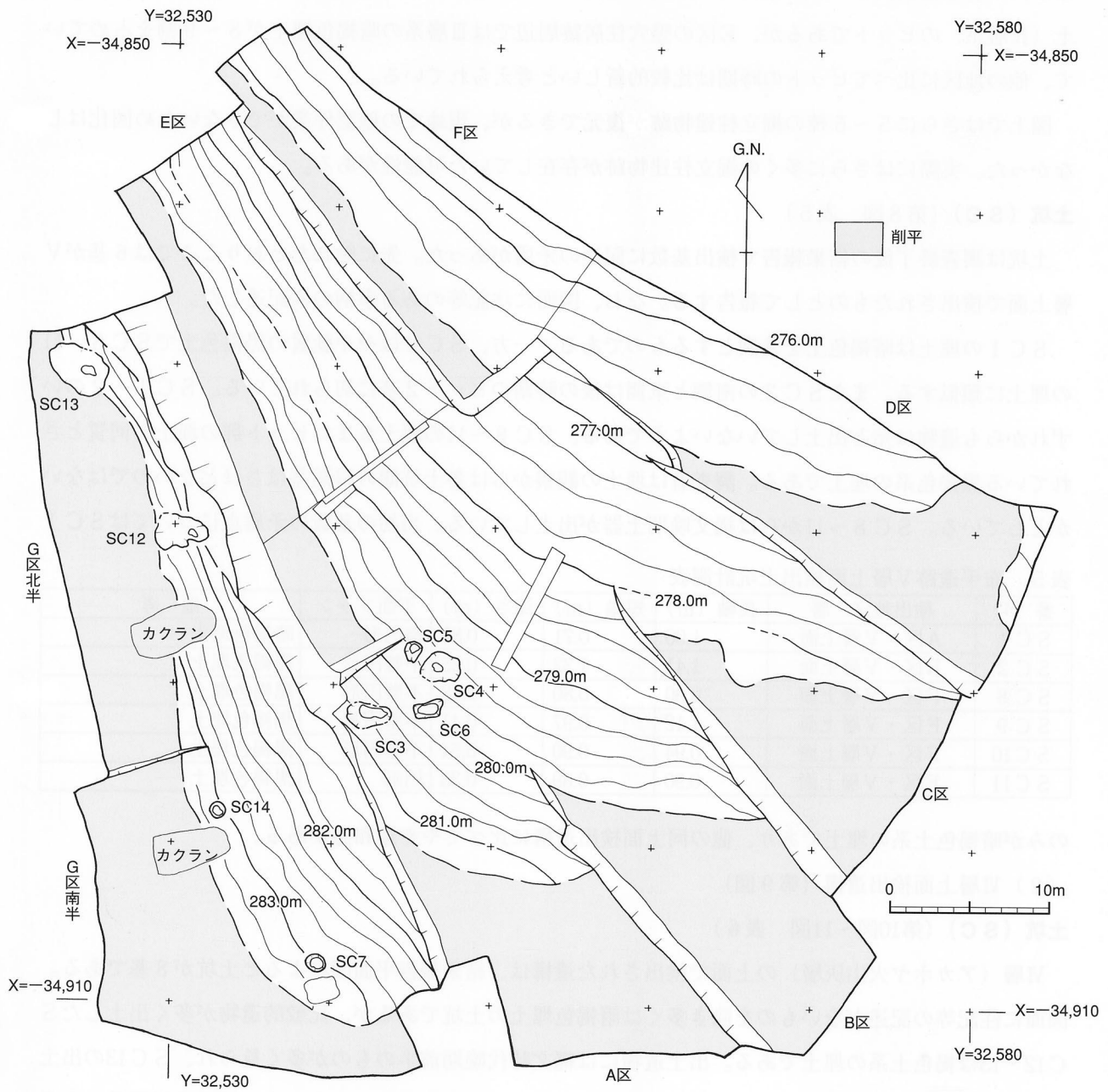
(2) VI層上面検出遺構（第9図）

土坑（SC）（第10図～11図 表6）

VI層（アカホヤ火山灰層）の上面で検出された遺構は、結果報告平面図によると土坑が8基である。図面に注記等の記述がないものを除き多くは暗褐色埋土の土坑であるが、比較的遺物が多く出土したSC12・13は褐色土系の埋土である。出土遺物には縄文時代晩期前半のものが多く見られ、SC13の出土状況の記録からは床面より上に浮いた状態であり、いわゆる流れ込みと思われる。埋土はV層系の土であろうか。SC12の中のピット群は黒褐色埋土のV層上面検出のピットであり、この土坑には伴わない。また、SC3の周囲はV層検出のピットに切られているほか、SC6では、床面南壁際に一抱えほどもある大きなチャート原石が据え置かれた状態で出土している。なお、このSC3の床面直上出土の炭化

表6 布平遺跡VI層上面検出土坑計測表

番号	検出地区・層	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	平面プラン	備考
SC3	A区・VI層上面	2.78	1.45	0.50	不整楕円形	暗褐色埋土
SC4	B区・VI層上面	2.50	2.02	0.90	不整楕円形	暗褐色埋土
SC5	B区・VI層上面	1.20	0.84	0.24	不整楕円形	
SC6	A区・VI層上面	1.67	1.00	0.40	不整楕円形	暗褐色埋土、チャート原石
SC7	G区南半・VI層上面	1.16	1.00	0.20	円形	暗褐色埋土
SC12	G区北半・VI層上面	3.14	1.80	0.70	不定形	SC13に類似の埋土
SC13	G区北半・VI層上面	3.93	2.61	0.70	不整楕円形	褐色系埋土、遺物多い
SC14	G区南半・VI層上面	1.00	0.82	0.22	楕円形	暗褐色埋土

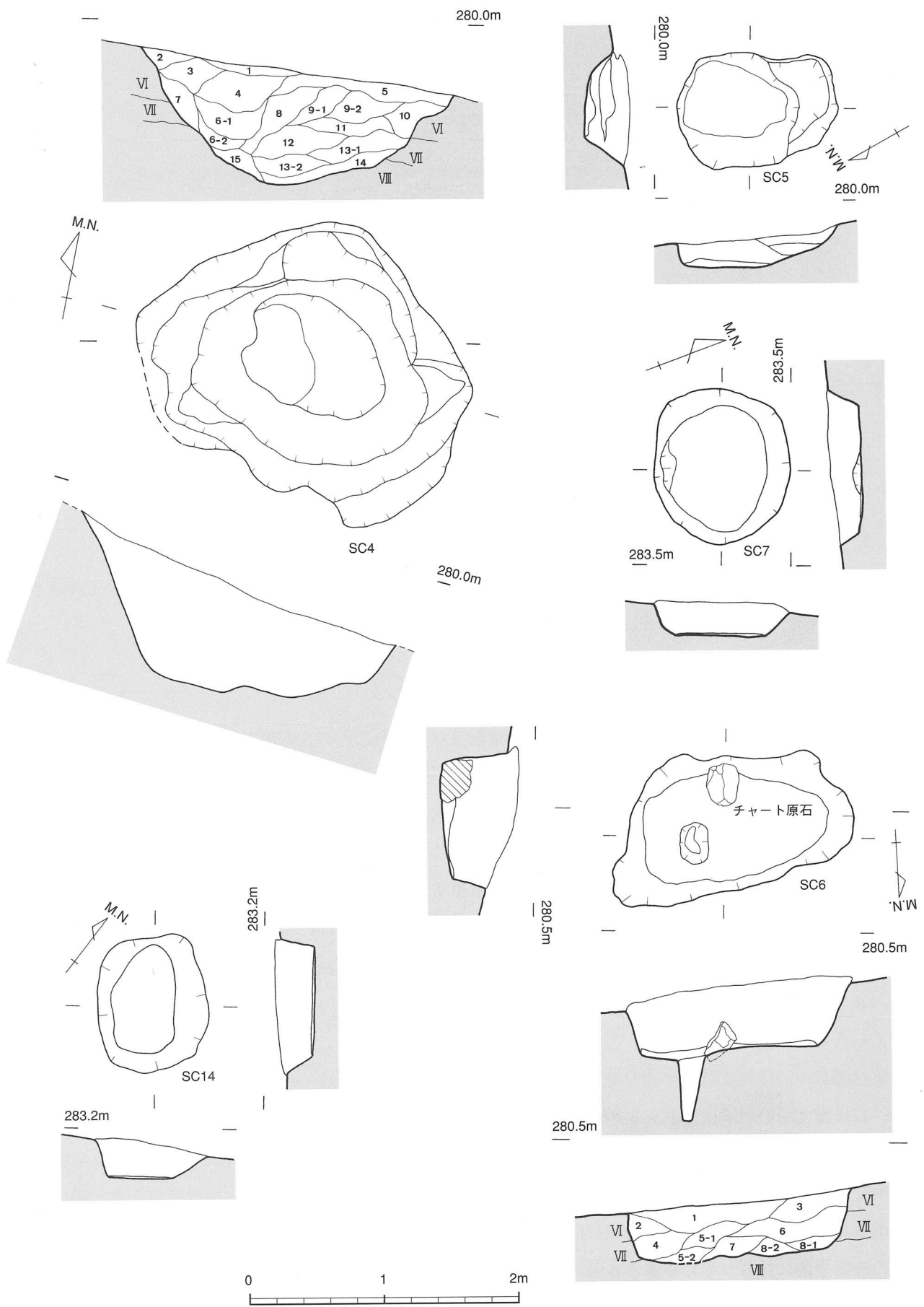


第9図 布平遺跡VI層（アカホヤ）上面検出遺構分布図（1/400）

物を加速器質量分析（AMS）法による放射性炭素年代測定に委託した結果、補正年代値で $3,250 \pm 60$ 年BPという年代が報告されている（ ^{14}C 年代は $3,270 \pm 60$ 年BP、測定No.Beta-105080）。

2 出土遺物

布平遺跡から出土した遺物は、出土状況や取り上げ状況など詳細は不明である。実際の遺物や残された図面から判断すると、遺構や層ごとの一括取り上げを基本としいわゆる点上げはごく一部で行われたようである。調査終了時に2万5千点とも記された遺物のうちその殆どは縄文時代後期後半から晩期の遺物である。竪穴住居跡や土坑・ピット等からも多量に出土しているが、多くはⅢ・Ⅳ層、量的には少なくなるがⅤ層からも出土している。また、早期の遺物はアカホヤ火山灰層の下のⅦ層から出土してい



第10図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図(1)

S = 1/40

SC4

1	暗褐色	やや軟	1～2cmのV層ブロックを少量含む。
2	暗褐色	やや硬	1～5mmのアカホヤ粒を少量含む。シルト質。
3	暗褐色	やや硬	2cm前後のV層ブロック、1mm以下の炭化物粒を少量含む。しまっている。
4	極暗褐色	やや硬	やや粘性帯びる。しまっている。
5	黄褐色	やや硬	5cm前後のV-2層ブロックを少量含む。
6-1	極暗褐色	やや軟	1cm前後の褐色土ブロックを少量含む。粘性がある。
6-2	極暗褐色	やや硬	5mm前後の褐色土ブロックを少量含む。粘性がある。
7	暗褐色	やや硬	1～2cmの極暗褐色土ブロックを含む。しまっている。
8	暗褐色	やや硬	2～5mmのアカホヤ粒を極少量、2cm前後の褐色土ブロック少量を含む。しまっている。
9-1	暗褐色	やや硬	1mm～4cmのアカホヤ粒及び同ブロックを含む。シルト質。
9-2	暗褐色	やや硬	1mm～1cmのアカホヤ粒を少量含む。シルト質。
10	暗オリーブ褐色	やや硬	2mm前後のアカホヤ粒を極少量含む。しまりのあるシルト質。
11	暗褐色	やや軟	1～3mmのアカホヤ粒を極少量、2cm前後のV-2層ブロックを含む。やや粘性がある。
12	暗褐色	やや硬	5mm～5cmのアカホヤ粒及び同ブロック少量、5mm前後の褐色土粒含む。
13-1	暗褐色	やや硬	1mm～10cmのアカホヤ粒及び同ブロックを多量含む。シルト質。
13-2	暗褐色	やや硬	1mm～2cmのアカホヤ粒及び同ブロックを含む。シルト質。
14	極暗褐色	やや硬	2mm前後のアカホヤ粒極少量、2～3cmのVII層ブロック含む。粘性がある。
15	暗褐色	やや軟	5mm～1cmのVII層粒含む。粘性がある。VII層に類似。

SC6

1	暗褐色	やや軟	2cm前後のV層ブロックを含む。
2	暗褐色	やや硬	1mm前後のアカホヤ粒及び2～3cmのVII層ブロックを含む。
3	暗褐色	やや軟	3～10cmのアカホヤブロックを少量含む。
4	暗褐色	やや硬	2～8mmのアカホヤ粒少量、1cm前後のVIII層粒を含む。しまっている。
5-1	暗褐色	やや硬	1mm前後のアカホヤ粒極少量、1cm前後の青灰色ブロックを含む。粘性がある。
5-2	暗褐色	やや硬	1mm前後のアカホヤ粒少量、1cm前後の青灰色ブロックを5-1層より多く含む。粘性がある。
6	暗褐色	硬	5mm前後のアカホヤ粒を極少量含む。しまっている。
7	暗褐色	やや軟	3mm前後のアカホヤ粒含む。2cm前後のV層ブロックを少量含む。
8-1	極暗褐色	やや軟	5mm～1cmのV層粒を少量含む。粘性がある。
8-2	極暗褐色	やや軟	5mm～1cmのV層粒を含む。粘性がある。

る。遺物の大半が出土するⅢ・Ⅳ層からは既に述べているとおり中世の陶磁器類や弥生土器・土師器等も小片ながら少量混在している。

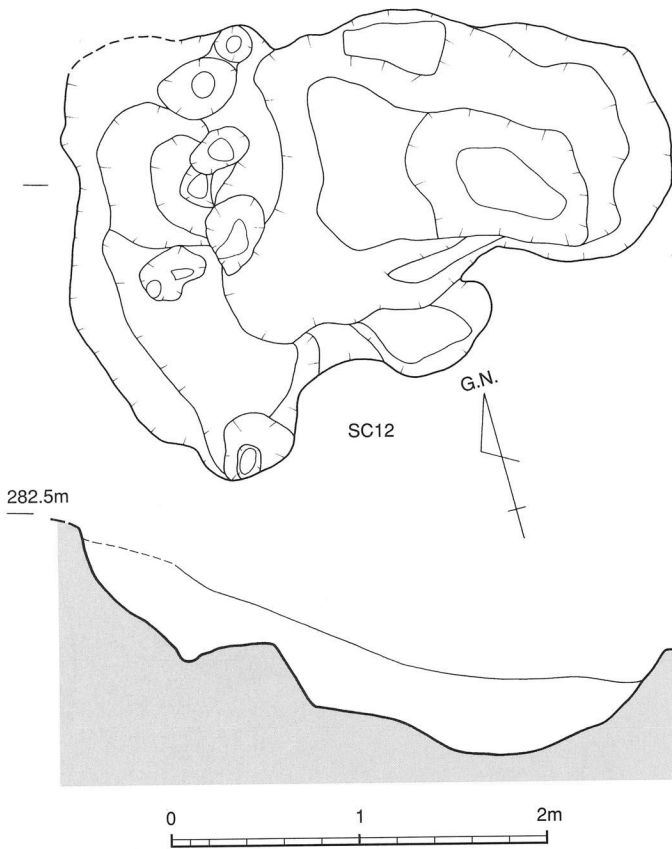
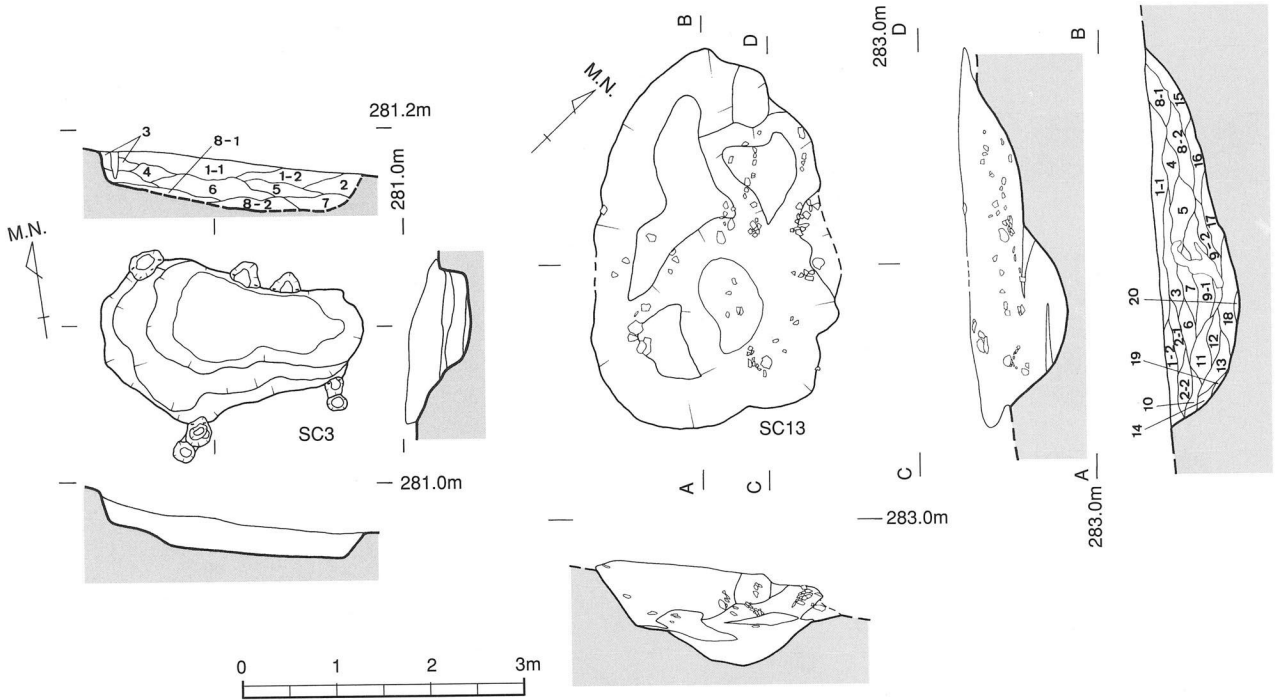
縄文時代の遺物と遺構出土遺物について

(1) 土器その他 (第12図～第19図 表7)

出土遺物のうち遺構出土の土器、その他関連遺物及び包含層出土の比較的破片が大きなものや時期的特徴を表すものを図化した。

このうち第12図1～4は1号堅穴住居跡(SA1)出土である。晩期前～中葉の土器であろう。5～12はSA2出土。同様の時期を示す土器類である。ところが関連して住居跡出土遺物として14～15の古銭が出土している。これらはSA6の床面近くから出土し、調査者がE区堅穴住居跡群の営まれた時期を考える際に、多くの縄文土器の出土にもかかわらず、他のピット群の埋土や中世遺物混在の包含層の状況などとともに堅穴住居跡が古代(末)～中世に営まれたものではないかと考えさせられた遺物である。16～46までは土坑出土の土器である。18の早期押型文土器を除いて殆どが晩期前半～中葉の遺物と考えられる。

第14図47～57は縄文時代早期と考えられる土器である。このうち47・49・51・56・57はVII層出土である。47は南九州の岩本式土器相当の土器と思われる。55はV層出土であるが手向山式土器と考えられる。56・57は同一個体で早期末に比定されている土器である。58は前期曾畑式土器の胴部片か。59は全容が不明だが宮崎平野部から県北五ヶ瀬川流域に散見される後期中葉頃と考えられる土器であろう。60は後期前半の貼り付けたか折り返した様な口縁帯に単純な短沈線文を施す土器と思われる。61～62は県南地方の後期中葉に見られるいわゆる丸尾式土器であろう。63も条痕や口縁端部の特徴から同時期の所産であろう。第15図64～74は貝殻疑似縄文や磨消縄文を施した土器で、75～82はいわゆる黒色磨研土器である。これらは北久根山式・西平式・太郎迫式・三万田式の各土器に相当する。83～90は口縁帯に沈線や凹線を施す黒色磨研の深鉢形土器で、やはり三万田式・鳥井原式・御領式の各土器に相当する。91～



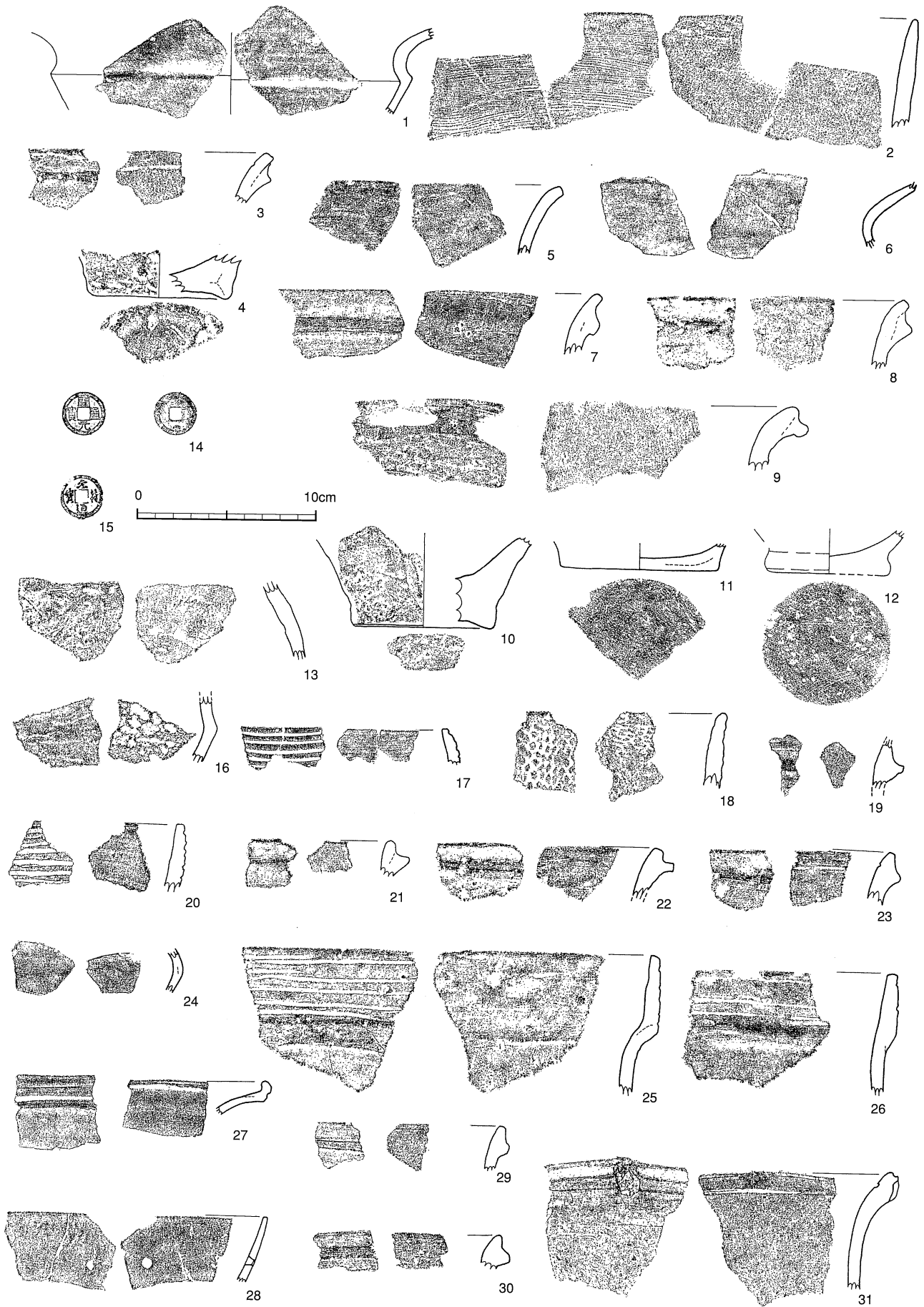
SC3

- 1-1 暗褐色 硬 1mm前後の炭化物粒を極少量含む。非常にしまっている。
- 1-2 暗褐色 硬 1mm前後の炭化物粒及び1cm前後のVI層粒を極少量含む。しまっている。
- 2 暗オリーブ褐色 やや硬 1cm前後のVI層粒を少量含む。
- 3 暗オリーブ褐色 硬 3~5cmのVI層ブロックを含む。しまっている。
- 4 暗褐色 やや硬 1~3cmのV層ブロックを少量含む。
- 5 オリーブ褐色 やや硬 5mm前後のアカホヤ粒を少量、3~8cmのVI層ブロックを含む。
- 6 暗褐色 硬 1mm以下の炭化物細粒を少量含む。しまっている。
- 7 暗オリーブ褐色 やや硬 5mm~4cmのアカホヤ粒及び同ブロックを少量含む。
- 8-1 極暗褐色 やや硬 1~3cmの暗褐色土ブロックを少量含む。粘性がある。
- 8-2 極暗褐色 やや硬 1~3cmの暗褐色土ブロックを極少量含む。粘性がある。

SC13

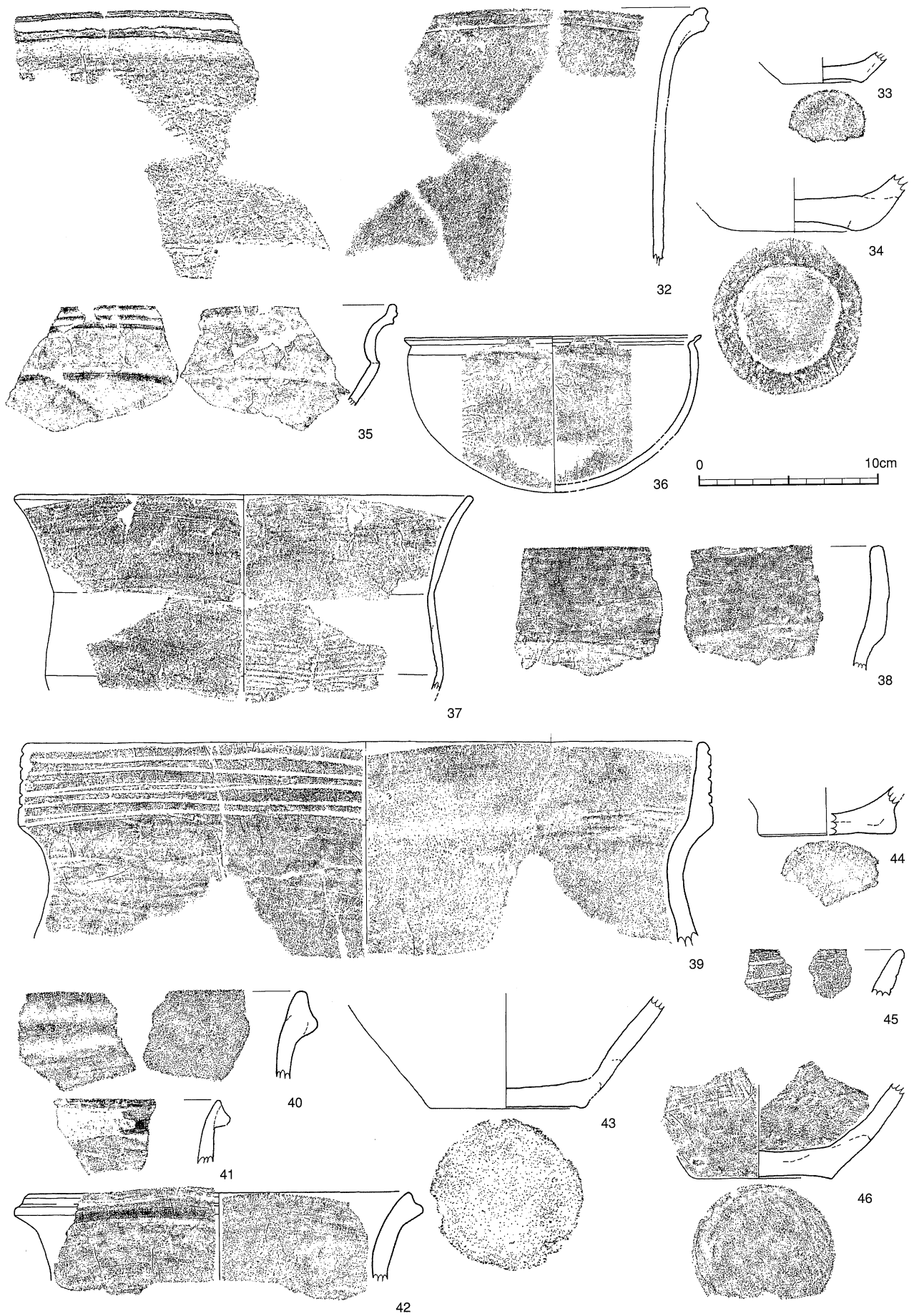
- 1-1 にぶい褐色 やや硬 1mm以下の白色砂粒を含む。1cm前後の黒褐色土粒を少量含む。
- 1-2 にぶい褐色 やや硬 1mm以下の白色砂粒を少量含む。1cm前後の黒褐色土粒を少量含む。
- 2-1 褐色 やや硬 5mm前後の暗褐色土粒を少量含む。
- 2-2 褐色 やや硬 5mm~1cmの暗褐色土粒を含む。
- 3 にぶい褐色 硬 1mm前後の白色砂粒を少量含む。
- 4 暗褐色 やや硬 含有物なし。やや粘質である。
- 5 暗褐色 やや硬 1mm以下の白色砂粒及び炭化物粒を少量含む。シルト質。
- 6 褐色 やや硬 1mm以下の炭化物粒を含む。V層に類似。
- 7 褐色 硬 1~2mmの白色砂粒を極少量含む。しまっている。
- 8-1 褐色 やや軟 5mm前後のアカホヤ粒、2~3cmのIV層ブロックを含む。
- 8-2 褐色 軟 1~3cmのアカホヤ粒及びIV層ブロックを少量含む。
- 9-1 暗褐色 やや硬 1mm以下の白色砂粒(ガラス質)及び5mm前後の黒色土粒を含む。
- 9-2 暗褐色 やや硬 1mm以下の白色砂粒(ガラス質)及び2cm前後の黒色土ブロックを極少量含む。
- 10 褐色 やや軟 含有物なし。V層に類似。
- 11 褐色 やや軟 3~5cmのシルト質ブロックを含む。
- 12 にぶい褐色 やや軟 1cm前後の黄褐色土粒及びVI層粒を少量含む。
- 13 にぶい褐色 やや硬 1mm以下の白色砂粒(ガラス質)、3cm前後のシルト質ブロックを少量含む。
- 14 暗褐色 やや硬 含有物なし。粘性を帯びしまっている。
- 15 褐色 やや軟 2cm前後の暗褐色土ブロックを含む。
- 16 黄褐色 軟 1mm以下のATと思われる粒を極少量含む。X層に類似。
- 17 にぶい褐色 やや硬 1~2cmの黄褐色土ブロック、XI層ブロックを含む。シルト質。
- 18 暗褐色 やや硬 2cm前後の黄褐色土ブロックを少量含む。やや粘性がある。
- 19 暗褐色 やや軟 1mm以下のAT粒を極少量含む。
- 20 極暗褐色 やや軟 2mm前後のAT粒及び2cm前後のXI層ブロックを含む。

第11図 布平遺跡VI層上面検出土坑実測図(2)



第12図 布平遺跡出土土器実測図(1) ※SA6出土銅銭拓影を含む

S = 1 / 3



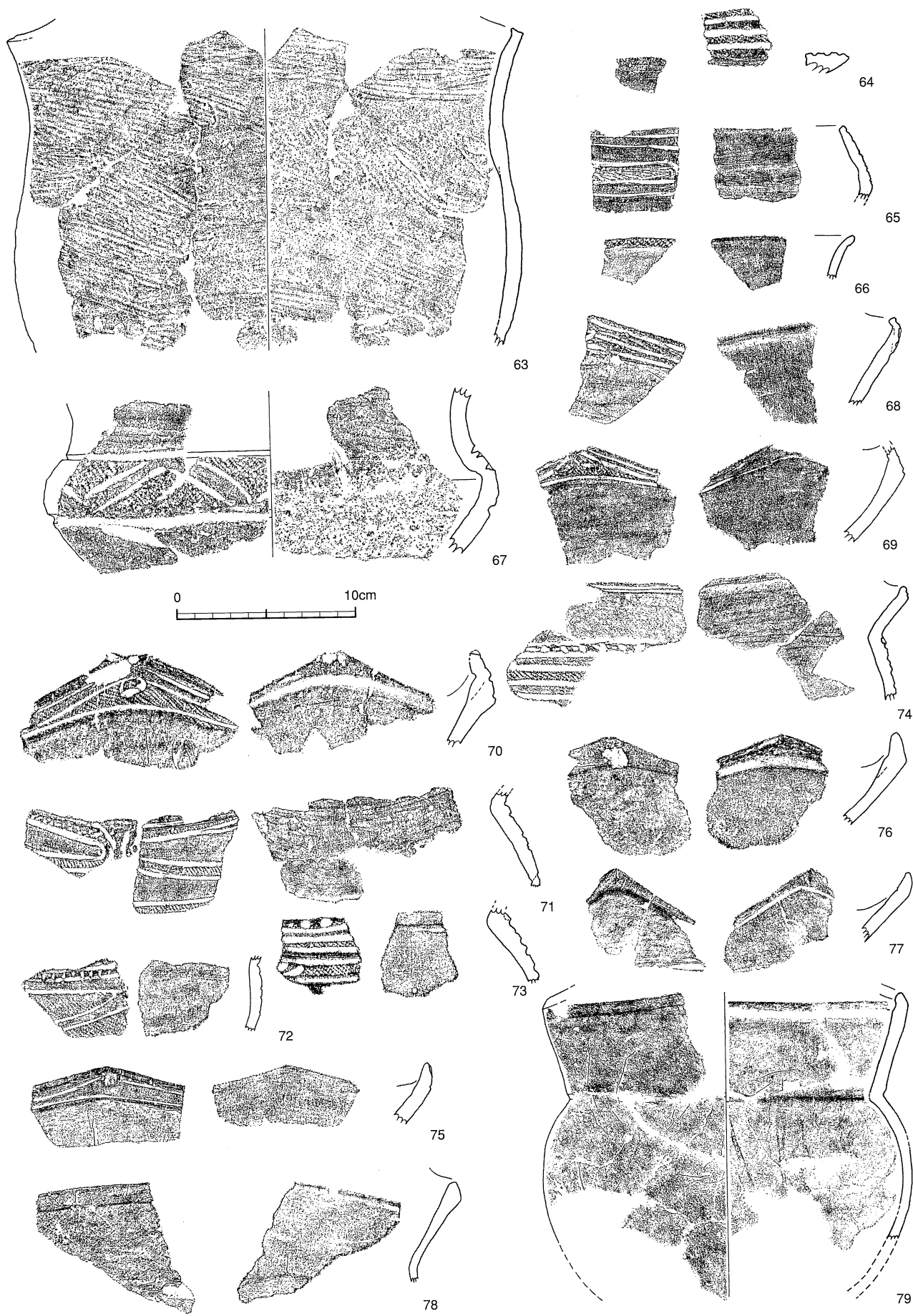
第13图 布平遺跡出土土器実測図(2)

S = 1 / 3



第14图 布平遺跡出土土器実測図(3)

S = 1 / 3



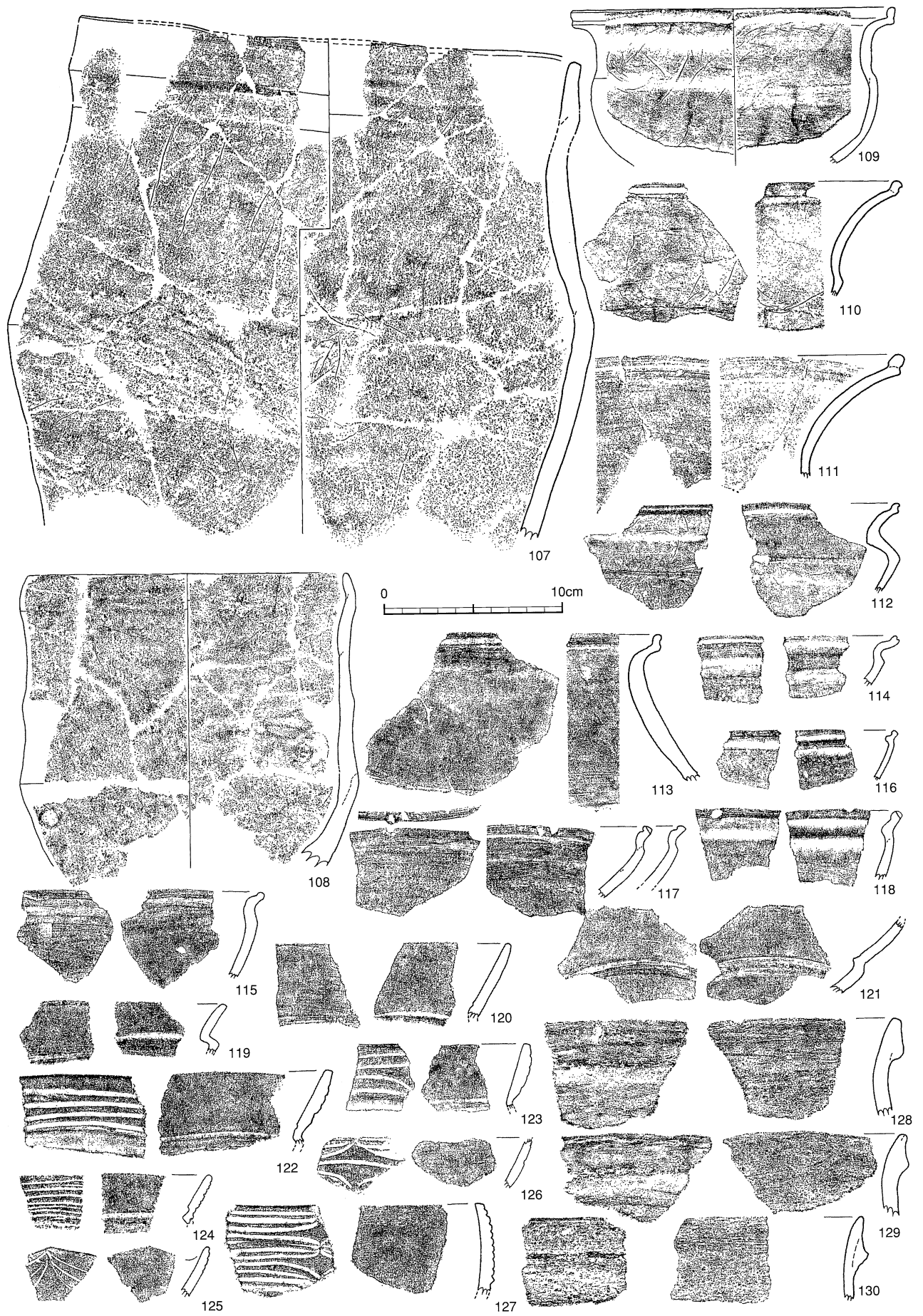
第15图 布平遺跡出土土器実測图 (4)

S = 1 / 3



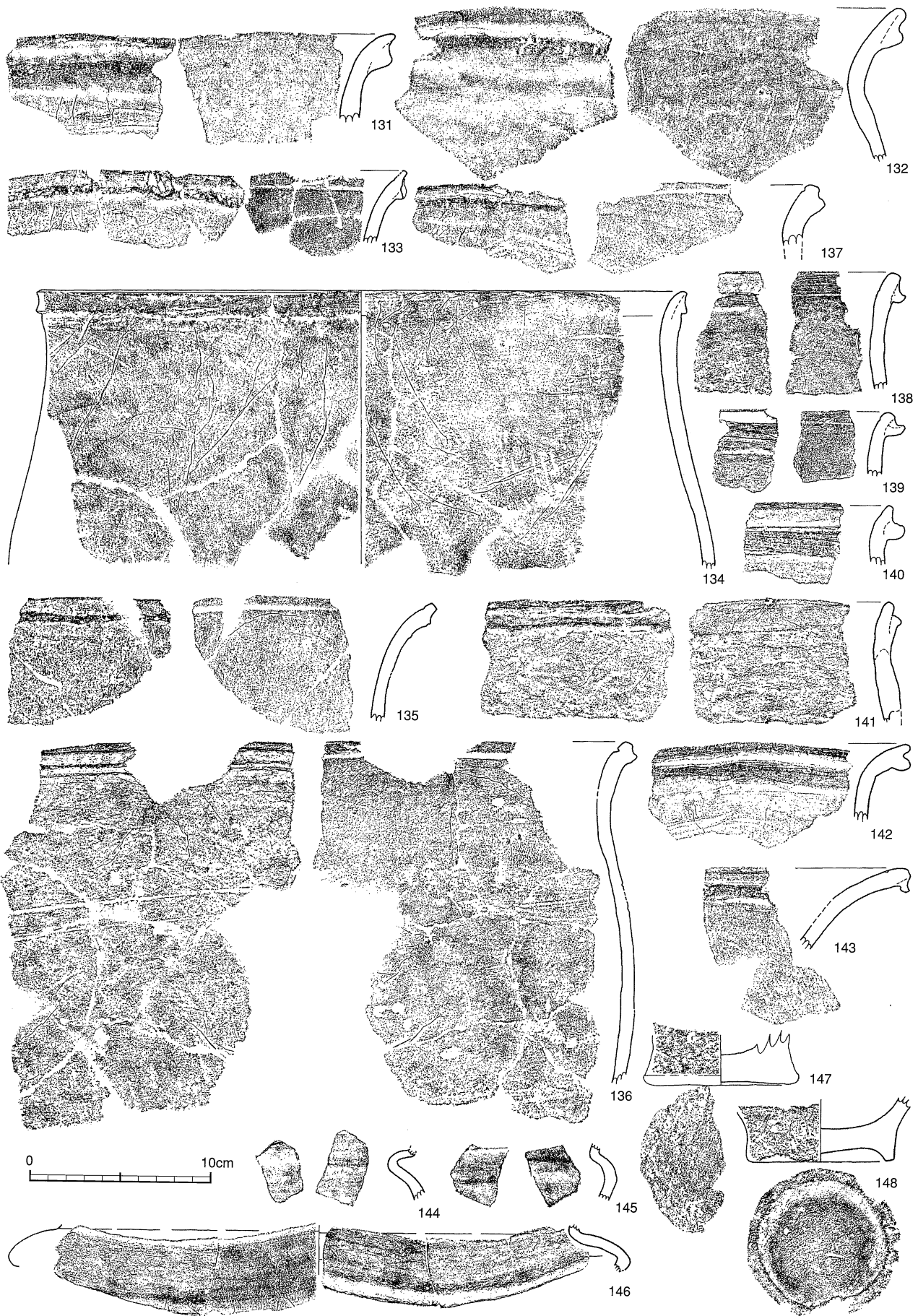
第16图 布平遺跡出土土器実測図 (5)

S = 1 / 3



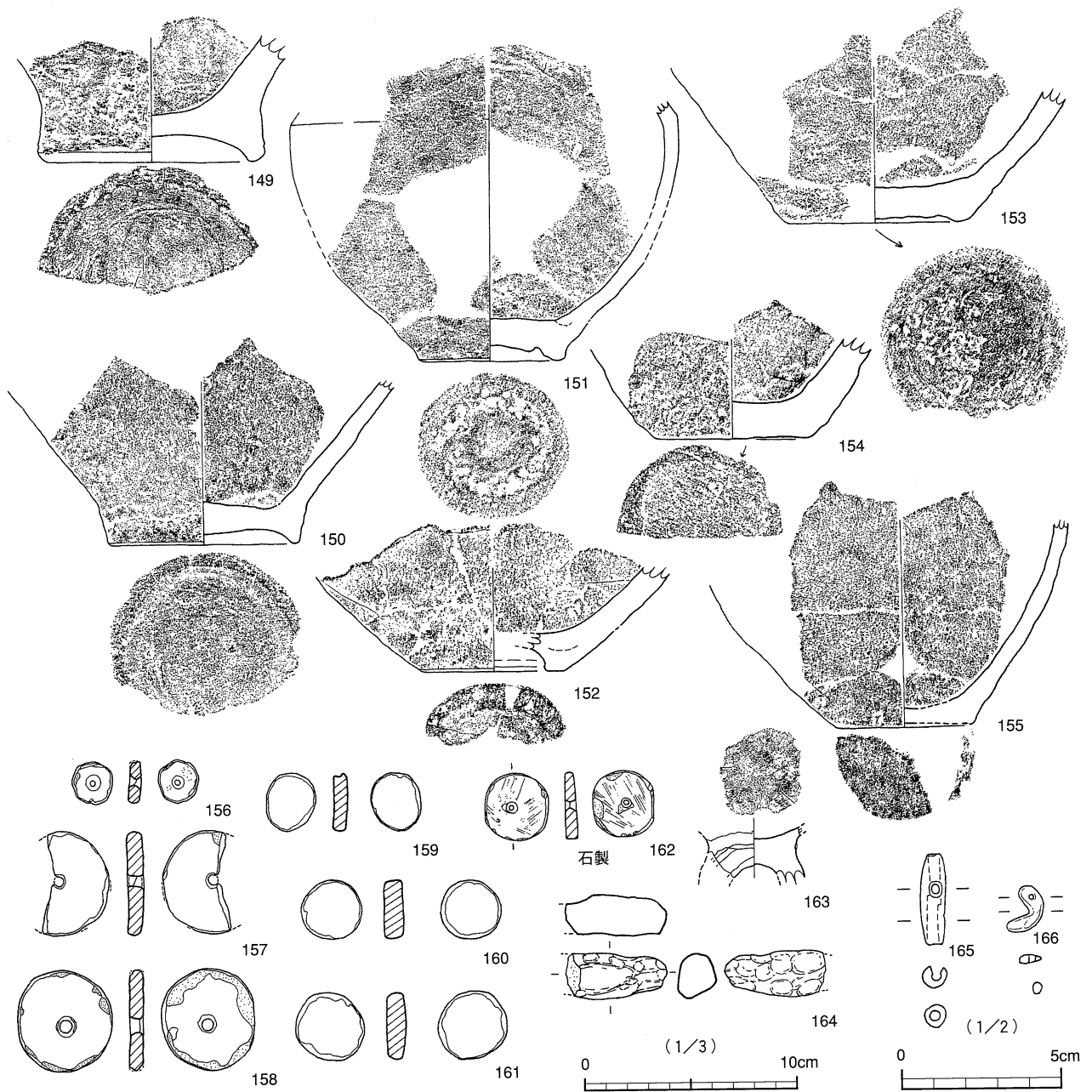
第17图 布平遺跡出土土器実測図(6)

S = 1 / 3



第18图 布平遺跡出土土器実測図(7)

S = 1 / 3



第19図 布平遺跡出土土器（8）・土製品・石製品実測図

102は三万田式～後期末あるいは晩期初頭と考えられる時期の浅鉢形土器である。103～108は晩期前半の口縁帯を有する深鉢で沈線を施すものや無文のものである。109～127は同じく晩期前半の黒色磨研の浅鉢である。128～143は無文の口縁帯下部が肥厚して突出するもので貼付突帯文を有するものも含まれる。いわゆる無刻目突帯文土器の類である。144～146は従来から黒川式期の浅鉢とされる土器である。147～155は各期の底部である。156～162は有孔または穴のない円盤状土製品と有孔円盤状石製品である。163は三万田式期の高坏形土器脚部片と思われる。164は手捏ねの土製品、165～166はIV層・V層出土の硬玉製（翡翠輝石）管玉と勾玉である。管玉は側面にも未貫通の孔があく。

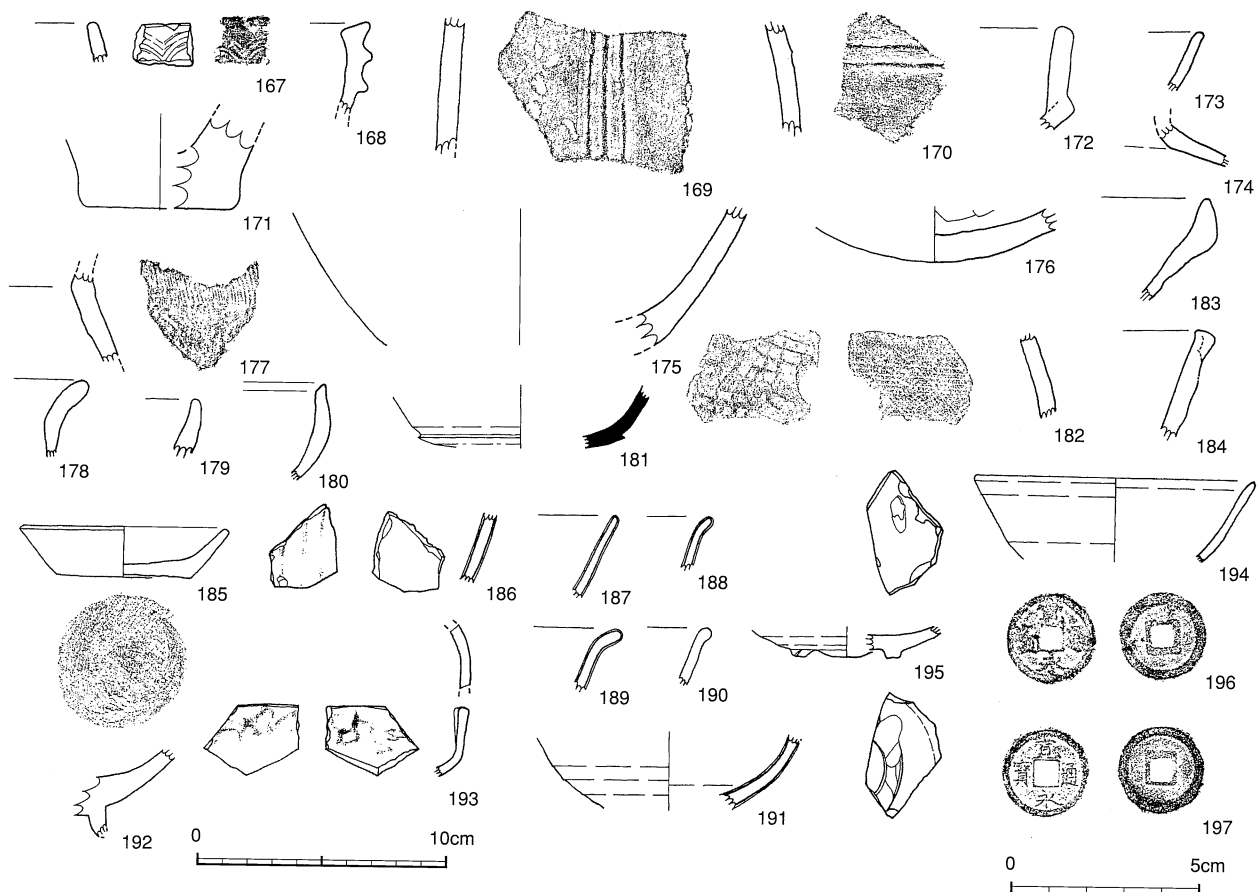
（2）石器類（第21図～第26図 表8）

石器類は土器と同じくⅢ・Ⅳ層出土のものが多くを占める。ここでは剥片石器から礫石器の順に主に

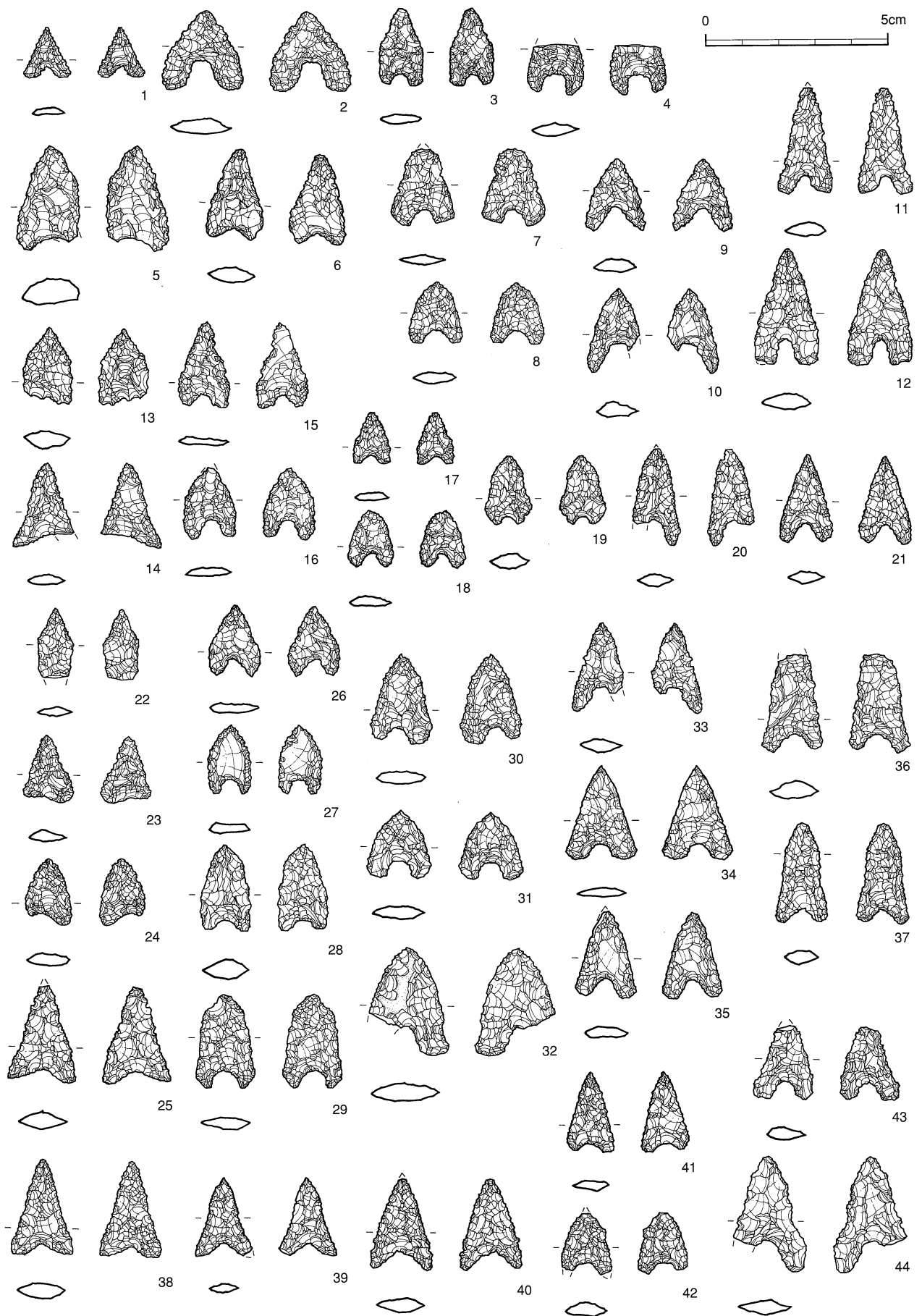
層ごとに図示する。石器も多量に出土しているが、図化できなかつたものも全て計測表ならびに図版に示した。もっとも多いのは打製石斧である。打製石斧は短冊形（第23図80）あるいは幅が狭く細身のいわゆる石鎌類（第23図81～82など）を含むものが最も多く（Ⅰ類）、バチ形あるいは基部先端が三角形に尖るもの（Ⅱ類 第23図83～90）が次に多い。また、そのほかに肩部を有するものも少量であるが出土している（Ⅲ類 第24図91～96）。全ては図化できなかつたが、その外形をまとめたものが第26図である（整理初期の作成のため多少異類のものも混入している）。このほか、磨製石斧も多くはないが出土している。その殆どは破損品である。また、磨石・敲石の出土量に比べると石皿や台石類はごく少ない。石錘も極めて少ない。特筆すべき石器として第25図122～125の石刀・石棒があげられる。県内でも4例前後しか出土していないと思うが、近くでは高千穂町の陣内遺跡で両方の出土例がある。石器組成については言及できなかつたが狩猟用具や工具類の多さが目立っている。

弥生時代以降の遺物（第20図）

167は複合口縁壺の拡張部で外面に櫛描波状文が施される。168は鉢形をなすと考えられ、口縁部に突帯、さらにその直下に2条の突帯がつく。169は甕形土器の胴部で、縦に3条のミミズ張れ状の突帯3条とその両側に縦方向に刻み目が施される。170は壺形土器の肩部で2条の突帯が付される。171は甕形土器の底部で平底を呈す。172は複合口縁壺で拡張部が外傾し、櫛描は見られない。173・174は布留系の甕形土器で口縁部はやや内湾しながら外傾する。内外面ともナデ調整。明らかに他の土器と器壁の厚さ、胎土が異なるが、畿内地方の搬入品というわけではない。175・176は壺形土器の底部で丸底を呈す。177は甕形土器の頸部で口縁部は外面が粗いハケメ、胴部はタタキの後、ナデ調整。179・180は古墳時

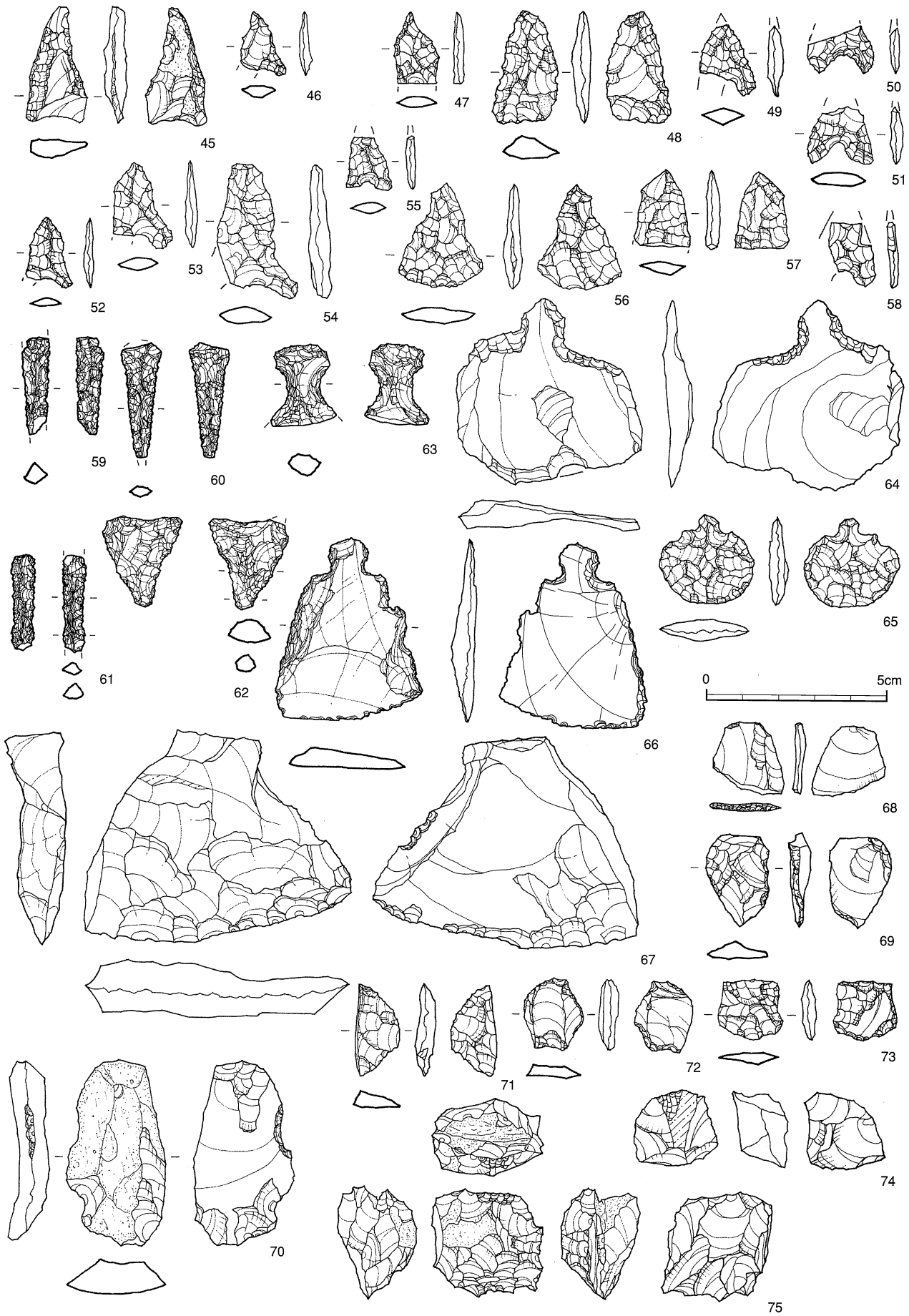


第20図 布平遺跡弥生時代以降出土遺物実測図



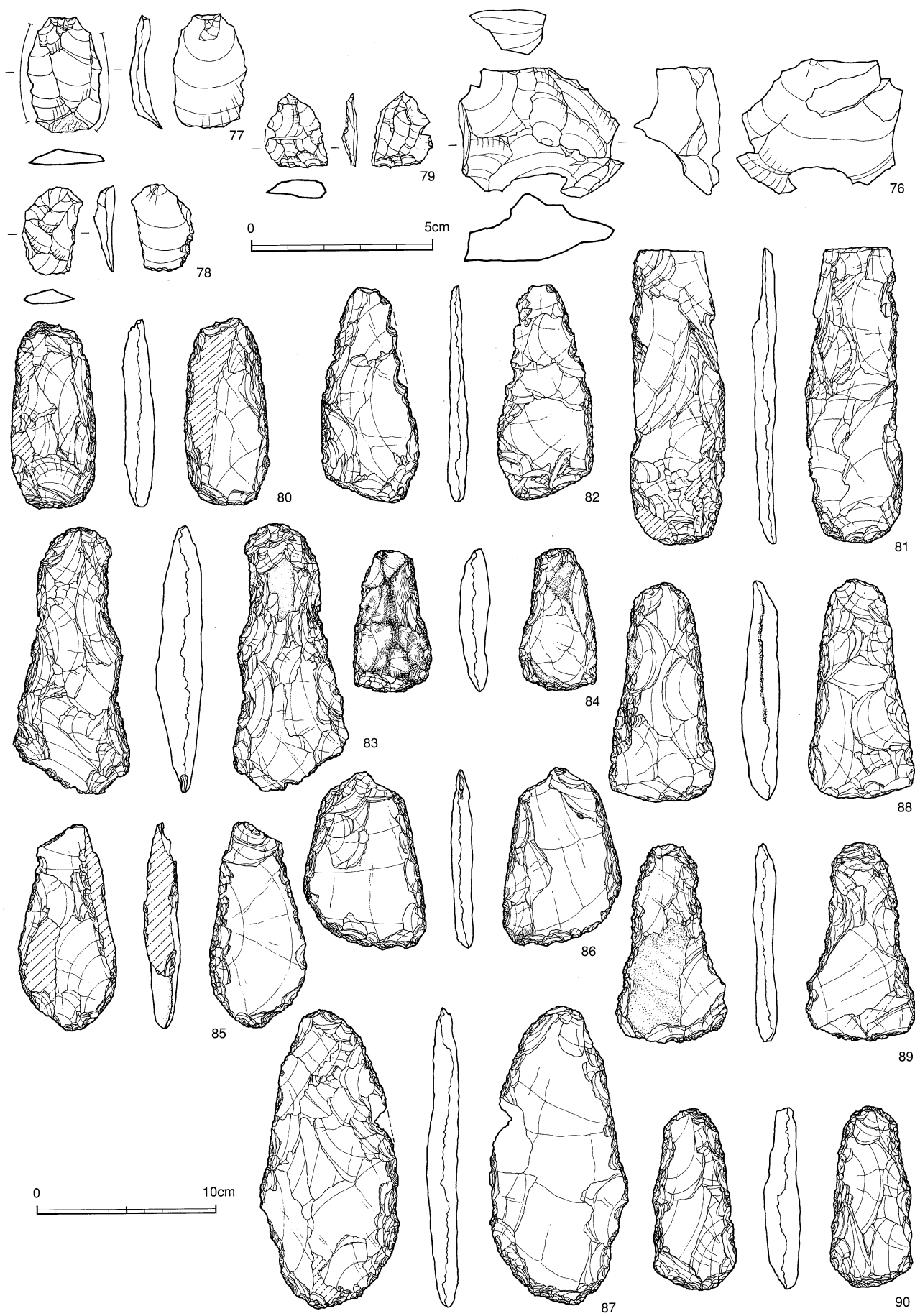
第21图 布平遺跡出土石器実測図 (1)

S = 2 / 3



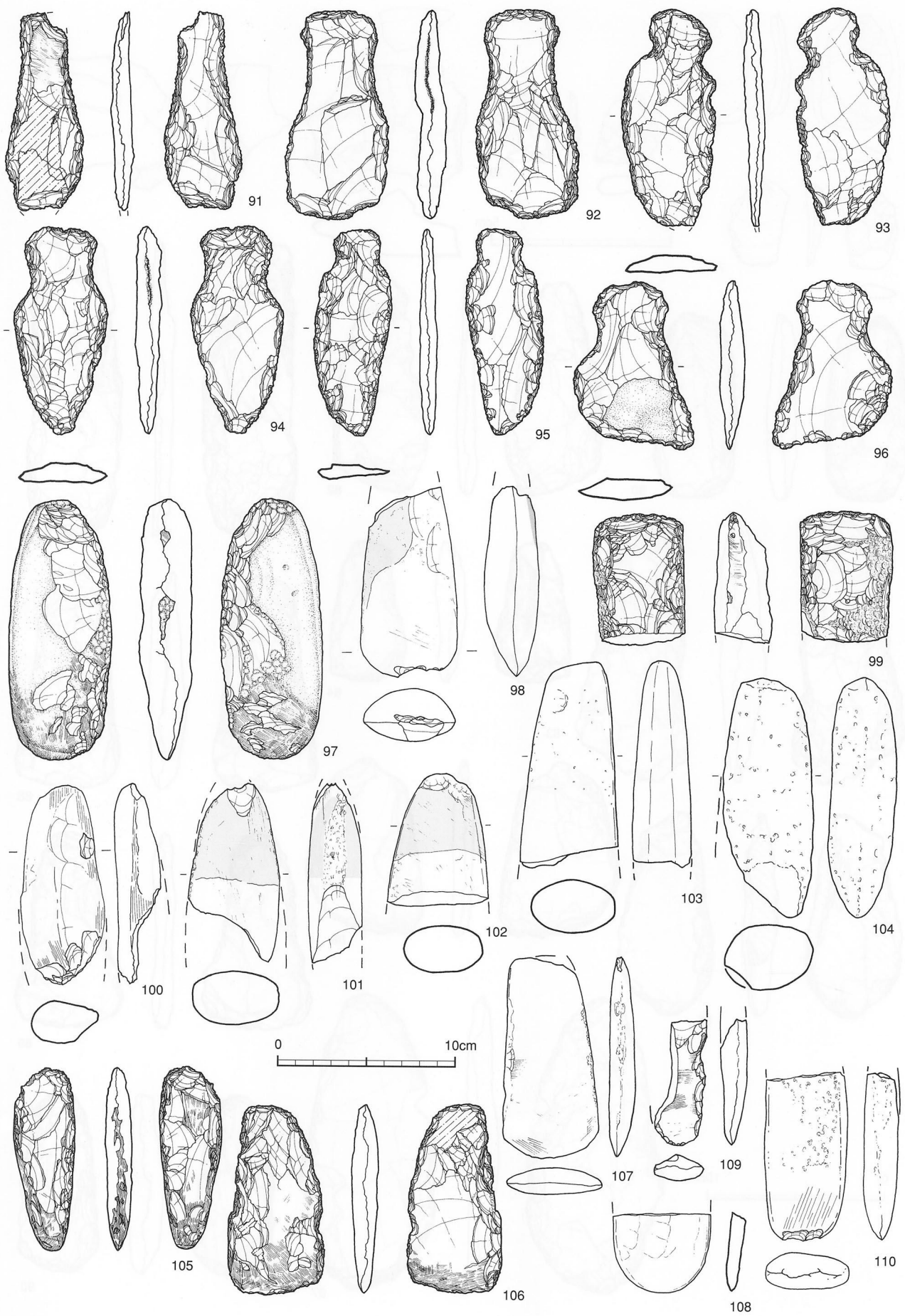
第22图 布平遺跡出土石器実測图 (2)

S = 2 / 3



第23图 布平遺跡出土石器実測図(3)

S = 2/3 · 1/3

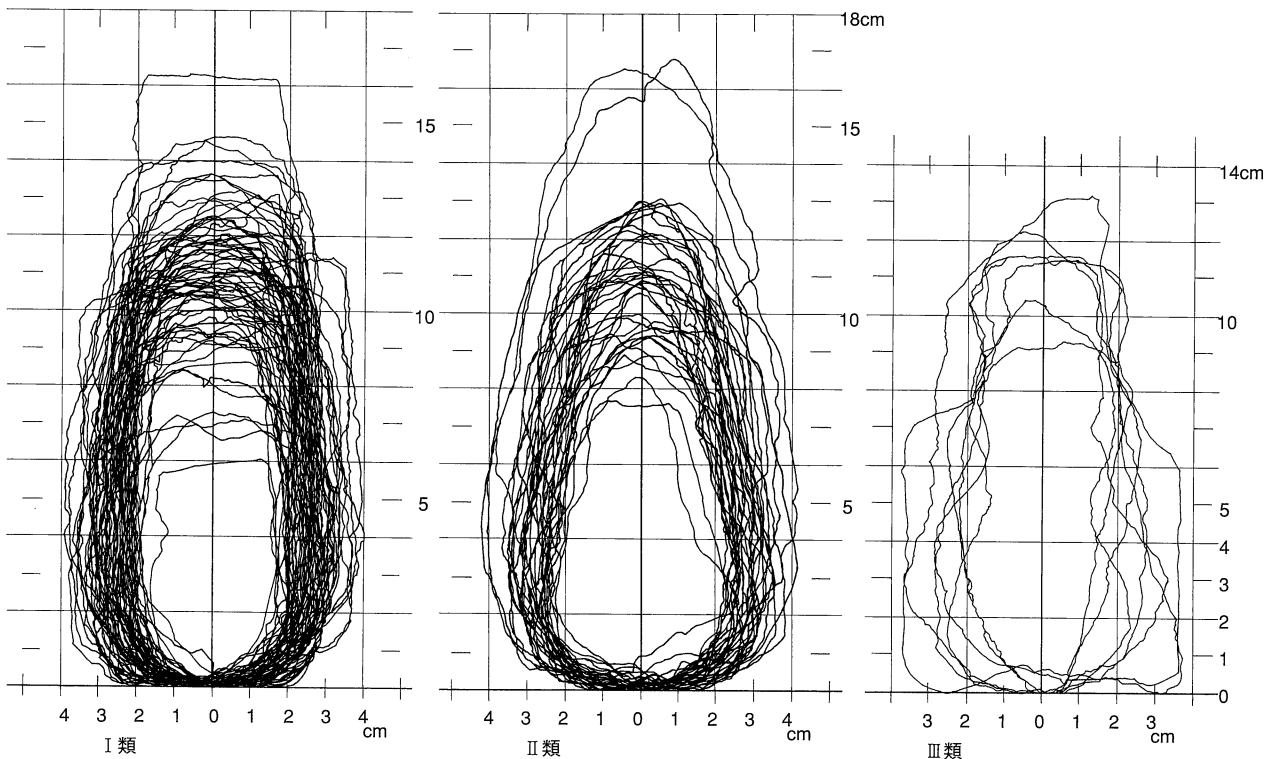


第24图 布平遺跡出土石器実測図(4)

S = 1 / 3



第25図 布平遺跡出土石器実測図 (5) $\frac{111\sim 114}{118\sim 125} S = 1/2$ $\frac{115\sim 117}{126} S = 1/3$



第26図 布平遺跡出土打製石斧形態別比較図（1／2）

代の埴形土器で、内外面ともていねいなナデ。181は須恵器高杯の杯部で下半に突帯を有する。182は土師質の甕形土器で外面格子目タタキ、内面横ナデ。183は東播系こね鉢、184も須恵質のこね鉢で口縁部は平口縁をなす。185は土師質の小皿で糸切り底。186～193は青磁である。186・192は線描蓮弁文碗、188～190は端反り碗の口縁部、193は皿（角皿）の可能性もある。194・195は白磁で、195は高台がアーチ状をなす小型の皿である。江戸時代の遺物として寛永通宝（196・197）が2枚出土している。ほかに図示していないが、時期不明のフイゴの羽口の小片や土鈴と推定される破片も出土している。

第4節 まとめ

ここで布平遺跡の遺構の時期について述べてまとめにしたい。当時の調査者は、調査終了後の概要報告で遺構の時期を埋土状況と検出面で分けている。その際判断に大きく影響した遺物はやはり第12図14～15の古銭とSA1のピットから出土したとされる白磁片（現在所在不明）であろう。V層上面で検出された遺構はその埋土が上層の黒褐色土・暗褐色土系の土であり、縄文遺物は多量に出土したが混在する中世の遺物（15世紀を中心とする前後）の時期にピット群は比定されている。ただ、竪穴住居跡は古代末～中世かとされたが、Ⅲ～Ⅴ層から出土した古代の土師器等は摩耗した小片で決め手に欠ける。一方で竪穴住居が中世にも営まれるのかという疑問も残る。調査中に焼土面や硬化面の存在から竪穴住居跡と認定されたため一度は否定された「掘立柱建物用の削平した整地部分」という考え方も再考の余地があると思う。またⅥ層検出の土坑は縄文時代とされているが年代測定をしたSC3、縄文晩期の遺物が出土したSC12・13以外は暗褐色埋土のみで時期を決めがたい。時期不明とした方がよいと思われる。

表7 布平遺跡出土土器、その他観察表

報告書 番号	出土区	部 位	文 様	調 整	色 調		胎 土 の 特 徴	備 考
					外 面	内 面		
1	SA1	浅鉢 頸部		内外面とも横の方向のヘラミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	1mm以下の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、灰白色の岩片を含む	内面の一部にスス状の黒い部分あり
2	SA1	深鉢 口縁部		外面 横・斜方向に板状工具によるナデ 内面 丁寧な横ナデ	にぶい橙	にぶい橙	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色半透明の鉱物粒、乳白色の微細粒を含む。	外面の所々にスス付着か
3	SA1	深鉢 口縁部	無刻目突帯文、内面に浅い沈線	内外面 横方向のナデ	にぶい赤褐 褐灰	褐灰	3mm以下の灰白の小石、茶褐色の岩片を含む	
4	SA1	深鉢 底部		外面 粗いナデ 内面 ナデ	にぶい赤褐	オリブ黒	3mm以下の灰白色の岩片、無色透明・光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、橙色の砂粒を含む	外面風化(剥離)著しい
5	SA2	深鉢 口縁部		外面 横ナデ一部横方向の貝殻条痕 文残存 内面 横ナデ 風化気味	にぶい黄褐	黄褐	1mm以下の光沢のある透明、黒色鉱物粒及び白色不透明の鉱物粒を含む	外面にスス付着
6	SA2	浅鉢 頸部		内外面とも横方向の丁寧なヘラミガキ	暗灰・灰	暗灰・灰黄	1mm以下の灰白色の岩片、光沢のある黒色角柱状、白色不透明の鉱物粒を含む	
7	SA2	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 横方向、一部斜方向のナデ。 内面 横方向のナデ	にぶい褐	にぶい橙	2mm以下の褐色不透明な角のある鉱物粒、白色不透明な鉱物粒を含む	外面スス付着
8	SA2	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも全体的に粗い横ナデ。	褐	褐	1mmの光沢のある黒色角柱状、やや黄色味ある透明の鉱物粒、1mm~3mm大の灰白色・灰色の岩片を含む	外面わずかにスス付着
9	SA2	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 粗い横ナデ・指頭痕あり 内面 ナデ 風化気味	にぶい黄橙	にぶい黄橙	5mm以下の褐灰の礫、白色不透明の岩片、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	
10	SA2	深鉢 底部		外・底面 粗いナデ 内面 ナデ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	4mm以下の光沢のある黒色角柱状、黒色透明、黒褐色の鉱物粒、5mm以下の灰白・茶褐色の岩片を含む	
11	SA2	深鉢 底部		外面 丁寧な横ナデもしくはミガキか 底面 ミガキか 内面 ミガキ	にぶい褐	にぶい黄褐	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒、灰白の小石、乳白色の岩片を含む	
12	SA2	深鉢 底部		外面 横・斜方向にナデ。工具痕あり。 底面 ナデ 内面 ナデ	にぶい赤褐	にぶい黄褐	1mm以下の白色半透明、光沢のある黒色鉱物粒、5mm以下の灰白色・にぶい赤褐の岩片を含む	外面 調整による凹みあり
13	SA4	深鉢 胴部		外面 粗い横ナデ、縦横に工具痕あり。 内面 粗い横ナデ、強い工具痕あり	にぶい黄褐・ 黒褐	暗灰黄・ 黒褐	1mm以下の白色半透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	外面に一部ススあり
14	SA6	銭	開元通寶					床上5~10cm前後
15	SA6	銭	元符通寶					床上約5cm、破損
16	SC2	深鉢 胴部		外面 横ナデ 内面 横ナデ、剥離	にぶい黄橙	明褐	3mm以下の光沢のある黒色鉱物粒、1~4mmの灰白で不定形な岩片を含む	外面下半にスス付着
17	SC3	浅鉢 口縁部	5条の沈線文	内外面ともヘラミガキ	灰	灰オリブ	0.5mm以下の黒褐・灰白の粒を含む	
18	SC4	深鉢 口縁部	楕円押型文	外面 縦ナデか 内面 横ナデか	明赤褐 にぶい黄褐	明褐	2mm以下の褐灰、光沢のある透明及び黒色角柱状の鉱物粒、5mm大の灰白岩片を含む	
19	SC5	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 横ナデ 内面 丁寧なナデ	にぶい黄橙 にぶい橙	にぶい黄	1mm以下の光沢のある透明、黒色角柱状の鉱物粒、灰白の鉱物粒、2mm大の灰白岩片を含む	
20	SC8	深鉢か 口縁部	6~7条の沈線文	内外面とも横ナデ	灰黄褐	暗オリブ 褐	5mm以下の灰白、赤褐、光沢のある透明、浅い橙の鉱物粒を含む	
21	SC9	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	褐	褐	3mm~6mmのにぶい黄褐で不定形な岩片、2mm以下の光沢のある黒色鉱物粒、灰白の微細粒を含む	外面 薄くスス付着
22	SC10	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	明赤褐 にぶい黄褐	橙 灰オリブ	2mm以下の光沢のある透明・黒色角柱状の鉱物粒、黒色の鉱物粒を含む	外面 黒変
23	SC10	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	橙・灰	橙 灰オリブ	2mm以下の微細で透明・光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、灰白及び褐灰の岩片を含む	外面 スス付着
24	SC11	浅鉢 胴部		内外面ともヘラミガキ	暗オリブ褐	黄褐	微細な光沢のある透明・黒色鉱物粒、灰白の岩片を含む	黒色磨研土器
25	SC12	深鉢 口縁部	5条の沈線文(一周したつなぎ目が合わない)	外面 横ナデ。 内面 横ナデ。指押さの凹みあり	にぶい赤褐 黄灰	にぶい赤褐 黄灰	1mm~5.5mm大の灰白の岩片、2.5mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明、やや黄色味のある透明の鉱物粒を含む	
26	SC12	深鉢 口縁部	3条の沈線文(所々つぶれている)	外面 横方向のナデ 内面 横ナデ。 ヘナラテ状の工具痕あり一部横方向に条痕が見られる。	灰黄褐	灰黄褐	1mm~3mmの灰白の岩片、2mm以下の光沢のある黒色角柱状、やや黄色味のある透明の鉱物粒を含む	外・内面とも少量のスス付着
27	SC12	浅鉢 口縁部	1条の沈線文	外面 横方向の丁寧なヘラミガキ。工具が強くあたる痕あり。 内面 横方向のヘラミガキ。	黄褐・黒褐	黄褐・黒褐	微細な黒褐、灰白の鉱物粒を含む	外・内面 黒変あり
28	SC12	浅鉢 口縁部		外面 横ナデの上にミガキ 内面 ミガキ(風化気味)、横方向か	にぶい黄	黄褐	微細な灰白、光沢のある透明・黒色の鉱物粒を含む	焼成後穿孔(円形)あり
29	SC12	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	橙	橙	4mm弱の浅黄橙の岩片を少し含む	
30	SC12	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	橙	明褐	2mm以下の灰黄、黒褐、灰白の鉱物粒等を含む	外面にスス付着か
31	SC12	深鉢 口縁部	外面に1条の沈線文、凹点文1か所、内面に浅い1条の沈線文	外面 横または斜方向のナデ。 内面 ナデか	橙	橙	2mm以下の茶褐色、乳白色、黒褐色、微細な光沢鉱物粒を含む	32と同一個体
32	SC12	深鉢 口縁部	棒状工具による1条の沈線文、内面にごく浅い沈線文	外面 横ナデ。口縁部に棒状工具で沈線をつけ、突帯状に作りだす 内面 横ナデ	橙	橙	3mm以下の茶褐色、乳白色、微細な光沢鉱物粒を含む	
33	SC12	浅鉢 底部		外面 縦方向のヘラミガキ 内面 横方向のヘラミガキ(光沢がない) 底面 ヘラミガキ	にぶい黄	浅黄・灰黄	2mm以下の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、光沢ある透明・灰白・褐灰の鉱物粒を含む	上げ底
34	SC12	深鉢 底部		外面 横方向のヘラミガキか 内面 横方向にヘラナデか 底面 横方向のヘラナデ又はヘラミガキの風化したもの。	にぶい黄橙	にぶい黄橙 浅黄	1mm以下の白色透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、1mm~5mmの灰黄褐の砂粒を含む	外面の一部に炭化物付着
35	SC13	浅鉢 口縁部	2条の沈線文	外面 横方向のヘラミガキ。内面 上部横方向のヘラミガキ、下部横ナデのち軽く縦方向のヘラミガキ	黄褐・黒褐	にぶい黄橙 暗灰黄	微細な透明光沢鉱物粒及び0.5~2mm大の灰白の岩片を含む	外面の一部にスス付着(顆部多い)
36	SC13	浅鉢 口縁部	内面口縁部に1条の沈線文	内外面 横方向のヘラミガキ。	黒褐	にぶい黄褐	微細~2mmの透明、浅黄褐、黒色及び1.5mm以下の光沢のある黒色鉱物粒等を含む	外面にスス付着、内面に炭化物が薄く付着
37	SC13	深鉢 口縁部		外面 横方向にナデ(光沢がみられる)。 内面 横及び斜方向にナデ。横方向の貝殻条痕あり。	黒褐 にぶい黄褐	褐 オリブ褐	2mm以下の透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒及び3mm以下の褐灰、にぶい黄橙の鉱物粒を含む	外面に部分的にスス付着、内面一部黒変、炭化物あり

報告書 番号	出土区	部 位	文 様	調 整	色 調		胎 土 の 特 徴	備 考
					外 面	内 面		
38	S C 13	深鉢 口縁部		外面 横ナデ。指頭痕あり。 内面 横ナデ。やや光沢あり	にぶい褐	にぶい黄褐	3mm以下の灰白色、黒褐色、茶褐色及び2mm以下の光沢のある黒色鉱物粒を含む	外面部分的にスス付着、一部黒変、無文の口縁帯あり
39	S C 13	深鉢 口縁～頸部	5条の沈線文	外面 横ナデ。貝殻条痕らしきものあり。 内面 やや風化気味の横ナデが、所々に浅い指押え痕	にぶい赤褐 にぶい褐	にぶい赤褐 灰褐・暗灰黄	0.5mm～5.5mm大の灰白色の岩片、3mm以下の光沢のある黒色角柱状、やや黄色味のある透明の鉱物粒を含む	外面の一部にスス付着、内面部分的に黒変（スス付着か）
40	S C 13	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 横ナデ。指頭圧痕あり。 内面 横ナデ	にぶい褐	橙・灰黄褐	3mm以下の灰褐色、乳白色、黒褐色、茶褐色を多く含み、光沢のある黒色角柱状、白色不透明の鉱物粒を含む	外面にスス付着
41	S C 13	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 横ナデ。貼付突帯。 内面 横ナデ。	黄褐・暗灰黄	明褐 灰オリーブ	1mm以下の光沢のある透明、黒色角柱状の鉱物粒、2mm以下の赤褐、褐灰色の岩片を含む	外面にスス付着、内面の一部黒変
42	S C 13	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 横ナデ。指頭痕らしい圧痕あり、貼付突帯 内面 横ナデ。板状工具のような条痕あり	にぶい黄褐 にぶい褐	にぶい褐	1mm～4mmの灰白色の砂粒、1mmの光沢のある黒色鉱物粒を含む	外面にスス付着
43	S C 13	深鉢 底部		外面 横ナデか、ミガキの風化したものか 底面 ナデか 内面 横ナデか	明赤褐	にぶい褐	4mm以下の灰白色、灰褐色、茶褐色の砂粒 3mm以下の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	内底面に炭化物付着
44	S C 13	深鉢 底部		外面 横ナデの上を一部横ヘラミガキか 内面 ナデ 底面 ナデか？	にぶい橙	灰黄褐	3.5mm以下の茶褐色、灰褐色、灰白色、黒色及び微細な砂粒、2mm以下の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	
45	S C 14	深鉢 口縁部	3条の沈線文	内外面とも横ナデ	オリーブ黒	オリーブ黒	3mm以下の白色半透明で鏡光沢、灰白で半透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	外面にスス付着
46	S C 18	深鉢 底部		外面 横ナデ、一部斜方向に貝殻条痕。 内面 ナデ	黄褐・暗灰黄	褐	2mm以下の白色透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、2～3mm大の褐灰、5mm大のにぶい褐の岩片を含む	外面下部をとりまくように指押え痕がある
47	C区 Ⅷ層	深鉢 口縁部	口縁端部に棒状工具による斜位の押し刻み、貝殻条痕に連なると思われる横方向の連続刺突文、横位の貝殻条痕刺突文	外面 横方向の浅い貝殻条痕文 内面 横ナデもしくは貝殻条痕文	にぶい褐 褐灰	にぶい褐	3mm以下の灰褐色、乳白色、黒褐色の岩片、微細な白色不透明の鉱物粒を含む	口縁は小波状
48	G区	深鉢 口縁部	口縁端部に棒状工具による連続押し刻み、斜位の貝殻条痕による有輪羽状の連続刺突文	外面 ナデ 内面 斜方向にナデ	橙・黒	橙	1mm以下の黒褐色、灰褐色の岩片及び微細な白色不透明の鉱物粒を含む	口縁は小波状
49	G区 Ⅶ層	深鉢 口縁部	口縁端部に棒状工具による連続押し刻み、斜位の貝殻条痕連続刺突文、横方向の沈線文	外面 丁寧な横ナデか 内面 横ナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	微細な黒、茶、灰色の岩片及び微細な白色不透明の鉱物粒を含む	口縁は小波状、外面は剥離多い
50	F区 Ⅵ層	深鉢 口縁部	横方向に山形押型文、内面は斜方向に山形押型文	内面下部 横ナデか	褐	褐	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒を含む	
51	B区 Ⅵ層	深鉢 口縁部	内面に縦位平行押型文、横方向の山形押型文	外面 横ナデか	橙	にぶい黄橙	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色半透明、無色透明の鉱物粒を含む	焼成後穿孔あり
52	E区 Ⅱ層	深鉢 胴部	横方向の山形押型文	内面 横ナデ	にぶい橙	にぶい褐	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色半透明の鉱物粒及び3mm大の茶褐色岩片等を含む	
53	E区 Ⅲ層	深鉢 胴部	横方向の小さな山形押型文	内面 横ナデ	橙	にぶい黄橙	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色不透明の鉱物粒を含む	
54	G区 Ⅱ層	深鉢 胴部	格子目押型文	内面 横・斜方向のナデ	橙	橙	2mm以下の無色透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、灰・茶褐で角のやや丸い岩片及び6mm大の黄褐で角の丸い岩片等を含む	
55	A区 Ⅴ層	深鉢 胴部	斜めの沈線文、その下に刻み目のある貼付突帯文	外面 横ナデ 内面 横ナデか、指押え痕が多くみられる	浅黄	灰オリーブ	1mm以下の光沢のある透明、褐色の鉱物粒を含む	
56	E区 Ⅷ層他	深鉢 口縁～胴部 下半	口縁端部に棒状工具による連続押し刻み、胴部は斜方向の貝殻条痕文	外面 貝殻条痕文 内面 横・斜方向のケズリか、一部に貝殻条痕文、風化気味	橙 にぶい黄橙	にぶい黄橙	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、光沢のある無色透明角柱状の鉱物粒、4mm以下の赤褐色、黒色・茶褐色の岩片を含む	口縁は緩く波打ち軽い波状口縁か、外面にスス付着、内面に炭化物付着
57	E区 Ⅷ層	深鉢 底部	斜方向の貝殻条痕文。	外面 縦ナデの上を貝殻条痕文 内面 上部ケズリか、所々に貝殻条痕文が見られる。下部はナデか。 底面 ナデ。光沢あり。白色物付着	にぶい橙	にぶい橙	2mm以下の茶褐色の岩片、無色透明の光る鉱物粒、黒い砂粒を含む	56と同一個体と思われる。外面全体に黒い粒がついている。底は丸っこい平底
58	B区 Ⅳ層	深鉢 胴部	上部から横・斜方向の沈線文（折帯文か）	外面 ナデ 内面 横及びやや斜方向のナデ。工具痕あり	浅黄	にぶい黄	2mm以下の光沢のある透明、黒色角柱状の鉱物粒、5mm大の淡黄及び灰色の岩片、1mm前後の灰白の鉱物粒を含む	
59	B区 Ⅴ層	鉢か	斜方向の多条の沈線痕	外面 斜方向のナデ 内面 横・斜方向の貝殻条痕文	橙	にぶい橙	1mm～3mmの灰白・灰褐・茶褐で角のある岩片を含む	
60	A区Ⅳ層 G区Ⅴ層	深鉢 口縁部	口唇部に棒状工具による連続押し刻み、口縁部に連なる斜めの短沈線文	外面 横ナデ 内面 斜方向のナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の灰白、茶褐の岩片及び光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	波状口縁
61	B区 Ⅴ・Ⅵ層 他	深鉢 口縁～胴部	頸部付近に貝殻条痕による斜位の連続刺突文	外面 斜め又は横方向の貝殻条痕文の後、一部斜方向のナデ 内面 横方向の貝殻条痕文の後、横ナデ	赤褐	明赤褐 にぶい黄橙	0.5mm～2mm大の灰白色の岩片、微細～1.5mm大の無色透明の鉱物粒、0.5mm～3mm大の褐鉄鉱を含む	外面に部分的にスス付着
62	G区Ⅲ層 B区Ⅳ層	深鉢 頸部	貝殻条痕による斜位の連続刺突文	外面 横方向の貝殻条痕文 内面 横・斜方向の貝殻条痕文	橙・にぶい褐	明赤褐	1.5mm以下の灰白色の岩片、無色透明の鉱物粒及び2mm大の灰色の岩片を含む	
63	B区 Ⅴ層	深鉢 口縁～胴部		外面 横・斜方向の貝殻条痕文 内面 横・斜方向の貝殻条痕文（ややケズリ気味に強く）、一部横ナデ	赤褐	暗褐	3mm以下の灰白色、赤褐色、6mm大の炭黄色の岩片、微細～1mm大の黒色透明の鉱物粒を含む	外面の所々にスス付着、内面は部分的に炭化物付着
64	B区 Ⅳ層	深鉢か 口唇部	口唇部に3条の沈線文、貝殻条痕の押しによる疑似縄文	内外面とも横ナデ	にぶい黄橙	灰黄褐	微細～1mmの灰白、茶褐色の岩片を含む	上面施文土器
65	G区 Ⅳ層	浅鉢 口縁部	横方向の沈線文、その間に貝殻疑似縄文	外面 横方向のミガキ 内面 横方向のヘラナデ	オリーブ黒	にぶい黄橙 黄灰	1.5mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒、0.5mm～1.5mm大の灰白色の岩片を含む	外面に部分的にスス付着
66	E区 Ⅱ層	鉢 口縁部	口縁端部に縄文	外面 横方向のミガキ 内面 横方向のヘラミガキ（摩擦）	浅黄・灰	黄灰	2mm以下の白色透明、金色の鱗片状の鉱物粒、0.5mm～1mm大の灰白色の岩片を含む	
67	B区 Ⅳ層	鉢 頭～胴部	横方向の深く鋭い沈線文の間に斜方向の平行鋸歯状文か、磨消縄文	外面 横又は斜方向の粗なヘラミガキ 内面 斜め又は横方向の粗なミガキか	灰黄褐 にぶい橙	褐灰	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色半透明、黒色透明の鉱物粒、0.5～4mm大の灰白色の岩片を含む	内面の風化著しい
68	C区 Ⅳ層	深鉢 口縁部	横方向の沈線文、その上に刺突文、貝殻による疑似縄文	外面 やや斜・横方向の粗なミガキ 内面 粗なナデ、斜方向の粗なミガキ 口縁部 横方向のミガキ	灰黄褐 黒褐	にぶい黄褐 黒褐	0.5mm～1.5mm大の灰白色の岩片、0.5mm～1mm大の金色で鱗片状、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	波状口縁、外面の所々にスス付着。木の突様の圧痕あり
69	G区 Ⅳ層	深鉢 口縁部	外面は3条の沈線による三角帯に左右2個の刺突文。下の1条は短く端を刺突している。内面には連続せずとぎれとぎれの1条の沈線文	外面 横方向のヘラミガキ 内面 横方向のミガキ又は丁寧なナデ	にぶい黄橙 にぶい黄褐	にぶい黄橙 明黄褐	微細な光沢のある透明、0.5～1.5mm大の黒色角柱状及び0.5～3mm大の淡黄、灰白、黄灰の鉱物粒を含む	波状口縁

報告書 番号	出土区	部 位	文 様	調 整	色 調		胎 土 の 特 徴	備 考
					外 面	内 面		
70	C区V層 G区V層	深鉢 口縁部	波頂部に棒状工具による押圧文、口唇に添って2条の沈線文、その下に対向弧文、1条の沈線文、内面は1条の沈線文	外面 ミガキ 内面 横ナデ、部分的にミガキ	にぶい黄 にぶい黄橙	橙	0.5mm以下の光沢のある透明、黒色、0.5~2mm大の褐灰、明黄褐、赤褐の鉱物粒を含む	波状口縁
71	A区V層 B区IV層	深鉢 頸~肩部	磨消縄文、弧状沈線、縄文	外面 ミガキ 内面 横・斜方向のミガキ	にぶい黄褐	浅黄	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、茶、灰白、透明等の鉱物粒、4mm大のにぶい黄橙の岩片を含む	外面に部分的にスス付着
72	A区	深鉢 胸部	2条の平行沈線文、横方向の刺突列点文、磨消縄文	外面 横ヘラミガキ 内面 横ヘラミガキ	黒褐	暗灰黄	2.5mm大の灰白岩片、微細な黒色、無色、無色透明で光沢のある鉱物粒を含む	外面に部分的にスス付着
73	B区 IV層	深鉢 頸~胸部	外面頸部に刺突列点文。胸部5条の沈線文。縄文帯の左端に刺突による短沈線が見られる。磨消縄文	外面 ミガキ 内面 横ヘラミガキ	黄褐	にぶい黄褐	白、灰、赤褐の微細粒、1~3mm大の浅黄色の岩片を含む	
74	E区 III層	深鉢 口縁~胸部	外面口縁端部に2条、胸部に4条の沈線文、磨消縄文帯。頸部に刺突列点文(突帯状にやや突出)。内面口縁端部に1条の凹線文	外面 横方向のミガキ 内面 横ヘラミガキ	橙 にぶい黄橙	にぶい橙 にぶい黄橙	光沢のある微細な透明鉱物粒、0.5mm~1mm大の浅黄橙及び褐灰、褐色の砂粒を含む	波状口縁。外面に少々のスス付着
75	G区 III層	深鉢 口縁部	口縁端部に2条の沈線文、波頂部に浅い押圧文	内外面とも横ヘラミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	3mm以下の茶褐色、灰白色の岩片、2mm以下の光沢のある角柱状、白色不透明の鉱物粒を含む	波状口縁
76	G区 IV層	深鉢 口縁部	内面に1条の凹線文	外面 横方向のミガキ 内面 横ナデ、ミガキ(一部風化気味)	にぶい赤褐	にぶい褐	2.5mm以下の灰褐色、灰白色の岩片、微細な白色不透明の鉱物粒及び光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を多く含む	外面の一部剥離、スス付着
77	A区 III層	深鉢 口縁部	内面に1条の沈線文	内外面とも横ヘラミガキ	にぶい褐	褐	3.5mm以下の灰白色、茶褐色の岩片を含む	外面にスス付着、沈線の頂部と波頂部がずれる
78	G区 IV層	深鉢 口縁部		内外面とも横方向のミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	3.5mm以下の灰白色で不定形及び灰褐色、茶褐色の岩片、微細~2mmの白色不透明の鉱物粒などを含む	波状口縁
79	B区V層 D区V層	深鉢 口縁~胸部	内面に1条の凹線文	外面 縦・斜方向のヘラミガキ 内面 横・斜方向のヘラミガキ、横ナデ	黒褐	にぶい赤褐	2mm~3mmの灰黄褐色の岩片、3mm以下の光沢のある黒色角柱状、灰、無色透明、黄褐色の鉱物粒を含む	外面に部分的にスス付着
80	A区III層 B区IV層 G区V層	深鉢 口縁部	内面に1条の沈線文	外面 横・斜方向のヘラミガキ 内面 粗い横ヘラミガキ	にぶい黄褐	にぶい褐	4mm弱の灰黄褐色の礫、0.5~5mm大の灰白色で不定形な岩片、0.5~2mm大の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、0.5~5mm大の灰白色の砂粒を含む	外面にスス付着
81	B区 V層	深鉢 口縁~頸部		外面 粗な横ヘラミガキ 内面 ナデの後に粗な横ヘラミガキ	にぶい褐	暗灰黄	3mm以下の光沢のある角柱状、微細で無色透明な鉱物粒を含む	外面にスス付着
82	G区 IV層	深鉢 口縁部		外面 横ナデのち横方向の粗なミガキ(光沢あり) 内面 横方向のケズリのち粗なミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄 黄灰	5mm以下の淡白色、灰色の岩片及び1.5mm以下の黒色で透明あるいは光沢のある鉱物粒を含む	外面にスス付着
83	B区 IV層	深鉢 口縁部	横方向に数回ミガキによる3条の沈線文	外面 横ナデ、横・やや斜方向のヘラミガキ 内面 横ナデのち横または斜方向の粗なミガキ	にぶい黄橙	灰黄	微細~1mm大の灰白色の岩片、微細~0.5mm大の黒色角柱状で光沢のあるあるいは無色透明の鉱物粒、0.5mm~1mm大の褐鉄鉱粒を含む	外面に部分的にわずかにスス付着
84	F区 IV層	深鉢 口縁部	稜をなす3条の中を磨いた凹線文	外面 斜方向にミガキ 内面 横方向のミガキ	浅黄 灰黄	浅黄 にぶい黄	微細な透明及び光沢のある黒色、0.5mm以下の灰白、褐、明褐色などの鉱物粒を含む	
85	E区 IV層	浅鉢か 口縁部	稜をなす3条の中を磨いた凹線文、斜方向の連続細沈線文	外面 横方向のミガキ 内面 横方向のミガキ(風化気味)	浅黄	にぶい黄橙	3mm以下の灰白色、浅黄褐色の岩片、無色透明の鉱物粒を含む	
86	E区 V層	深鉢 口縁部	稜をなす3条の中を磨いた凹線文、凹線の上を山形に三角形の削り出し(中は磨く)	内外面とも横ヘラミガキ	黄褐 にぶい黄	にぶい黄橙	微細な光沢のある黒色、0.5~1mm大の灰白、褐及び黒褐色の鉱物粒	
87	SC5	浅鉢 口縁部	中を磨いた稜をなす3条の凹線文	内外面とも横ヘラミガキ	にぶい黄褐	にぶい黄橙	微細~1.5mm大の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、1mm以下の灰白色、褐色の岩片、金色で鱗片状の鉱物片を含む	
88	B区 IV層	深鉢か 口縁部	間が突帯状に突出する2条の凹線文	外面 横ヘラミガキまたは丁寧なミガキ 内面 横ナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の黒色、灰白で不定形な岩片、1mm以下の赤褐、灰、黒褐色の微細粒を含む	
89	G区 IV層	深鉢 胸部	肩部に浅い1条の沈線文	外面 横方向のミガキ、一部横ナデ(光沢あり)、丁寧な横ナデ 内面 光沢がうすい横ヘラミガキ、下部は雑なミガキ	にぶい黄	浅黄	微細な光沢のある黒色、1mm以下の灰、灰白色の鉱物粒を含む	外面にスス付着
90	G区 IV層	深鉢 胸部	肩部に1条の沈線文	外面 横ヘラミガキ 内面 横方向の粗いミガキ、部分的に横ナデ	オリーブ黒	黄褐	0.5mm~1.5mmの白色不透明、微細~1mm大の灰白の鉱物粒を含む	
91	B区 IV層	浅鉢 口縁部	外面に2条の沈線文(中はあまり磨かれていない)、内面に1条の細沈線文	外面 横ヘラミガキ 内面 横方向のミガキ、横ナデ	黒	にぶい赤褐	微細~1mm大の無色透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、微細~1.5mm大の灰白色の岩片を含む	
92	G区 III層	浅鉢 口縁部	中を磨いた3条の沈線文	外面 横・斜方向のミガキ 内面 横方向のミガキ	にぶい黄橙	暗灰黄	微細~1.5mm大の灰白色の岩片、微細~1mm大の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒を含む	外面の所々にスス付着、焼成後穿孔あり
93	A区 V層	浅鉢 口縁部	中を丁寧に磨いた4条の沈線文、口縁部から間をあけて3か所の斜方向の連続した細短沈線文	外面 ミガキ 内面 丁寧なナデ	にぶい黄 暗灰黄	暗灰黄	微細~1mm大の透明及び光沢のある鉱物粒、1mm前後の灰白色の砂粒を含む	
94	C区 III・IV層	浅鉢 口縁~胸部	外面頸~肩部に2条の中も磨いた沈線文、肩部に斜方向の連続した細短沈線文、内面口縁端部に1条の沈線文	外面 ミガキ、横方向のミガキ 内面 横ヘラミガキ	オリーブ黒	にぶい褐 灰黄褐	微細な透明及び光沢のある黒色鉱物粒、1mm前後の灰白及びにぶい赤褐の砂粒を含む	波状口縁、外面に部分的にスス付着
95	B区 IV層	注口土器 の頸部か	4条のための沈線文、斜方向の連続した細短沈線文	外面 丁寧なナデか 内面 ナデ、工具痕あり	浅黄橙 にぶい黄橙	にぶい黄橙	微細な光沢のある黒色、1mm前後の灰白、黒褐、褐色の鉱物粒などを含む	
96	SC13	浅鉢もしくは注口土器 の胸部	磨きによる凹線文、弧状の突帯文の中に横方向の突帯文、下の2本は貼付突帯か	外面 横ヘラミガキ 内面 横方向のミガキ、横ナデ	褐灰	灰黄褐	微細~1mm大の灰白色の岩片、微細~0.5mm大の光沢のある黒色、無色透明などの鉱物粒を含む	
97	E区 IV層	浅鉢 肩部	磨きによる稜をなす凹線文、短い細短沈線文	外面 横ヘラミガキ 内面 粗な横ヘラミガキ	にぶい黄橙	灰黄褐	微細~1.5mm大の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒、灰白色の岩片を含む	
98	G区 IV層	浅鉢 口縁~肩部	横ナデによる凹線文。光沢はあるが横筋も見られる。間を稜をなし突帯状に突出する。	外面 横ヘラミガキ、横ナデ 内面 横ヘラミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	0.5mm以下の灰白、赤褐の微細粒、1mm以下の無色透明の鉱物粒を含む	
99	G区 IV層	浅鉢 口縁~胸部	口縁部に磨きによる2条の凹線文、胸部に1条の沈線文	内外面とも横ヘラミガキ	暗灰黄	黄褐 オリーブ黒	微細~1mm大の光沢のある透明及び黒色の鉱物粒、1mm前後の灰白及び赤褐色の砂粒を含む	

報告書 番号	出土区	部 位	文 様	調 整	色 調		胎 土 の 特 徴	備 考
					外 面	内 面		
100	E 区	浅鉢 口縁~胴部	口縁部に2条の沈線文(中は磨かない)。2条の沈線の間に、やや突出したように見える。肩部に1条の沈線文	外面 横ヘラミガキ 内面 丁寧な横ナデ。わずかに光沢あり	にぶい黄 灰オリーブ	にぶい黄 灰オリーブ	光沢のある微細な透明、黒色の鉱物粒、微細~1.5mm 大の灰黄の砂粒を含む	小さな波状口縁になる 可能性がある。口縁帯 幅が左右で2.5mm 程違 う
101	G 区 IV 層	浅鉢 口縁部	中も磨いた2条の沈線文	内外面とも横ヘラミガキ	オリーブ黒 灰オリーブ	黄褐 灰オリーブ	微細な光沢のある透明あるいは灰白の鉱物粒を含 む	
102	G 区 III 層	浅鉢 口縁~胴部	1条の細い沈線文	外面 横方向にミガキ 内面 横ヘラミガキ	にぶい黄橙 褐灰	にぶい黄橙 褐灰	微細な1mm前後の乳白、黒褐、灰褐色岩片、無色透 明、黒色の鉱物粒を含む	
103	B 区 III 層	深鉢 口縁部	7条の細い沈線文		にぶい黄褐	にぶい黄褐	1mm~6mm前後のにぶい橙の岩片、1mm以下の光 沢のある黒色、白色不透明の鉱物粒を含む	
104	G 区 III 層	深鉢 口縁部	3条の沈線文	外面 ナデ、横ナデ 内面 横ナデ	黒褐	褐	6mm以下の暗赤褐、灰白の岩片、3mm以下の光沢 のある黒色、灰白の鉱物粒を含む	外面の所々にススが見 られる
105	G 区 III 層	深鉢 口縁部	弧状あるいは横走の多条沈 線文	外面 斜又は横方向のナデ 内面 横ナデ	にぶい褐	暗灰黄	2mm以下の黒色、黄灰、3mm以下の光沢のある黒 色、無色透明の鉱物粒を含む	
106	G 区 IV 層	深鉢 口縁部	(無文の口縁帯)	内外面とも横ナデ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	浅黄橙で不定形な岩片、微細~3mm大の灰白の岩片 0.5mm~1.5mm大の鈍い光沢のある黒色の鉱物粒を含 む	内外面の一部にススや 炭化物付着
107	G 区 II・III・V 層	深鉢 口縁~胴部	(無文の口縁帯)	外面 横ナデ 内面 横ナデ、ナデ	暗褐	にぶい黄褐	0.5mm~5mmの灰白の岩片及び微細~5mm前後の黒 色、1mm以下の白色半透明、光沢のある黒色の鉱物 粒を含む	外面に部分的にスス付 着、内面上部の所々に スス付着
108	G 区 III・IV 層	深鉢 口縁~胴部 下半	口縁帯にかなり風化してい るが沈線文らしい線刻が1 条	外面 面が滑らか、ミガキもしくはナ デか(表面かなり風化) 内面 横ナデ(風化気味)	暗褐 にぶい赤褐	暗褐 にぶい赤褐	2mm以下の光沢のある半透明黒色で角柱状の鉱物 粒、3mm~5mm程度の灰黄及び灰白の岩片を含む	
109	B 区 IV 層	浅鉢 口縁~胴部 下半	(口縁部は無文)	外面 横ナデ、横ヘラミガキ 内面 横ヘラミガキ	褐・灰褐	にぶい褐	2mm以下の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、2mm以 下の灰白色で不定形な岩片を含む	外面口縁部と胴部にス ス付着
110	G 区 IV 層	浅鉢 口縁~胴部	1条の太めの沈線文(中は 磨かない)	内外面とも丁寧な横ヘラミガキ	にぶい赤褐	にぶい赤褐	微細~1mm大の乳白、黒褐の岩片、微細な無色透明 の鉱物粒を含む	
111	B 区	浅鉢 口縁部	1条の沈線文(中は磨か ない)	内外面とも横方向のミガキ	暗灰黄	暗灰黄	1mm以下の光沢のある黒色または無色透明の鉱物 粒を含む	
112	B 区	浅鉢 口縁~胴部	1条の浅い沈線文	内外面とも横方向の丁寧なミガキ	明赤褐	黒褐	1mm大の乳白、茶褐色の岩片、無色不透明な鉱物粒 を含む	
113	C 区 IV 層	浅鉢 口縁部	口縁部に1条の沈線文(中 は磨かない)、胴部に沈線か	外面 横ヘラミガキ 内面 横ヘラミガキ又は横ナデ	灰黄褐	灰黄褐	1mm前後の乳白色、黒、褐色、茶褐色の不定形な岩 片、微細な無色透明の鉱物粒を含む	外面にスス付着
114	一 IV 層	浅鉢 口縁~胴部	口唇部に1条の沈線文	外面 横ヘラミガキ、横ナデ 内面 横ヘラミガキ	灰黄	暗灰黄 黒褐	微細~1mm大の灰白色の岩片、光沢のある黒色角柱 状、微細~0.5mm大の黒色透明の鉱物粒を含む	
115	C 区 IV 層	浅鉢 口縁~胴部		外面 横ヘラミガキ 内面 横ヘラミガキ(やや風化気味)	黄褐 オリーブ黒	灰オリーブ	微細な透明及び光沢のある黒色、0.5mm前後の灰白 、褐色の鉱物粒などを含む	
116	G 区 IV 層	浅鉢 口縁~胴部	口縁部内面に1条の太めの 沈線文	内外面とも横ヘラミガキ	黒	黒	微細~2mm大の灰白色の岩片、微細~0.5mm大の黒 色透明の鉱物粒を含む	黒色磨研土器
117	G 区 IV 層	浅鉢 口縁~胴部	口縁端部に1か所ヘラ状工 具による斜方向からの押圧 刻み。内面に1条の沈線か	外面 横ヘラミガキ 内面 横ナデの後、横ヘラミガキ	オリーブ黒 暗灰黄	にぶい黄 オリーブ黒	0.5~1mm大の光沢のある透明、0.5mm大の灰白の鉱 物粒を含む	
118	G 区 III 層	浅鉢 口縁~胴部	口縁端部に1か所ヘラで削 り取ったような刻み目	外面 横ヘラミガキ 内面 横ヘラミガキ	オリーブ黒	オリーブ黒	0.5mm以下の透明、光沢のある黒色、0.5mm以下の褐 灰色の鉱物粒を含む	外面にスス付着
119	F 区 IV 層	浅鉢 口縁~胴部		外面 横ナデの上をミガキ 内面 横方向のミガキ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	微細~1mmの灰白色の鉱物粒、1mmの灰白色の岩片 を含む	
120	B 区	浅鉢 口縁部	内面屈曲部の上に浅い沈線 文もしくは段を持つ	外面 横ヘラミガキ 内面 横ヘラミガキ(一部風化気味)	にぶい黄橙	にぶい黄橙	微細な灰白色、茶褐色、光沢のある白色の鉱物粒を 含む	外面にスス付着
121	G 区 IV 層	浅鉢 口縁付近~ 胴部	内面屈曲部の上に段を持つ	外面 横方向のミガキ(一部風化) 内面 横方向のミガキ	にぶい褐	にぶい褐	微細~1mmの灰白色、灰褐色、茶褐色、光沢のある 白色の鉱物粒等を含む	
122	E 区 V 層	浅鉢口縁部	やや肥厚した口縁帯に4条 の沈線文。内面屈曲部の上 に1条の沈線文	外面 横ナデ 内面 横ヘラミガキ	にぶい褐 灰オリーブ	オリーブ黒	0.5~2mm大の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、3 mm以下の灰白色及び透明な鉱物粒を含む	内外面に一部黒変
123	B 区 V 層	浅鉢 口縁部	肥厚した口縁帯に中も磨い た4条の沈線文、一部弧を 描く	内外面とも横ヘラミガキ	黒褐	黒褐	微細~1mm大の灰白色の岩片、光沢のある黒色の鉱 物粒を含む	外面に部分的にスス付 着
124	F 区 III 層	浅鉢 口縁部	外面に7~8条の細沈線文。 内面下部に段を有する	外面 横ナデ又はミガキの風化した もの 内面 横ヘラミガキ又はナデ(風化気 味)	浅黄橙	浅黄橙	微細~1mm大の光沢のある黒色角柱状、やや黄色味 のある透明、光沢のある黒色の鉱物粒及び褐色の岩 片を含む	
125	B 区 IV 層	浅鉢 口縁部	細曲沈線文	内外面とも横方向の丁寧なミガキ	黒褐	褐灰	微細~0.5mm大の灰白色の岩片、1mm以下の光沢の ある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒を含む	波状口縁、沈線内も光 沢がある
126	F 区 IV 層	浅鉢 口縁部 付近	横走沈線文と曲線文、いわ ゆる襷原式の文様か	内外面とも横ヘラミガキ	にぶい黄橙 暗灰黄	にぶい黄橙	1mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物 粒、1.5mm以下の灰白色の岩片、1mm以下の褐鉄鉱 粒を含む	
127	G 区 III 層	浅鉢 口縁部	横走沈線文と曲線文の組み 合わせ。襷原式の文様	内外面とも横ヘラミガキ	にぶい黄褐	オリーブ黒	0.5mm以下の光沢のある白色及び黒色の鉱物粒を含 む	ボウル状の浅鉢
128	E 区 V 層	深鉢 口縁部	無文の口縁帯	内外面とも横ナデ	暗灰黄 灰黄褐	明黄褐 黄褐	微細な光沢のある透明、7mm以下の灰白、暗灰黄及 び褐灰色、1mm大の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒 を含む	
129	E 区 V 層	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	灰褐 褐	明褐	微細~1mm大の光沢のある透明、黒色角柱状、1mm 大の灰白、褐灰及び赤褐色の鉱物粒を含む	外面の一部にススか、 内面の所々に炭化物付 着
130	B 区 トレンチ	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	外面 粗い横ナデ 内面 横ナデ	橙 黒褐	橙 明黄褐	0.5mm~2mm大の灰白、黒褐及び褐灰色の鉱物粒を 含む	外面の一部にスス?
131	E 区 V 層	深鉢 口縁部	無刻目の貼付突帯文	内外面とも横ナデ	にぶい赤褐	にぶい褐	2mm以下の透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、 0.5mm~7mmのにぶい橙色の岩片、4mm以下の暗赤 褐、褐灰色の岩片等を含む	外面の一部にスス付着
132	G 区	深鉢 口縁部	無刻目突帯文	内外面とも横ナデ	にぶい褐	にぶい褐	2mm~5mm大のにぶい橙色の岩片、4mm以下の灰 白、光沢のある黒色で角柱状の鉱物粒を含む	外面と内面上部の一部 にスス付着
133	G 区 III・IV 層	深鉢 口縁部	無刻目突帯文、ヘラ状の工 具を回転させたような凹点 文、内面に1条の沈線文	外面 横又は斜方向のナデ 内面 横ナデ	橙	橙	2mm~3mm大の乳白色、茶褐、黒褐色の岩片、微 細な白色、黒色不透明な鉱物粒を含む	
134	G 区 III・IV 層	深鉢 口縁~胴部	無文の口縁帯か	外面 横又は斜方向のナデ 内面 横ナデ	橙 にぶい黄橙	にぶい黄橙	1mm~3mm大のにぶい黄橙、褐灰色の岩片や鉱物粒 を含む	外面上部にわずかにス ス付着
135	G 区 III・IV 層	深鉢 口縁部	無刻目突帯文、内面に1条 の沈線文	外面 横ナデ。斜方向のナデ。 内面 丁寧な横ナデ	橙 オリーブ黒	にぶい褐 暗灰黄	微細な光沢のある透明、0.5mm~2mm大の灰白、褐 灰及び褐色の鉱物粒等を含む	

報告書 番号	出土区	部 位	文 様	調 整	色 調		胎 土 の 特 徴	備 考
					外 面	内 面		
136	B区 V・VI層 C区 IV層	深鉢 口縁～胴部	無刻目突帯文、胴上部にごく浅い2条の沈線文、内面口縁端部に1条の沈線文	外面 横ナデ、下部は斜方向のナデ 内面 横ナデ、部分的に横方向の条痕文	橙	橙	1mm～4mmの灰白、灰褐、茶褐色の岩片や鉱物粒を多く含む	外面上部にスス附着、内面下部に部分的に炭化物附着
137	B区 IV層	深鉢 口縁部	無刻目突帯文、内面に1条の沈線文	外面 横ナデ。 内面 斜方向の工具痕の上を横ナデ	橙	橙	1mm前後の灰褐、茶褐、黒褐色の岩片を含む	
138	E区 II層	深鉢 口縁部	無刻目の貼付突帯文、内面上部にごく浅い1条の細沈線文か	外面 横・斜方向のナデ 内面 横ナデ	黒	橙	1mm前後の茶褐、灰褐色及び2mm大の灰褐色の岩片を含む	外面にスス附着
139	E区 V層	深鉢 口縁部	無刻目の貼付突帯文、突帯上部は1条の横ナデ調整で太い沈線状になる。内面に浅い細沈線文	内外面とも横ナデ	にぶい黄褐 暗褐	にぶい黄褐 灰黄褐	1mm前後の乳白、茶褐色の岩片を含む	
140	B区 IV層	深鉢 口縁部	無刻目の貼付突帯文	内外面とも横ナデ	褐 黒褐	明褐	稀に0.5mm以下の光沢のある透明、1mm前後の灰白、褐灰色の鉱物粒を含む	外面にスス附着
141	G区 III層	深鉢 口縁部	無刻目の貼付突帯文。つなぎ目が見られる	外面 横ナデ。 内面 削り気味の強い横ナデ	黒 にぶい赤褐	にぶい赤褐	3mm前後の黒褐、灰褐、茶褐色の岩片、3mm以下の光沢のある黒色角柱状、白色不透明の鉱物粒を含む	外面にスス附着
142	G区 IV層	深鉢 口縁部	無刻目突帯文。突帯上部の縫ぎ目付近を沈線状に1条工具で調整	外面 横方向のヘラナデ。光沢が少ない 内面 横及び斜方向にナデ	暗褐 オリーブ黒	にぶい黄褐 黒褐	0.5mm～1mm大の光沢のある透明、黒色の鉱物粒、3mm以下の黄褐及び灰黄褐色の岩片を含む	外面にスス附着
143	B区 IV・V層	深鉢 口縁部	貼付の無刻目突帯文、内面口縁部に沈線文か(半分はナデで消えている)	外面 横及び斜方向のナデ。 内面 横ナデ	にぶい赤褐 オリーブ黒	褐 にぶい黄褐	微細～1mm以下の透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、0.5mm～2mm大の褐灰色の岩片等を含む	外面にスス附着
144	E区 IV層	浅鉢 口縁下～ 頸部		内外面とも横方向のミガキ	灰黄褐	褐灰	1mm以下の白色、灰白色、褐色の鉱物粒を含む	
145	D区 III・IV層	浅鉢 頸～胴部		内外面ともミガキ	黒褐	黒褐	きめ細かで微細な鉱物粒などを含む	
146	E区 V層	浅鉢 頸～胴部		内外面とも横方向のミガキ	暗褐 黒褐	黒褐	1mm以下の白色、褐色の鉱物粒等を含む	
147	E区 III層	深鉢 底部		内外面、底面ともにナデか	にぶい黄褐 灰	灰黄褐	微細～4mm大の灰白色の岩片、微細～1.5mm大の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒を含む	
148	F区 V層	深鉢 底部		外面 横・斜方向のナデ 内面 横ナデ 底面 縦ナデ、横ナデ	にぶい褐	黄褐	微細～4mm大の灰黄で不定形な岩片及び6mm位のにぶい黄褐色の角が丸い岩片、2mm以下の光沢のある黒色角柱状、灰白色の鉱物粒を含む	内面上部に炭化物附着
149	G区 III層	深鉢 底部		外面 ナデか 内面 丁寧なナデもしくはミガキの風化したものか 底面 横ナデ	黄褐 にぶい黄褐	にぶい黄褐 暗灰黄	0.5mm～1mm大の光沢のある透明及び黒色角柱状の鉱物粒、1mm～2mm大の灰白、灰褐色、わずすが7mm大の灰白色の岩片等を含む	
150	G区 III・IV層	深鉢 底部		外面 ナデか(風化) 内面 ナデか(風化) 底面 ナデ	明赤褐	黒褐 黒	2.5mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒、5mm以下の灰白色、灰色、灰黄褐色の岩片を含む	
151	G区 I・II層	深鉢 胴～底部		外面 ミガキもしくは丁寧なナデ、横ナデ 内面 ミガキが風化したものもしくは丁寧なナデか 底面 ナデ	にぶい赤褐	褐	0.5mm～4mm大の灰白色の岩片、2mm以下の無色透明、光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	外面の所々にわずかにスス附着、内面上部に炭化物附着、底部付近にもわずかに炭化物附着
152	G区 III・IV層	深鉢 底部		外面 粗いナデ(縦ナデか) 内面 ナデ 底面 ナデ	明褐 にぶい褐	にぶい褐 暗灰黄	1mm以下の光沢のある透明、黒色角柱状の鉱物粒、2mm以下の灰白、褐灰及び赤褐色、4mm～7mm大の灰白色の鉱物粒等を含む	
153	G区 II・V層	深鉢 底部		外面 横ナデ 内面 横ナデ 底面 ナデ、接地面の内側は横方向の指頭ナデによる凹み	にぶい赤褐	にぶい赤褐	1mm～7mm大の褐色、微細～4mm大の灰白色の岩片、2mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒を含む	
154	B区 IV層	深鉢 底部		外面 縦ナデか(凸凹が著しい) 内面 ミガキの風化したもの、もしくはナデ 底面 ナデ	にぶい黄褐 黒	黄褐 オリーブ黒	0.5mm～4mm大の灰白色の岩片、4mm以下の光沢のある黒色角柱状、やや黄色味のある透明の鉱物粒等を含む	
155	G区 III・IV層	深鉢 底部		外面～底面 ナデもしくはミガキの風化したもの 内面 ナデか(風化のため不明)	にぶい赤褐	暗褐 褐	3mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒、7mm以下の灰白色で不定形、灰黄色で不定形、褐灰色で不定形な岩片を含む	内面底部付近にドーナツ状に炭化物附着
156	G区 VI層	有孔 円盤状 土製品		外面 ナデ 内面 丁寧なナデか	明黄褐	明黄褐	1mm以下の黒褐色、茶褐色岩片、1mm前後の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒を含む	側面は大雑把に研磨、長径20mm、短径18mm、厚さ7mm、重さ27g
157	B区 IV層	有孔 円盤状 土製品		内外面ともヘラミガキ	明黄褐	にぶい黄	1mm以下の黒褐色、茶褐色岩片、微細な無色透明の鉱物粒を含む	側面は研磨、精製磨研土器を使用、長径49mm、短径32mm、厚さ8mm、重さ12.7g
158	E区 III層	有孔 円盤状 土製品		外面 横ヘラミガキ 内面 丁寧な横ナデもしくはミガキ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	1mm以下の黒褐色、乳白色岩片、微細な光沢のある黒色角柱状、白色不透明な鉱物粒を含む	側面は研磨、精製磨研土器を使用、長径47.5mm、短径43mm、厚さ7mm、重さ19.8g
159	G区 III層	円盤状 土製品		外面 斜方向のヘラミガキ 内面 ナデ、わずかに炭化物附着	橙 にぶい黄褐	にぶい黄褐	1.5mm以下の光沢のある黒色角柱状、無色透明の鉱物粒、微細～1mm大の灰白色の岩片を含む	側面は研磨して面取り、精製磨研土器を使用、長径27mm、短径23mm、厚さ6.5mm、重さ5.7g
160	F区 III層	円盤状 土製品		外面 横ナデか 内面 斜方向のナデ	にぶい黄褐	にぶい黄褐	微細～1mm大の黒色透明の鉱物粒、1mm以下の灰白色、褐色の岩片を含む	側面は研磨して面取り、長径28mm、短径27mm、厚さ9.5mm、重さ9.9g
161	A区	円盤状 土製品		内外面とも横ナデ	にぶい赤褐	にぶい橙	2mm以下の光沢のある黒色角柱状、黒色透明の鉱物粒、1.5mm以下の灰白色の岩片を含む	側面は研磨して面取り、長径32mm、短径31.5mm、厚さ9.5mm、重さ13.2g
162	A区 III層	有孔 円盤状 石製品		全面研磨、穿孔は両面から	淡黄	淡黄		ホルンフェルス製、長径31.5mm、短径29mm、厚さ6.5mm、重さ8.2g
163	B区 IV層	脚台付鉢 脚部	曲沈線文	外面 横又はやや斜方向の丁寧なナデ(光沢あり)、縦方向の粗なミガキ 内面 ナデ 底面 横又は斜方向のナデ	褐灰 暗灰黄	にぶい黄褐	0.5mm～1mm大の光沢のある黒色角柱状の鉱物粒、2mm以下の灰白色、灰色の岩片を含む	脚部中央に透かし
164	B区 IV層	棒状 土製品		手捏ね製、指先の圧痕が多く残る。	にぶい褐	にぶい褐	1mm以下の光沢のある黒色、灰白色の鉱物粒を含む	
165	G区 IV層	管玉			暗緑色			翡翠輝石。質が悪い。長軸方向の両側からの穿孔に側面から1か所の未貫通孔が施される
166	F区 V層	勾玉			緑色			翡翠輝石。扁平にした頭部に両側から穿孔を施す。屈曲の内側は擦り切りで表出している

表8 布平遺跡出土石器計測表

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
1	A	SC3	石鏃	1.4	1.3	0.2	0.3	チャート	委託
2	B	SC4	〃	2.3	2.2	0.4	1.4	〃	〃
3	G北	SC12上	〃	2.1	1.2	0.3	0.6	黒色黒曜石	〃
4	G北	SC12	〃	1.4	1.5	0.3	0.6	〃	〃
5	G	I・II	〃	2.9	1.6	0.7	3.1	チャート	〃
6	C	II	〃	2.45	1.5	0.4	1.3	〃	〃
7	E	II	〃	2.1	1.7	0.3	0.9	〃	〃
8	E	II	〃	1.7	1.4	0.3	0.8	〃	〃
9	G	一	〃	2.0	1.6	0.3	0.8	〃	〃
10	D	II	〃	2.35	1.4	0.4	0.8	〃	〃
11	G	I・II	〃	2.9	1.5	0.4	1.3	流紋岩	〃
12	B	II・III	〃	3.3	1.8	0.4	2.2	チャート	〃
13	B	III	〃	2.1	1.3	0.4	1.2	〃	〃
14	B	III	〃	2.3	1.7	0.3	0.8	〃	〃
15	B	III	〃	2.3	1.4	0.2	0.6	〃	〃
16	G	III	〃	2.0	1.45	0.2	0.7	〃	〃
17	E	III	〃	1.5	1.0	0.2	0.4	〃	〃
18	G	III	〃	1.5	1.2	0.25	0.5	〃	〃
19	G	III	〃	1.9	1.2	0.4	0.8	姫島産黒曜石	〃
20	E	III	〃	2.5	1.3	0.3	0.9	チャート	〃
21	G	III	〃	2.4	1.4	0.3	0.8	〃	〃
22	B	IV	〃	1.9	0.95	0.2	0.5	〃	〃
23	B	IV	〃	1.8	1.4	0.3	0.6	黒色黒曜石	〃
24	C	IV	〃	1.8	1.3	0.3	0.7	〃	〃
25	G	IV	〃	1.7	1.85	0.5	1.5	チャート	〃
26	B	IV	〃	2.0	1.4	0.2	0.6	〃	〃
27	E	IV	〃	1.9	1.15	0.3	0.7	〃	〃
28	E	IV	〃	2.4	1.4	0.5	1.6	サヌカイト	〃
29	C	IV	〃	2.6	1.6	0.3	1.3	チャート	〃
30	B	IV	〃	2.5	1.7	0.3	1.3	〃	〃
31	B	IV	〃	1.9	1.7	0.35	0.9	〃	〃
32	B	IV	〃	3.0	2.0	0.5	2.7	石英	〃、弱く研磨
33	E	IV	〃	2.4	1.3	0.3	0.8	チャート	〃
34	B	IV	〃	2.6	1.9	0.2	1.0	〃	〃
35	B	IV	〃	1.4	1.6	0.3	1.1	〃	〃
36	G	IV	〃	2.7	1.6	0.5	1.8	〃	〃
37	C	IV	〃	2.7	1.4	0.35	1.3	〃	〃
38	B	V	〃	2.7	1.7	0.4	1.3	〃	〃
39	B	V	〃	2.2	1.5	0.3	0.6	〃	〃
40	B	V	〃	2.5	1.7	0.3	1.2	〃	〃
41	E	V	〃	1.2	1.3	0.2	0.6	〃	〃
42	E	V	〃	1.7	1.4	0.3	0.6	黒色黒曜石	〃
43	F	V	〃	2.0	1.6	0.4	1.1	チャート	〃
44	B	V	〃	3.2	2.0	0.4	1.5	凝灰岩	〃
45	E	III	〃	3.2	1.7	0.7	2.8	黒色黒曜石	〃
46	F	III	〃	1.8	1.3	0.4	0.5	〃	〃
47	B	IV	〃	2.0	1.3	0.3	0.7	〃	〃
48	E	V	〃	3.1	1.8	0.7	2.6	〃	〃
49	G	III・IV	〃	2.0	1.6	0.5	1.0	〃	〃
50	B	IV	〃	1.3	1.8	0.3	0.6	〃	〃
51	E	IV・V	〃	1.6	1.9	0.3	0.9	姫島産黒曜石	〃
52	E	IV	〃	1.9	1.3	0.3	0.8	黒色黒曜石	〃
53	C	IV	〃	2.4	1.7	0.4	1.1	チャート	〃
54	B	IV	〃	3.8	2.3	0.6	4.5	〃	〃
55	B	IV	〃	1.5	1.3	0.3	0.6	黒色黒曜石	〃
56	E	V	〃	2.9	2.3	0.6	2.4	チャート	〃
57	E	V	〃	2.2	1.5	0.5	1.3	黒色黒曜石	〃
58	A	V上面	〃	1.8	1.3	0.3	0.7	姫島産黒曜石	〃
59	E	II	石錐	2.7	0.7	0.7	1.3	黒色黒曜石	委託
60	B	IV	〃	3.2	1.1	0.5	1.2	チャート	〃
61	一	SH569	〃	2.7	0.6	0.6	0.7	黒色黒曜石	〃
62	G	II	〃	2.6	2.2	0.65	3.4	チャート	〃
63	E	一	石匙	2.2	1.75	0.7	2.4	サヌカイト	委託
64	B	SH	〃	5.2	5.2	0.8	17.2	チャート	〃
65	E	III	〃	2.5	2.6	0.6	3.0	黒色黒曜石	小国産の可能性あり
66	E	IV	〃	5.15	4.0	0.6	10.7	頁岩	委託
67	B	IV	〃	5.9	7.4	1.6	65.2	チャート	〃
68	B	SH	スクレイパー	2.1	2.0	0.3	1.3	黒色黒曜石	〃

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
69	B	SH	スクレイパー	2.6	1.7	0.6	2.7	姫島産黒曜石	
70	B	SH	〃	5.2	2.8	1.1	14.7	黒色黒曜石	
71	A	IV	〃	2.6	1.1	0.5	1.5	〃	
72	B	V上面	〃	2.0	1.6	0.4	1.4	〃	
73	E	SH155	クサビ	1.7	1.8	0.4	1.3	〃	
74	A	III	〃	2.1	2.3	1.6	6.0	〃	
75	B	IV	石核	3.1	3.1	2.2	18.1	〃	
76	G	V	〃	3.5	4.6	2.4	20.9	姫島産黒曜石	
77	E	V	〃	3.2	2.0	0.8	3.0	黒色黒曜石	
78	E	II	剥片	2.4	1.7	0.6	1.8	〃	
79	E	IV	〃	2.0	1.7	0.5	1.2	〃	
80	B	III	〃	10.3	4.5	1.6	93.6	片岩	委託
81	B	IV	打製石斧	16.3	5.2	1.1	108.5	〃	〃
82	B	SH95	〃	11.7	5.2	1.0	60.9	〃	〃
83	SA2	IV	〃	24.7	6.3	2.3	193.4	頁岩	〃
84	G	床	打製石斧	7.9	4.2	1.5	50.7	砂岩	〃
85	G	I・II	〃	21.4	5.3	1.9	103.4	凝灰岩	〃
86	G	II	〃	9.9	6.7	1.1	91.3	緑泥片岩	〃
87	B	IV	〃	16.5	7.6	1.6	211.6	〃	〃
88	E	IV	〃	12.1	5.6	1.8	138.6	凝灰岩	〃
89	G	IV	〃	21.0	6.0	1.1	78.3	片岩	〃
90	G	IV	〃	10.0	4.5	1.7	92.3	凝灰岩	〃
91	—	IV	〃	11.15	4.2	1.1	57.1	片岩	〃
92	F	I・II	打製石斧	21.6	5.6	1.7	112.0	凝灰岩	〃
93	C1	III	〃	12.1	5.2	1.1	75.2	片岩	〃
94	G	III・IV	〃	11.6	5.2	1.3	79.1	凝灰岩	〃
95	E	III・IV	〃	11.5	4.1	0.8	46.5	〃	〃
96	G	IV	〃	9.4	6.5	1.3	74.3	〃	〃
97	F	IV	〃	14.4	5.6	2.7	306.1	凝灰岩	〃
98	E	IV	磨製石斧	10.8	5.4	2.9	228.3	砂岩	左半分の表裏に黒い変色部分
99	G	SH609	〃	7.5	5.1	3.0	196.2	凝灰岩	委託、基部
100	G	III	〃	11.1	4.8	2.6	138.6	砂岩	〃
101	G	IV	〃	10.1	5.1	3.0	186.9	〃	表裏に黒変部分
102	G	IV	〃	7.4	5.7	2.8	157.1	〃	黒変部分有り
103	G	IV	〃	11.6	5.5	3.3	311.5	凝灰岩	〃
104	G	IV	〃	13.5	5.1	3.8	330.1	砂岩	〃
105	G	IV	〃	10.2	3.3	1.4	59.0	凝灰岩	委託
106	E	—	〃	10.5	5.2	1.3	93.0	緑泥片岩	〃
107	G	IV	〃	11.2	5.4	1.7	158.9	蛇紋岩	〃
108	E	II	〃	4.4	5.4	1.0	37.8	凝灰岩	〃
109	G	II	〃	7.0	2.8	1.5	29.9	〃	〃
110	G	IV	〃	9.3	4.7	2.0	147.8	〃	〃
111	E	IV	〃	5.3	5.7	2.5	124.5	砂岩	〃
112	E	SA1-12	敲石	6.1	3.6	3.4	113.0	凝灰岩	〃
113	D	SH646	〃	2.9	4.4	2.0	34.4	〃	〃
114	B	III・IV	〃	4.7	3.5	2.8	70.0	〃	〃
115	G	SH150	〃	9.8	4.8	2.3	193.3	砂岩	〃
116	G	I・II	〃	13.5	12.8	7.1	2200.0	凝灰岩	〃
117	—	IV	磨・敲石	7.5	11.6	7.0	874.0	〃	〃
118	A	II	磨石	7.6	4.5	2.5	135.5	砂岩	〃
119	G	SH	〃	7.1	6.2	1.8	95.2	凝灰岩	〃
120	G	IV	石錘	6.3	3.7	1.2	40.7	〃	〃
121	G	IV	〃	11.1	2.8	1.7	99.1	砂岩	〃
122	B	III・IV	砥石	7.2	2.8	1.3	35.3	頁岩	〃
123	G	II	石刀	9.2	3.9	1.1	70.4	赤色頁岩	〃
124	G	III	〃	6.6	3.7	1.3	50.2	白色頁岩	〃
125	B	IV	〃	5.8	2.4	1.4	16.9	片岩系	〃
126	G	III	石棒か	10.5	10.1	1.4	202.9	結晶片岩	委託
127	G	III	円盤状石器	2.2	1.7	0.6	1.3	黒色黒曜石	以下、計測表・写真掲載のみ
128	E	SH397	石鏃	3.05	2.1	0.7	5.1	チャート	〃
129	E	III	〃	(2.9)	(1.8)	(0.25)	(1.5)	〃	〃
130	E	III	〃	(2.2)	(1.35)	(0.25)	(0.8)	〃	〃
131	C	III	〃	(1.9)	(2.05)	(0.4)	(1.7)	〃	〃
132	G	III	〃	3.0	1.65	0.35	1.5	〃	〃
133	G	III	〃	(2.45)	(2.0)	(0.5)	(1.8)	〃	〃
134	G	III	〃	(1.35)	(1.65)	(0.35)	0.9	〃	〃
135	E	III	〃	(1.6)	(1.45)	(0.35)	(0.7)	〃	〃
136	E	III	〃	(1.9)	(1.1)	(0.25)	(0.5)	〃	〃
137	G	III	〃	(1.9)	(1.4)	(0.4)	1.0	サヌカイト	〃

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石 材	備 考
138	B	IV	石鏃	2.55	1.35	0.6	1.8	チャート	〃
139	F	IV	〃	(2.7)	(2.0)	(0.5)	(2.9)	〃	〃
140	G	IV	〃	3.05	2.1	0.7	4.4	〃	〃
141	F	IV	〃	(3.2)	(1.5)	(0.65)	(3.4)	〃	〃
142	F	IV	〃	(3.0)	(2.0)	(0.7)	(5.0)	〃	〃
143	G	IV	〃	(2.1)	(1.7)	(0.45)	(1.9)	〃	〃
144	B	IV	〃	(1.7)	(1.45)	0.35	0.7	〃	〃
145	G	IV	〃	(1.9)	(1.2)	(0.25)	(0.6)	〃	〃
146	B	IV	〃	2.3	(1.55)	0.45	1.3	〃	〃
147	F	IV	〃	1.7	1.1	0.25	0.5	〃	〃
148	A	IV	〃	(1.45)	(1.65)	(0.3)	0.6	〃	〃
149	B	IV	〃	2.3	1.75	0.45	1.1	〃	〃
150	B	IV	〃	(1.25)	1.3	0.25	0.4	〃	〃
151	G	IV	〃	(1.85)	(1.5)	(0.4)	(0.8)	〃	〃
152	B	IV	〃	2.1	(1.25)	0.35	0.6	〃	〃
153	B	IV	〃	2.25	(1.25)	0.35	0.8	〃	〃
154	B	IV	〃	2.15	1.7	0.45	2.3	〃	〃
155	E	IV	〃	2.1	1.4	0.4	0.9	黒色黒曜石	〃
156	B	IV	〃	1.65	(1.45)	0.3	0.6	チャート	〃
157	A	IV	〃	1.85	1.6	0.4	0.7	〃	〃
158	G	V	〃	(1.8)	(1.6)	(0.5)	(1.6)	〃	〃
159	B	V	石鏃	(1.2)	(1.6)	(0.2)	(0.5)	〃	〃
160	B	V	〃	(1.4)	(1.5)	(0.2)	(0.5)	〃	〃
161	B	V	〃	(1.65)	(1.6)	(0.3)	(0.8)	〃	〃
162	B	V	〃	1.9	1.7	0.45	1.1	姫島産黒曜石	〃
163	E	V	〃	(1.4)	(1.9)	(0.25)	(0.7)	チャート	〃
164	—	—	石鏃	(2.0)	(1.85)	(0.45)	(1.7)	〃	〃
165	—	—	〃	(2.0)	(1.3)	(0.2)	(0.6)	〃	〃
166	—	—	〃	(1.4)	(1.0)	(0.3)	(0.4)	姫島産黒曜石	〃
167	E	—	〃	(2.0)	(1.5)	(0.3)	(0.9)	チャート	〃
168	B	IV	〃	1.7	1.1	0.3	0.6	黒色黒曜石	〃
169	—	—	〃	2.6	1.7	0.45	2.0	チャート	〃
170	B	S H112	石鏃	(1.1)	(1.4)	(0.25)	(0.4)	〃	〃
171	G北	S C 12	剥片	(1.7)	(0.9)	(0.2)	(0.3)	姫島産黒曜石	〃
172	E	III	石錐	3.35	1.7	0.7	4.0	チャート	〃
173	E	III	〃	(1.8)	(2.0)	(0.85)	(2.6)	〃	〃
174	B	IV	〃	4.15	1.6	1.0	5.7	〃	〃
175	B	S H137	スクレイパー	3.7	2.3	0.8	8.5	サヌカイト	〃
176	B	S H109	〃	(3.2)	(4.5)	(1.2)	(13.0)	チャート	〃
177	G	III	スクレイパー	11.0	5.5	1.4	87.1	サヌカイト	〃
178	B	III	〃	5.1	7.5	1.4	54.8	チャート	〃
179	E	III	〃	5.25	3.55	1.2	21.0	〃	〃
180	E	III	〃	3.4	2.9	0.6	6.3	〃	〃
181	G	IV	スクレイパー	6.3	4.7	1.5	58.3	ホルンフェルス	〃
182	B	IV	〃	6.3	4.6	0.7	27.0	頁岩	〃
183	E	IV	〃	2.95	3.05	0.95	6.0	チャート	〃
184	E	IV	〃	3.3	2.25	1.1	7.2	〃	〃
185	B	S C 4	石核	3.2	2.3	1.5	12.8	〃	〃
186	C	S H196	〃	3.8	2.8	1.1	14.2	〃	〃
187	C	S H246	〃	4.8	3.5	1.3	26.1	〃	〃
188	D	S H256	〃	3.7	2.95	1.0	12.4	〃	〃
189	F	S H559	〃	8.0	5.9	4.1	217.9	〃	〃
190	G	S H597	〃	5.35	3.4	1.45	24.2	〃	〃
191	G	I・II	石核	4.9	3.5	1.25	24.2	〃	〃
192	D	II	〃	4.75	2.05	1.2	11.2	〃	〃
193	E	III	〃	3.65	2.85	1.2	15.5	〃	〃
194	C	III	〃	4.2	3.1	1.7	17.5	〃	〃
195	B・E	—	〃	4.1	3.7	1.35	24.9	〃	〃
196	G	IV	〃	7.1	4.6	1.85	55.3	〃	〃
197	B	IV	〃	4.4	3.5	1.9	24.0	流紋岩	〃
198	G	IV	〃	5.1	3.5	2.5	45.1	チャート	〃
199	B	IV	〃	4.0	3.9	1.7	19.1	〃	〃
200	C	IV	〃	4.8	3.6	1.45	26.2	〃	〃
201	F	IV	〃	4.45	3.6	1.7	29.1	〃	〃
202	F	IV	〃	4.05	2.45	1.0	10.3	〃	〃
203	E	IV	〃	4.1	2.95	1.6	23.8	〃	〃
204	G	IV	〃	2.3	2.5	0.9	4.4	黒色黒曜石	〃
205	F	IV	〃	5.7	5.6	2.0	67.3	チャート	〃
206	B	VI	〃	6.2	4.5	1.7	42.5	〃	〃

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
207	E	V	石核	2.9	2.4	1.3	7.0	黒色黒曜石	〃
208	B	V	〃	3.2	3.0	1.0	11.8	チャート	〃
209	B	IV	〃	6.7	6.5	2.2	92.6	〃	〃
210	G北	SC12上	二次加工のある剥片	5.1	3.7	1.6	21.9	〃	〃
211	G北	SC12	〃	3.8	2.4	1.05	8.6	〃	〃
212	A	SH	〃	3.6	2.8	1.05	10.3	〃	〃
213	C	SH197	〃	3.35	2.8	0.9	6.4	〃	〃
214	F	SH430	〃	3.2	2.8	0.95	8.2	〃	〃
215	F	SH617	〃	3.4	2.7	1.4	14.0	〃	〃
216	F	SH548	〃	3.6	2.7	0.65	7.1	〃	〃
217	E	II	二次加工のある剥片	2.0	1.5	0.5	1.1	黒色黒曜石	〃
218	B	III	〃	2.7	1.95	0.5	3.2	チャート	〃
219	B	III	〃	3.6	2.95	0.85	8.6	〃	〃
220	B	III	〃	2.4	2.1	0.5	3.1	〃	〃
221	B	III	〃	2.5	1.85	0.6	2.4	〃	〃
222	B	III	〃	3.4	2.85	1.55	15.0	〃	〃
223	E	III	〃	3.0	2.5	0.6	5.5	〃	〃
224	E	III	〃	4.55	3.0	0.9	15.0	〃	〃
225	E	III	〃	4.8	3.0	1.1	14.1	〃	〃
226	E	III	〃	3.1	2.2	0.8	4.2	〃	〃
227	F	III	〃	3.4	2.9	1.0	8.5	〃	〃
228	E	III	〃	3.4	2.1	0.5	2.7	黒色黒曜石	〃
229	B	IV	二次加工のある剥片	4.0	3.3	0.95	12.4	チャート	〃
230	B	IV	〃	2.9	2.8	0.55	6.1	〃	〃
231	B	IV	〃	3.0	2.4	0.95	5.9	〃	〃
232	B	IV	〃	2.9	2.3	0.75	5.4	〃	〃
233	B	IV	〃	2.5	1.7	0.5	2.2	〃	〃
234	C	IV	〃	2.4	1.8	0.45	2.0	〃	〃
235	F	IV	〃	4.3	3.0	1.2	13.1	〃	〃
236	F	IV	〃	2.8	2.3	0.8	5.4	〃	〃
237	F	IV	〃	5.1	2.8	1.4	16.4	〃	〃
238	F	IV	〃	3.8	3.1	1.5	16.3	〃	〃
239	F	IV	〃	2.2	1.9	0.7	3.0	〃	〃
240	G	IV	〃	3.5	2.0	0.85	5.3	〃	〃
241	G	IV	〃	3.2	2.5	1.0	7.5	〃	〃
242	E	IV	〃	2.7	1.6	0.6	2.5	〃	〃
243	E	IV	〃	2.65	1.65	0.6	2.2	〃	〃
244	E	IV	〃	2.8	1.6	0.5	2.4	〃	〃
245	E	IV	〃	2.55	1.8	0.5	2.0	〃	〃
246	E	IV	〃	2.65	1.4	0.75	2.8	〃	〃
247	E	IV	〃	2.75	2.55	0.9	4.9	〃	〃
248	E	IV	〃	2.75	2.2	0.75	4.4	〃	〃
249	E	IV	〃	2.5	2.55	0.85	5.5	〃	〃
250	E	IV	〃	2.15	2.0	0.55	2.5	〃	〃
251	E	IV	〃	2.85	2.1	0.8	3.7	〃	〃
252	E	IV	〃	3.4	2.8	1.2	10.2	〃	〃
253	C	IV	〃	8.6	5.4	2.0	104.3	サヌカイト	〃
254	B	IV	〃	2.6	1.9	0.8	3.7	姫島産黒曜石	〃
255	B	V	〃	3.3	2.7	0.9	8.0	チャート	〃
256	—	—	〃	2.8	2.1	0.5	3.7	〃	〃
257	—	—	〃	3.0	2.1	0.85	5.6	石英	〃
258	—	—	〃	1.8	1.6	0.3	1.0	チャート	〃
259	G南	SC14	剥片	2.9	2.6	0.75	5.3	〃	〃
260	A	SH	〃	3.8	2.65	1.05	10.2	〃	〃
261	B	SH112	〃	2.3	1.5	0.35	0.7	〃	〃
262	D	SH257	〃	2.7	2.35	0.85	6.0	〃	〃
263	G	I・II	〃	2.95	2.5	1.1	8.1	〃	〃
264	G	I・II	〃	2.55	2.0	0.7	4.4	〃	〃
265	G	I・II	〃	3.5	2.4	0.8	5.8	〃	〃
266	E	III	〃	3.2	3.0	0.7	7.2	〃	〃
267	E	III	〃	3.7	2.3	0.85	7.1	〃	〃
268	E	III	〃	2.75	1.75	0.6	3.2	〃	〃
269	E	III	〃	2.6	2.5	0.6	4.4	〃	〃
270	G	III	〃	3.55	2.25	1.15	7.6	〃	〃
271	E	III	〃	3.95	3.0	1.25	16.3	〃	〃
272	G	III	〃	3.25	2.05	0.8	5.8	〃	〃

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石 材	備 考
273	E	Ⅲ	剥片	2.5	1.7	0.4	1.5	姫島産黒曜石	〃
274	B	Ⅳ	〃	3.2	2.2	1.0	7.4	チャート	〃
275	B	Ⅳ	〃	3.7	3.2	1.2	15.4	〃	〃
276	B	Ⅳ	〃	2.4	2.4	0.5	3.1	〃	〃
277	B	Ⅳ	〃	3.1	1.8	0.55	3.1	〃	〃
278	B	Ⅳ	〃	2.4	2.4	0.9	4.0	〃	〃
279	B	Ⅳ	〃	3.9	3.2	1.3	16.9	〃	〃
280	C	Ⅴ	〃	2.5	2.1	0.6	3.3	〃	〃
281	F	—	〃	4.3	3.0	1.2	13.5	〃	〃
282	F	—	〃	(2.7)	(0.9)	(0.2)	(0.4)	ホルンフェルス	〃
283	—	—	〃	3.7	2.95	1.0	12.1	チャート	〃
284	—	—	〃	5.5	4.9	0.55	15.5	ホルンフェルス	〃
285	E	SA1床	打製石斧	13.6	6.85	1.85	230.1	凝灰岩	〃
286	E	SA1-1	〃	12.5	6.65	1.7	165.2	頁岩	〃
287	E	SA2-6	〃	11.7	5.6	2.1	140.0	凝灰岩	〃
288	E	SA2-27	〃	9.7	5.9	1.6	97.4	頁岩	〃
289	E	SA2床	〃	8.5	6.0	1.6	72.8	〃	〃
290	E	SA2-29	〃	6.5	6.6	0.9	42.0	〃	〃
291	F	SC10	〃	7.2	4.3	1.0	31.3	〃	〃
292	F	SC11	〃	5.8	4.65	1.15	29.2	砂岩	〃
293	G北	SC12	〃	9.3	6.1	1.4	84.9	頁岩	〃
294	G北	SC12	〃	4.9	6.7	1.25	53.9	凝灰岩	〃
295	G北	SC13	〃	10.45	6.15	2.5	130.5	〃	〃
296	G北	SC13-67	〃	11.9	7.8	1.3	134.8	頁岩	〃
297	G北	SC13	〃	10.3	5.25	2.05	133.0	〃	〃
298	G北	SC13-68	〃	11.4	6.5	1.2	113.4	〃	〃
299	G北	SC13-50	〃	7.3	5.1	1.3	47.5	〃	〃
300	—	SE1	〃	6.0	6.7	1.3	68.4	片岩	〃
301	A	SH	〃	7.9	5.95	1.7	98.6	緑泥片岩	〃
302	B	SH	〃	11.2	5.5	1.5	109.3	凝灰岩	〃
303	B	SH51	〃	8.0	3.6	0.6	19.2	結晶片岩	〃
304	B	SH76	〃	7.7	5.0	1.3	63.1	緑泥片岩	〃
305	B	SH134	〃	7.3	5.2	0.8	42.4	片岩	〃
306	B	SH	〃	6.1	4.6	1.0	33.1	凝灰岩	〃
307	E	SH692	〃	6.45	5.55	1.05	44.2	結晶片岩	〃
308	F	SH458	〃	6.8	4.55	1.35	49.2	凝灰岩	〃
309	E	SH626	〃	11.5	6.9	1.7	128.9	緑泥片岩	〃
310	G	SH720	〃	10.3	4.8	0.7	42.7	〃	〃
311	B	トレンチ	〃	6.6	5.85	1.1	47.6	〃	〃
312	G	I・II	打製石斧	10.7	6.1	1.8	143.1	片岩	〃
313	G	II	〃	11.1	7.3	1.0	119.0	凝灰岩	〃
314	D	II	〃	14.0	6.65	1.65	223.7	結晶片岩	〃
315	G	II	〃	12.1	6.4	1.7	144.7	緑泥片岩	〃
316	E	II	〃	9.3	4.4	1.05	49.6	凝灰岩	〃
317	C	II・IV	〃	12.9	7.7	1.4	116.7	緑泥片岩	〃
318	G	II	〃	9.0	5.9	1.1	67.1	結晶片岩	〃
319	E	III	〃	11.35	4.85	2.0	132.8	頁岩	〃
320	G	III	〃	11.4	5.5	2.0	140.2	〃	〃
321	E	III	〃	9.5	5.2	1.4	70.7	〃	〃
322	B	III	〃	12.1	5.4	1.2	108.8	片岩	〃
323	E	III	〃	12.1	6.35	0.9	90.2	〃	〃
324	B	III	〃	9.3	4.2	1.2	57.5	凝灰岩	〃
325	E	III	〃	11.9	5.6	1.6	106.2	頁岩	〃
326	E	III	〃	9.3	5.0	1.1	59.1	〃	〃
327	A	III	〃	8.45	5.5	1.0	48.8	凝灰岩	〃
328	G	III	〃	8.2	4.9	1.3	66.4	結晶片岩	〃
329	B	III	〃	9.6	6.2	1.2	95.6	片岩	〃
330	G	III	〃	7.5	4.2	0.9	28.6	チャート	〃
331	A	III	〃	6.0	6.55	1.0	59.6	片岩	〃
332	G	III	〃	9.7	6.25	1.8	143.2	凝灰岩	〃
333	G	III	〃	8.5	5.9	1.3	69.0	結晶片岩	〃
334	G	III	〃	9.65	5.6	1.95	93.1	片岩	〃
335	A	III	〃	10.6	6.3	1.45	110.4	〃	〃
336	G	III	〃	12.1	8.5	1.7	208.6	凝灰岩	〃
337	C	III・IV	〃	6.9	5.1	0.85	34.8	片岩	〃
338	G	III	〃	10.8	4.4	0.8	48.8	緑泥片岩	〃
339	G	III	〃	11.4	6.15	1.9	114.9	凝灰岩	〃
340	F	III	〃	8.1	3.8	0.8	38.0	片岩	〃
341	G	IV	〃	13.0	5.65	1.5	145.1	〃	〃

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
342	F	Ⅳ	打製石斧	10.4	5.4	1.85	116.0	結晶片岩	〃
343	A	Ⅳ	〃	10.5	5.3	1.1	88.0	凝灰岩	〃
344	C	Ⅳ	〃	11.2	5.8	2.0	143.3	片岩	〃
345	一	Ⅳ	〃	11.6	5.4	1.9	118.5	緑泥片岩	〃
346	E	Ⅳ	〃	11.5	7.3	2.0	205.5	片岩	〃
347	B	Ⅳ	〃	11.75	5.25	1.9	132.4	凝灰岩	〃
348	E	Ⅳ	〃	9.5	5.25	1.95	126.0	片岩	〃、早期層出土
349	G	Ⅶ-84	〃	8.3	5.2	1.6	77.1	結晶片岩	〃
350	B	Ⅳ	〃	8.7	4.3	0.8	38.8	片岩	〃
351	F	Ⅳ	〃	7.7	5.85	1.3	85.0	〃	〃
352	G	Ⅳ	〃	7.5	4.5	1.5	55.0	〃	〃
353	G	Ⅳ	〃	9.8	5.2	1.6	81.3	緑泥片岩	〃
354	G	Ⅳ	〃	9.7	5.2	1.2	61.4	凝灰岩	〃
355	B	Ⅳ	〃	8.7	5.0	1.4	79.5	緑泥片岩	〃
356	G	Ⅳ	〃	11.1	5.9	2.0	150.3	片岩	〃
357	G	Ⅳ	〃	12.2	6.9	1.8	168.3	〃	〃
358	A	Ⅳ	〃	9.65	6.0	2.15	130.3	凝灰岩	〃
359	E	Ⅳ	〃	12.8	6.5	1.8	181.7	〃	〃
360	B	Ⅳ	〃	10.45	5.55	1.75	99.3	〃	〃
361	G	Ⅳ	〃	10.6	5.05	1.5	119.1	片岩	〃
362	E	Ⅳ	〃	14.5	6.3	1.9	223.7	〃	〃
363	E	Ⅳ	〃	8.6	5.5	1.2	70.0	〃	〃
364	B	Ⅳ・Ⅴ	〃	8.5	5.1	1.55	82.1	〃	〃
365	E	Ⅳ・Ⅴ	〃	12.1	5.5	1.6	146.2	凝灰岩	〃
366	G	Ⅳ	〃	9.45	5.25	1.75	78.2	片岩	〃
367	E	Ⅳ	〃	9.6	4.3	1.3	56.4	緑泥片岩	〃
368	E	Ⅳ	〃	10.2	5.3	1.1	83.8	片岩	〃
369	G	Ⅳ	〃	10.5	5.45	1.6	99.9	〃	〃
370	C	Ⅳ	〃	12.45	6.4	2.5	151.9	凝灰岩	〃
371	C	Ⅳ	〃	10.3	5.8	1.9	117.1	片岩	〃
372	G	Ⅳ	〃	10.45	4.5	2.0	101.6	凝灰岩	〃
373	E	Ⅳ	〃	9.4	5.95	1.7	105.3	片岩	〃
374	G	Ⅳ	〃	9.2	4.8	2.0	63.7	〃	〃
375	G	Ⅳ	〃	9.5	4.6	1.5	59.1	緑泥片岩	〃
376	G	Ⅳ	〃	10.4	6.1	1.8	123.5	凝灰岩	〃
377	E	Ⅳ	〃	13.0	6.0	1.0	79.2	安山岩	〃
378	B	Ⅳ	〃	8.3	5.1	1.1	67.3	緑泥片岩	〃
379	B	Ⅳ	〃	10.7	5.2	1.2	73.5	〃	〃
380	B	Ⅳ	〃	8.2	5.65	0.75	45.6	結晶片岩	〃
381	F	Ⅳ	〃	9.2	5.7	0.9	72.1	片岩	〃
382	B	Ⅳ	〃	8.1	5.1	0.7	42.2	〃	〃
383	B	Ⅳ	〃	6.6	3.4	0.9	24.8	安山岩	〃
384	B	Ⅳ・Ⅴ	〃	9.2	4.4	1.05	41.3	片岩	〃
385	G	Ⅳ	〃	8.8	5.4	0.7	38.4	緑泥片岩	〃
386	F	Ⅳ	〃	9.5	6.2	1.0	77.8	〃	〃
387	B	Ⅳ	〃	10.1	5.65	1.2	84.4	〃	〃
388	G	Ⅳ	〃	8.4	7.05	0.95	48.7	片岩	〃
389	B	Ⅳ	〃	11.05	6.75	1.8	132.3	凝灰岩	〃
390	E	Ⅳ	〃	9.3	7.1	0.9	75.1	片岩	〃
391	G	Ⅳ	〃	11.0	7.2	0.7	65.8	結晶片岩	〃
392	E	Ⅳ	〃	10.8	6.3	1.3	88.9	凝灰岩	〃
393	C	Ⅳ	〃	9.9	7.55	1.15	83.0	片岩	〃
394	G	Ⅴ	〃	9.1	6.3	1.5	95.7	安山岩	〃
395	B	Ⅳ	〃	9.8	6.6	1.5	97.7	凝灰岩	〃
396	C	Ⅳ	〃	9.5	6.8	2.0	142.8	〃	〃
397	G	Ⅳ	〃	10.7	6.5	1.6	129.8	結晶片岩	〃
398	E	Ⅳ	〃	10.65	7.9	1.75	172.1	凝灰岩	〃
399	G	Ⅳ	〃	10.6	6.75	1.9	154.3	片岩	〃
400	E	Ⅳ	〃	11.4	7.6	1.6	146.0	緑泥片岩	〃
401	G	Ⅳ	〃	12.0	6.55	1.8	145.9	凝灰岩	〃
402	A	Ⅲ	〃	13.7	7.35	1.8	205.4	結晶片岩	〃
403	B	Ⅳ	〃	8.6	5.5	1.6	100.5	凝灰岩	〃
404	B	Ⅳ	〃	9.2	5.4	1.7	83.9	緑泥片岩	〃
405	B	Ⅳ	〃	14.0	6.4	0.9	101.8	片岩	〃
406	E	Ⅳ	〃	13.5	5.8	1.7	123.0	凝灰岩	〃
407	E	Ⅳ	〃	12.2	4.9	1.7	113.6	緑泥片岩	〃
408	F	Ⅳ	〃	12.15	6.0	1.4	112.6	結晶片岩	〃
409	F	Ⅳ	〃	12.0	5.2	1.15	91.2	安山岩	〃
410	G	Ⅳ	〃	10.8	5.4	1.5	105.0	凝灰岩	〃

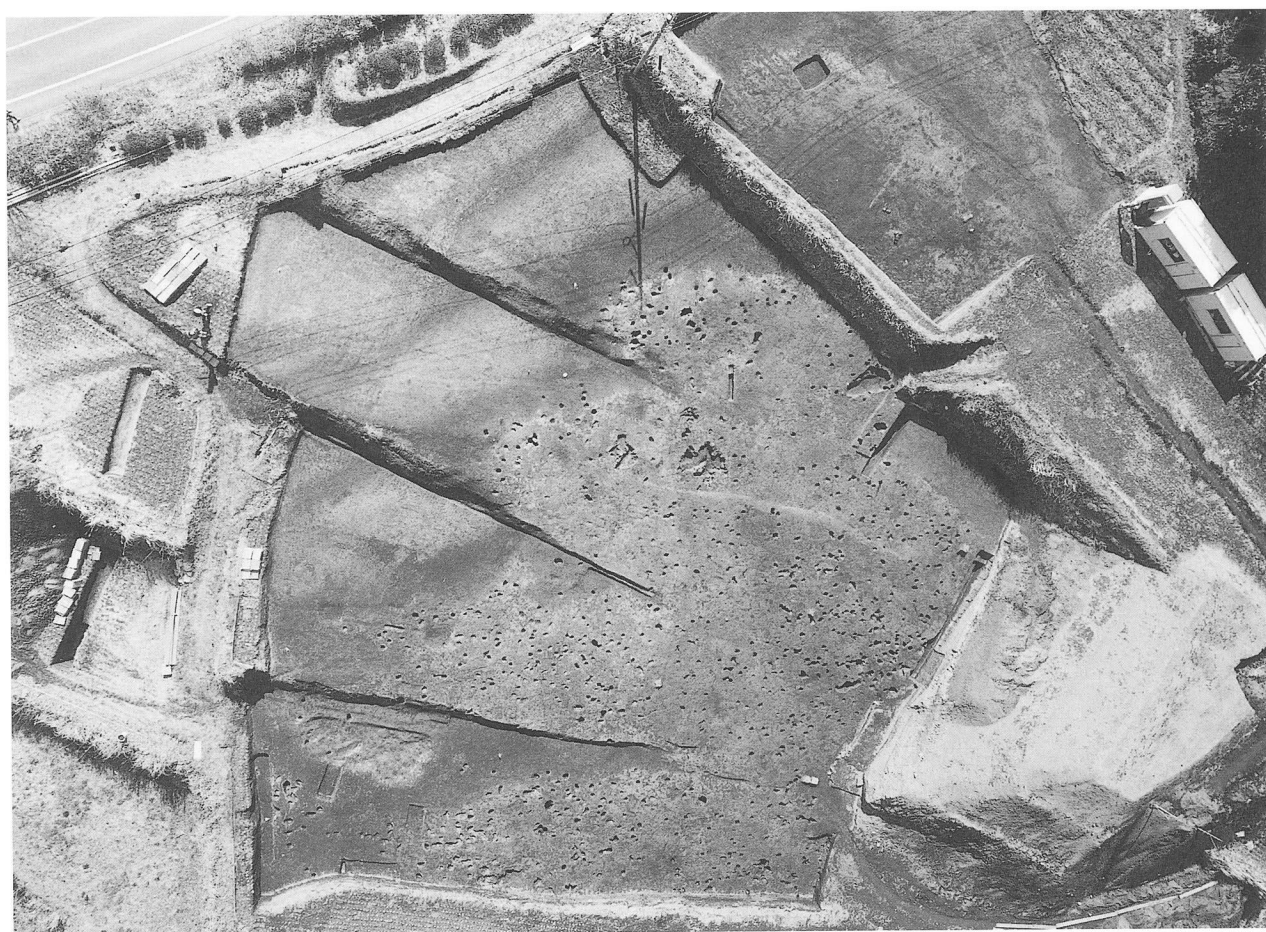
番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
411	E	IV	打製石斧	12.8	5.1	1.7	120.8	緑泥片岩	〃
412	G	IV	〃	13.15	4.3	1.3	79.3	片岩	〃
413	B	IV	〃	13.05	4.8	1.2	89.8	結晶片岩	〃
414	E	IV	〃	10.7	4.1	1.4	78.8	凝灰岩	〃
415	G	IV	〃	9.5	3.9	1.4	48.3	緑泥片岩	〃
416	G	IV	〃	10.5	4.4	1.6	95.5	凝灰岩	〃
417	G	IV	〃	10.2	3.6	0.7	31.5	片岩	〃
418	G	IV	〃	11.5	4.8	1.4	84.3	〃	〃
419	G	IV	〃	9.65	4.6	1.5	76.7	緑泥片岩	〃
420	G	IV	〃	10.05	5.05	1.0	64.9	結晶片岩	〃
421	B	IV	〃	11.4	4.4	0.7	55.9	凝灰岩	〃
422	B	IV	〃	5.8	4.3	0.4	16.6	〃	〃
423	E	V	〃	9.2	5.0	1.2	66.2	〃	〃
424	E	IV	〃	11.0	5.4	0.9	79.2	ホルンフェルス	〃
425	B	IV	〃	12.2	5.8	1.5	111.9	凝灰岩	〃
426	B	IV	〃	9.4	4.5	1.15	46.5	結晶片岩	〃
427	E	IV	〃	12.3	4.7	0.8	63.2	凝灰岩	〃
428	G	IV	〃	9.9	4.5	0.9	46.6	緑泥片岩	〃
429	E	V	〃	12.1	4.8	1.5	107.9	〃	〃
430	E	V	〃	10.0	5.6	0.9	60.3	片岩	〃
431	G	VI	〃	10.8	7.4	1.4	126.3	緑泥片岩	〃
432	—	—	〃	10.0	4.8	1.4	79.5	片岩	〃
433	G	—	〃	12.45	5.3	2.1	148.0	凝灰岩	〃
434	G	—	〃	11.2	4.7	2.0	115.2	〃	〃
435	—	—	〃	10.6	5.0	1.3	77.7	〃	〃
436	—	—	〃	8.5	6.4	1.0	59.9	〃	〃
437	—	—	〃	7.6	5.1	0.6	18.0	安山岩	〃
438	—	—	〃	11.1	6.1	1.2	84.1	片岩	〃
439	—	II	〃	8.8	7.0	1.3	95.1	〃	〃
440	G	III	〃	11.05	5.65	1.85	106.3	〃	〃
441	G	II	〃	11.2	6.5	1.3	104.1	結晶片岩	〃
442	B	III	〃	12.9	6.9	1.9	177.5	凝灰岩	〃
443	B	III	〃	12.85	6.5	1.7	118.4	片岩	〃
444	B	III	〃	11.7	6.9	2.7	237.3	凝灰岩	〃
445	F	III	〃	10.25	6.3	1.5	101.7	緑泥片岩	〃
446	B	III	〃	12.0	6.35	1.8	137.6	〃	〃
447	C	II	〃	16.7	7.2	1.6	191.1	片岩	〃
448	G	III	〃	13.0	5.8	1.75	106.2	〃	〃
449	G	III	〃	10.8	5.0	1.45	79.7	〃	〃
450	G	III	〃	11.3	6.3	2.55	150.1	凝灰岩	〃
451	G	III	〃	(9.6)	5.9	1.5	85.4	緑泥片岩	〃
452	E	III	〃	11.5	4.2	1.8	94.2	凝灰岩	〃
453	B	III	〃	12.9	5.3	2.1	137.0	緑泥片岩	〃
454	B	III	〃	16.0	6.5	2.4	160.9	片岩	〃
455	E	IV	〃	12.0	7.0	1.4	131.6	〃	〃
456	C	IV	〃	10.7	5.8	1.4	100.4	結晶片岩	〃
457	G	III	〃	11.1	6.6	1.2	102.2	〃	〃
458	G	IV	〃	11.1	6.25	1.4	106.5	頁岩	〃
459	G	III・IV	〃	11.6	5.3	1.4	113.8	緑泥片岩	〃
460	E	IV	〃	10.8	6.5	1.2	88.2	〃	〃
461	E	IV	〃	13.05	7.1	1.4	129.6	結晶片岩	〃
462	G	IV	〃	9.4	5.6	1.5	81.7	〃	〃
463	B	IV	〃	10.9	6.0	1.3	73.4	〃	〃
464	C	IV	〃	11.05	6.4	1.25	93.7	〃	〃
465	G	IV	〃	8.7	5.65	1.6	77.0	〃	〃
466	E	II	〃	8.4	6.1	1.0	53.5	凝灰岩	〃
467	B	IV	〃	9.9	5.2	0.9	58.3	片岩	〃
468	G	IV	〃	9.3	5.1	0.9	44.9	〃	〃
469	B	IV	〃	16.5	5.9	1.5	94.8	〃	〃
470	F	IV	〃	9.6	5.1	1.1	59.5	凝灰岩	〃
471	F	IV	〃	9.85	4.3	1.75	70.1	片岩	〃
472	G	IV	〃	13.25	5.7	1.0	53.8	〃	〃
473	F	IV	〃	7.65	4.5	1.25	49.3	緑泥片岩	〃
474	G	IV	〃	10.1	5.3	1.3	78.9	〃	〃
475	A	IV	〃	10.7	4.8	1.4	61.0	頁岩	〃
476	G	IV	〃	7.9	4.3	1.1	42.5	緑泥片岩	〃
477	A	V	〃	12.9	8.4	1.4	142.1	〃	〃
478	E	V	〃	12.3	6.4	1.5	112.1	片岩	〃
479	E	V	〃	10.45	6.35	1.55	106.8	〃	〃

番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
480	G	Ⅲ	打製石斧	10.4	6.2	0.7	63.5	〃	〃
481	G	Ⅲ	〃	12.2	7.0	1.1	95.0	〃	〃
482	B	Ⅲ	〃	9.6	4.6	0.6	39.2	〃	〃
483	G	Ⅲ	〃	9.4	4.1	0.9	44.7	緑泥片岩	〃
484	D	Ⅲ・Ⅳ	〃	13.15	7.4	1.0	108.0	片岩	〃
485	E	Ⅳ	〃	10.4	4.9	1.1	60.5	凝灰岩	〃
486	G	Ⅳ	〃	9.2	5.6	0.7	50.4	緑泥片岩	〃
487	C	Ⅲ・Ⅳ	〃	12.95	4.85	1.1	83.2	片岩	〃
488	C	Ⅳ	〃	10.4	4.2	0.9	48.0	〃	〃
489	C	Ⅱ・Ⅳ	〃	8.15	4.6	1.1	50.9	緑泥片岩	〃、基部
490	—	Ⅱ	〃	7.0	5.1	1.8	66.9	凝灰岩	〃、基部
491	C	Ⅱ・Ⅳ	〃	9.8	5.05	1.6	75.1	緑泥片岩	〃、基部
492	E	Ⅱ	〃	8.3	5.3	1.45	55.8	片岩	〃、基部
493	E	Ⅲ	〃	6.5	5.0	0.8	30.5	緑泥片岩	〃、基部
494	A	Ⅲ	〃	7.1	4.7	0.8	46.5	〃	〃、基部
495	A	Ⅲ	〃	8.2	5.0	1.2	66.2	凝灰岩	〃、基部
496	C	Ⅲ・Ⅳ	〃	7.15	4.1	2.7	60.6	〃	〃、基部
497	E	Ⅲ	〃	7.3	6.3	1.8	89.8	〃	〃、基部
498	B	Ⅲ	〃	6.4	6.0	1.75	66.4	片岩	〃、基部
499	G	Ⅲ	〃	12.7	6.6	1.6	130.3	緑泥片岩	〃、基部
500	B	Ⅲ	〃	10.6	5.4	1.5	103.5	凝灰岩	〃、基部
501	G	Ⅳ	〃	10.5	5.5	2.5	126.8	〃	〃、基部
502	B	Ⅳ	〃	10.05	5.55	2.05	122.6	〃	〃、基部
503	G	Ⅳ	〃	8.7	5.5	1.25	60.4	片岩	〃、基部
504	C	Ⅳ	〃	6.1	4.2	1.8	54.9	〃	〃、基部
505	G	Ⅳ	〃	5.35	4.1	1.0	30.4	〃	〃、基部
506	F	Ⅳ	〃	9.1	4.4	1.1	44.6	〃	〃、基部
507	G	Ⅳ	〃	5.25	5.65	1.6	47.6	緑泥片岩	〃、基部
508	G	Ⅳ	〃	7.0	5.1	1.4	66.2	結晶片岩	〃、基部
509	G	Ⅳ	〃	9.3	7.0	1.7	86.4	緑泥片岩	〃、基部
510	E	Ⅳ	〃	7.0	6.0	1.0	49.9	〃	〃、基部
511	B	Ⅳ・Ⅴ	〃	5.6	5.1	1.3	33.2	〃	〃、基部
512	E	Ⅳ	〃	10.3	5.4	1.3	78.0	片岩	〃、基部
513	G	Ⅳ	〃	9.4	6.7	1.4	97.3	〃	〃、基部
514	G	Ⅳ	〃	8.0	5.5	1.6	76.6	〃	〃、基部
515	G	Ⅳ	〃	9.2	5.05	1.7	67.0	〃	〃、基部
516	B	Ⅳ	〃	7.7	4.2	1.0	44.8	結晶片岩	〃、基部
517	E	Ⅳ	〃	7.0	6.8	1.2	56.9	凝灰岩	〃、基部
518	C	Ⅳ	〃	6.1	3.4	1.0	27.2	〃	〃、刃部
519	B	Ⅴ	〃	4.9	4.8	0.8	17.9	〃	〃、刃部
520	G	Ⅱ	〃	11.6	7.5	1.0	96.2	結晶片岩	〃、刃部
521	G	Ⅲ	〃	9.0	7.4	1.6	139.9	凝灰岩	〃、刃部
522	F	Ⅲ	〃	7.4	7.0	2.3	115.2	〃	〃、刃部
523	G	Ⅲ	〃	7.2	6.5	1.8	113.6	片岩	〃、刃部
524	E	Ⅱ	〃	5.0	5.7	0.8	27.3	〃	〃、刃部
525	C	Ⅳ	〃	4.95	5.25	1.4	40.7	結晶片岩	〃、刃部
526	E	Ⅲ	〃	8.2	7.4	1.7	107.9	〃	〃、刃部
527	B	Ⅲ	〃	6.7	9.8	1.25	106.0	片岩	〃、刃部
528	B	Ⅳ	〃	9.1	8.2	2.4	197.1	凝灰岩	〃、刃部
529	E	Ⅳ	〃	8.0	6.2	1.3	65.4	片岩	〃、刃部
530	G	Ⅲ	〃	7.1	6.7	1.0	61.1	緑泥片岩	〃、刃部
531	B	Ⅳ	〃	7.25	5.0	2.1	73.2	凝灰岩	〃、刃部
532	—	—	〃	9.6	6.0	1.4	83.5	緑泥片岩	〃、刃部
533	E	Ⅳ	〃	6.8	5.6	1.2	54.6	結晶片岩	〃、刃部
534	B	Ⅳ	〃	7.75	6.45	1.1	59.7	片岩	〃、刃部
535	G	Ⅳ	〃	6.0	6.2	1.1	52.8	〃	〃、刃部
536	G	Ⅳ	〃	5.45	7.05	1.2	45.3	〃	〃、刃部
537	F	Ⅳ	〃	7.75	6.6	1.55	70.4	〃	〃、刃部
538	E	Ⅳ	〃	9.3	6.5	1.8	116.6	凝灰岩	〃、刃部
539	A	Ⅳ	〃	9.35	8.2	2.35	199.7	〃	〃、刃部
540	G	Ⅳ	〃	6.4	6.2	0.75	35.0	片岩	〃、刃部
541	G	Ⅳ	〃	7.6	7.6	1.5	80.9	凝灰岩	〃、刃部
542	G	Ⅳ	〃	6.1	6.2	1.6	73.2	〃	〃、刃部
543	A	Ⅳ	〃	6.4	6.3	1.9	60.0	〃	〃、刃部
544	B	Ⅳ	〃	7.45	4.95	1.5	54.5	片岩	〃、刃部
545	B	Ⅳ	〃	6.55	5.1	0.95	30.4	緑泥片岩	〃、刃部
546	G	Ⅳ	〃	9.9	5.7	1.1	36.9	片岩	〃、刃部
547	—	—	〃	3.7	5.15	1.3	24.2	〃	〃、刃部
548	G	Ⅳ	〃	10.0	8.1	1.4	127.9	凝灰岩	〃、刃部

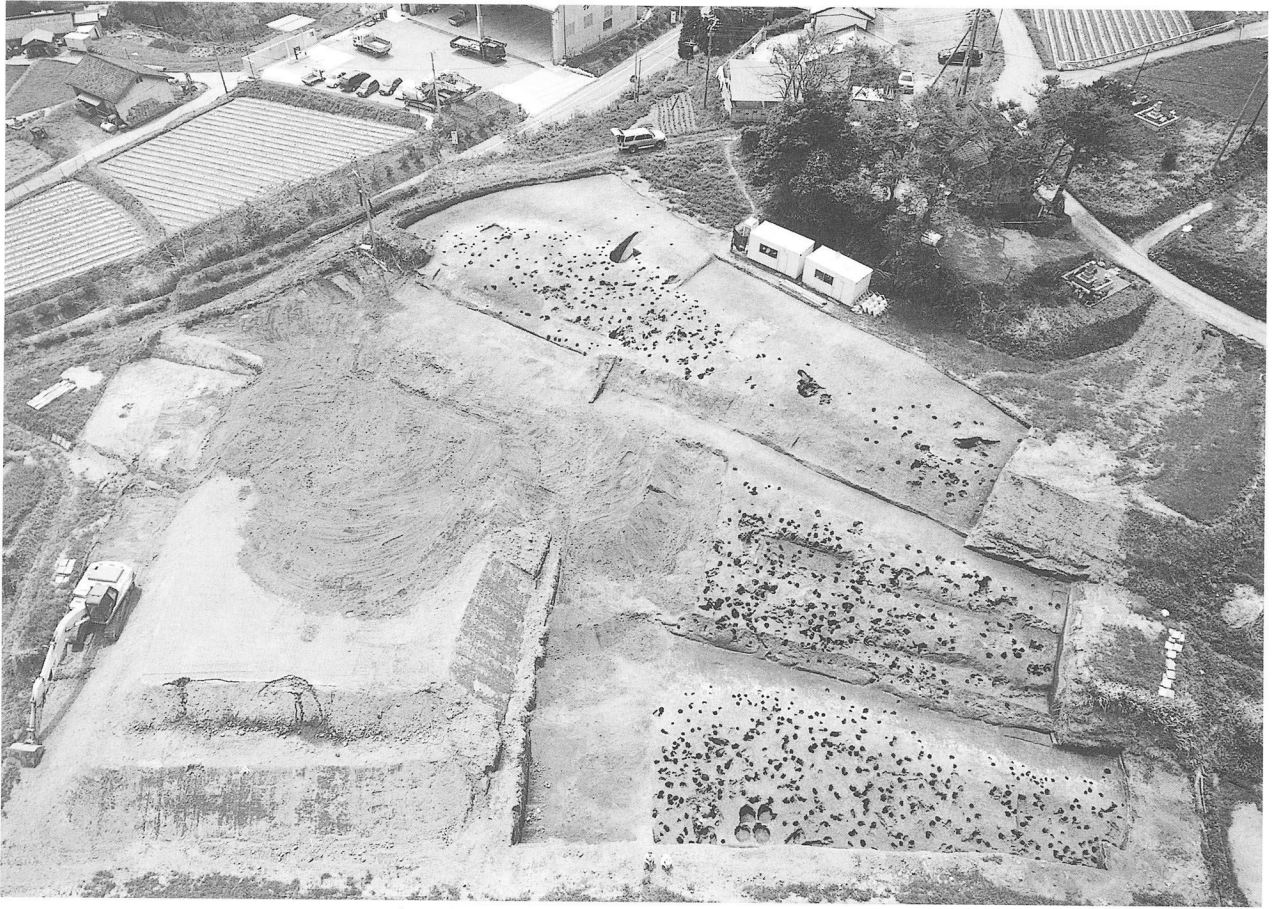
番号	出土区	出土層	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚み(cm)	重量(g)	石材	備考
549	C	Ⅳ	打製石斧	6.2	8.9	1.1	61.6	片岩	〃、刃部
550	C	Ⅳ	〃	8.4	6.85	1.3	86.2	〃	〃、刃部
551	G	Ⅲ	〃	8.65	5.45	1.4	76.0	〃	〃、基部片
552	—	—	〃	5.95	6.25	1.55	76.0	〃	〃、基部片
553	F	Ⅳ	〃	9.4	5.3	1.6	75.1	〃	〃、基部片
554	—	Ⅱ	磨製石斧	5.1	5.0	2.6	99.7	砂岩	〃
555	E	Ⅱ	〃	9.0	4.7	3.4	210.5	凝灰岩	〃、欠損
556	E	Ⅳ	〃	12.2	3.9	2.5	189.8	ホルンフェルス	〃
557	E	Ⅲ	〃	4.5	2.5	1.5	19.3	凝灰岩	〃
558	G	Ⅲ	〃	11.1	4.8	2.6	214.6	ホルンフェルス	〃、欠損
559	C・Ⅳ	Ⅳ	〃	9.5	5.2	2.7	148.8	蛇紋岩	〃
560	F	Ⅳ	〃	3.2	3.7	1.7	22.2	凝灰岩	〃
561	E	Ⅳ	〃	10.0	1.7	2.4	50.3	〃	〃
562	E	Ⅳ	〃	13.7	6.3	3.7	438.6	〃	〃、欠損
563	G	Ⅳ	〃	8.4	6.0	2.4	141.5	〃	〃
564	E	Ⅳ	〃	6.3	2.3	2.1	44.0	蛇紋岩	〃、欠損
565	E	Ⅳ	〃	7.4	5.8	3.7	295.8	砂岩	〃、欠損
566	G	Ⅳ	〃	7.6	3.7	2.1	73.9	〃	〃、欠損
567	E	Ⅴ	〃	9.7	5.0	3.1	182.2	蛇紋岩	〃
568	E	Ⅳ	〃	12.2	5.2	2.7	249.5	凝灰岩	〃
569	E	Ⅲ	〃	5.6	4.8	1.5	49.3	砂岩	〃
570	B	Ⅳ	〃	9.0	4.4	1.0	49.0	結晶片岩	〃
571	B	Ⅳ	〃	7.7	3.4	0.6	20.9	緑泥片岩	〃
572	B	Ⅳ	〃	7.4	2.4	0.7	13.6	〃	〃
573	B	Ⅳ	〃	7.0	2.2	0.4	9.9	〃	〃
574	E	Ⅳ	〃	8.7	2.9	1.2	44.0	ホルンフェルス	〃
575	E	Ⅲ	敲石	7.4	5.4	4.1	261.8	砂岩	〃
576	G	Ⅲ	〃	9.5	5.1	2.7	216.6	凝灰岩	〃
577	G	Ⅳ	〃	5.9	6.9	5.4	309.5	〃	〃
578	G	Ⅳ	〃	5.0	7.1	1.9	110.8	砂岩	〃
579	G	Ⅳ	〃	10.0	4.4	3.1	294.0	〃	〃
580	G	Ⅳ	〃	11.6	4.2	2.8	212.0	〃	〃
581	G	Ⅴ	〃	9.6	8.6	6.6	875.6	〃	〃
582	A	Ⅴ	〃	9.3	5.4	2.7	179.0	凝灰岩	〃
583	E	Ⅶ-73	〃	8.0	6.6	5.5	480.1	〃	〃、早期層出土
584	G	Ⅴ	磨・敲石	15.5	12.1	6.7	2200.0	〃	〃
585	G	SH384	磨石	(7.4)	(6.3)	(5.05)	(345.0)	〃	〃
586	G	Ⅲ	〃	7.5	10.0	4.9	541.9	〃	〃
587	E	Ⅲ	〃	5.4	7.2	5.3	259.5	〃	〃
588	B	Ⅲ	〃	(6.9)	(6.3)	(2.6)	(103.3)	〃	〃
589	E	Ⅳ	〃	7.3	5.7	4.9	290.4	〃	〃
590	E	Ⅳ	〃	11.7	5.4	5.7	258.5	〃	〃
591	G	Ⅳ	〃	8.6	5.4	4.5	223.3	〃	〃
592	G	Ⅳ	〃	4.7	4.7	3.7	128.0	〃	〃
593	E	Ⅴ	台石	16.7	13.7	10.2	3200.0	〃	〃
594	E	Ⅲ	石錘	8.2	4.5	1.5	72.0	〃	〃
595	G	Ⅲ	砥石	6.9	6.4	1.8	71.9	砂岩	〃
596	E	Ⅲ	〃	5.1	6.4	3.2	129.3	〃	〃
597	G	Ⅳ	〃	14.6	4.4	3.6	224.0	〃	〃
598	A	Ⅳ	〃	12.7	6.0	3.5	351.3	〃	〃
599	E	Ⅳ	〃	7.3	6.7	1.0	84.4	片岩	〃
600	D	Ⅲ・Ⅳ	円盤状石器	7.8	8.0	1.1	82.2	凝灰岩	〃、打製
601	G	Ⅲ・Ⅳ	〃	5.9	5.4	1.3	38.3	結晶片岩	〃、打製
602	G	Ⅳ	〃	8.1	7.8	2.5	152.6	片岩	〃、打製
603	G	Ⅳ	〃	6.8	5.8	1.4	75.8	結晶片岩	〃、打製
604	G	Ⅳ	〃	10.0	8.9	1.4	149.5	凝灰岩	〃、打製
605	G	Ⅳ	〃	8.1	8.85	0.8	77.7	片岩	〃、打製
606	G	Ⅳ	〃	5.4	6.6	0.8	38.1	結晶片岩	〃、打製
607	B	Ⅲ	〃	3.8	3.8	0.8	14.9	凝灰岩	〃、磨製
608	G	Ⅲ	〃	2.1	2.3	0.3	2.0	〃	〃、磨製
609	G	Ⅲ	丸石	2.3	1.55	0.7	4.0	〃	〃、丸くつるつるした自然礫
610	G	Ⅲ	〃	2.3	1.55	1.0	5.1	石英	〃、丸くつるつるした自然礫
611	B	Ⅲ	〃	2.1	1.5	1.0	4.5	〃	〃、丸くつるつるした自然礫
612	G	Ⅲ	〃	2.05	1.2	0.9	2.9	〃	〃、丸くつるつるした自然礫
613	B	Ⅳ	〃	2.6	1.6	0.85	5.3	〃	〃、丸くつるつるした自然礫
614	G	—	〃	2.25	1.3	0.55	2.0	〃	〃、丸くつるつるした自然礫
615	B	Ⅳ	剥片	4.9	3.95	1.0	18.4	チャート	〃、丸くつるつるした自然礫
616	A	SC6	原石	30.8	27.3	17.5	22000.0	〃	〃



布平遺跡全景（北東から）



布平遺跡A～D区V層上面遺構完掘状況



布平遺跡G・E～F区V層上面遺構完掘状況



E区北壁土層断面



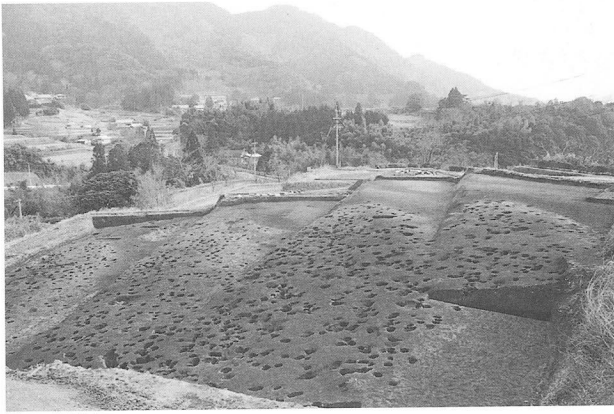
E区V層上面検出竪穴住居跡



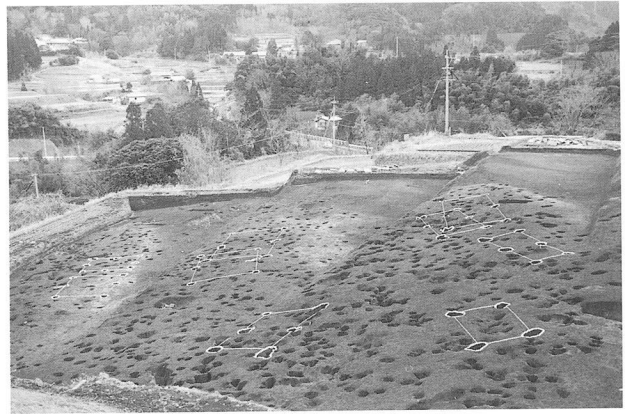
E・F区V層上面遺構完掘状況



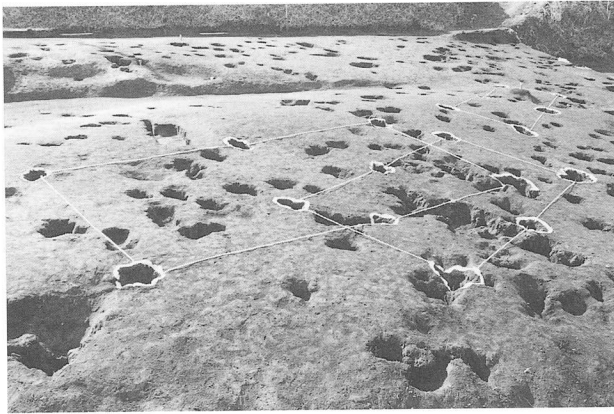
SA6床付近出土古銭



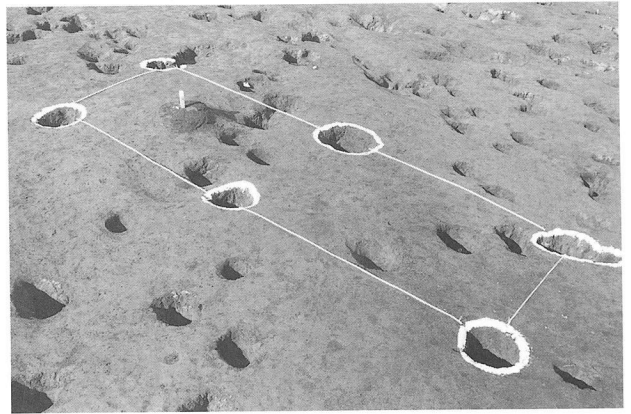
A～D区V層上面（北西から）



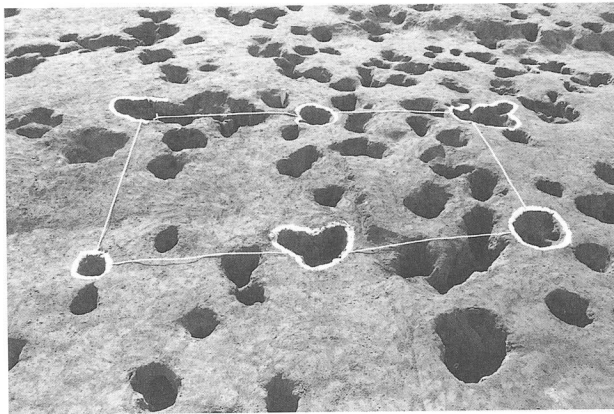
SB 1～8（西方から）



B区V層上面SB 1～3（東から）



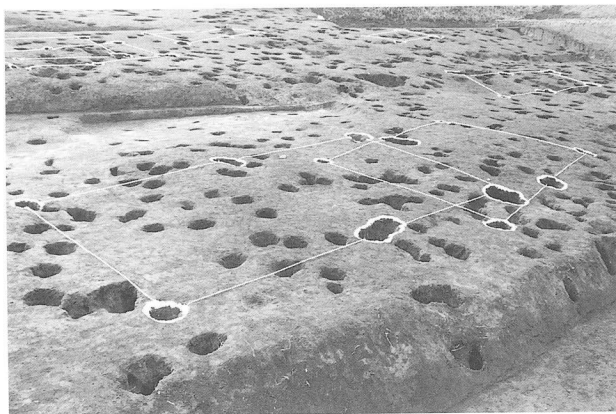
V層上面SB 3（南から）



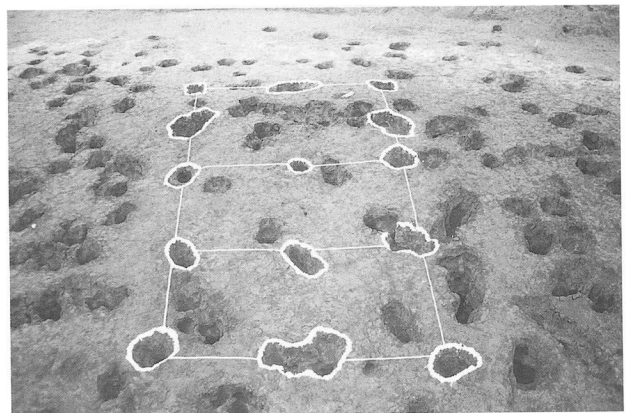
SB 4（北東から）



SB 4～5（西から）



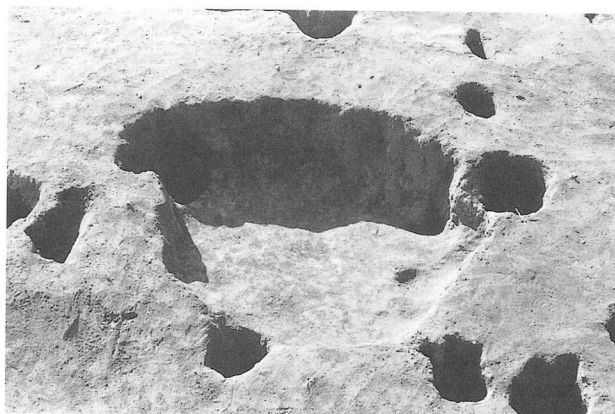
SB 4・6～7（東から）



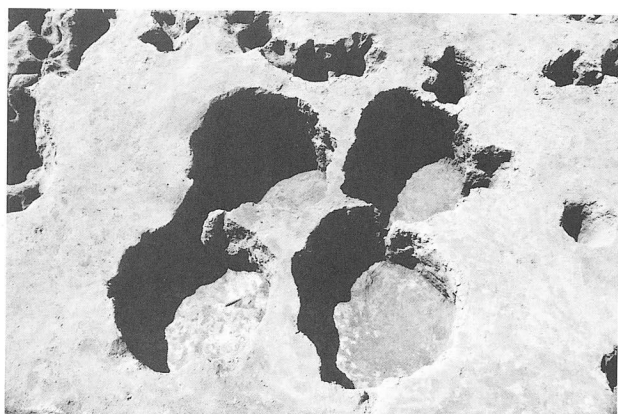
SB 9（北東から）



A区V層上面SC 1 (北東から)



SC 2 (北東から)



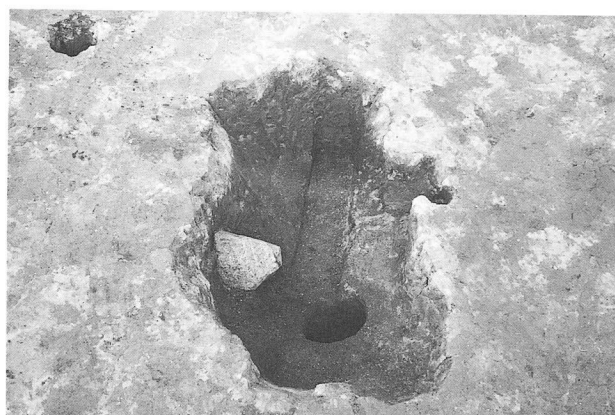
SC 10・8・11・9 (北東から)



SC 3 (北西から)



SC 4 (北から)



SC 6 (東から) 中にチャート原石



G区SC 7 (東から)



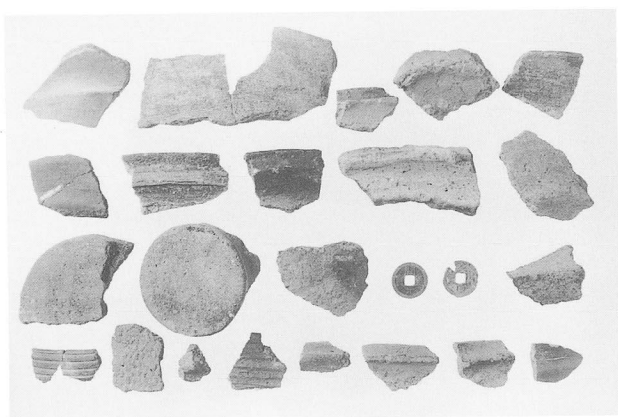
SC 12 (西から)



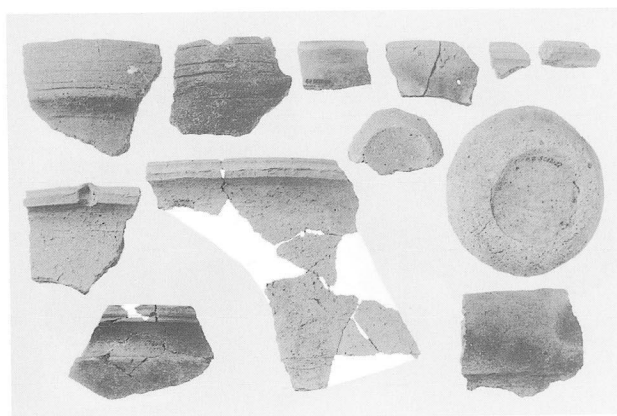
SC13 (北から)



SC13完掘 (西から)



1~24 (14・15はSA6出土銅銭)

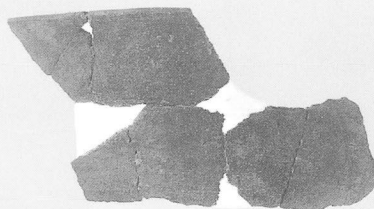


25~35・38

※番号は図・表番号と同じ(左→右、上→下の順、以下同じ)



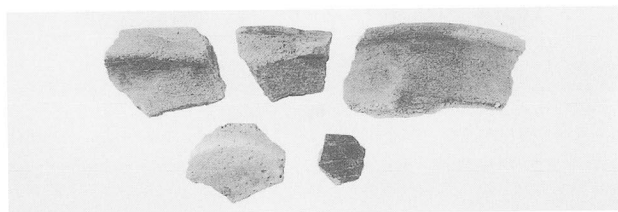
36



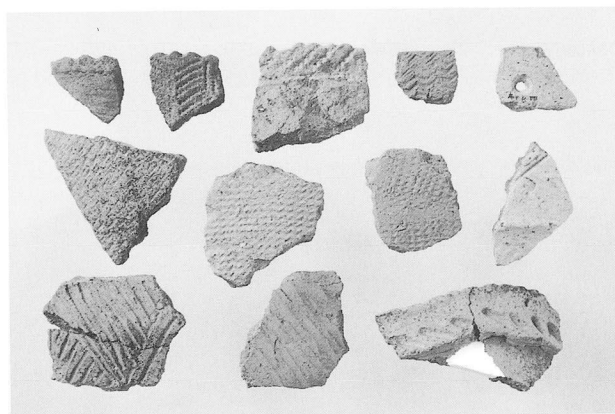
37



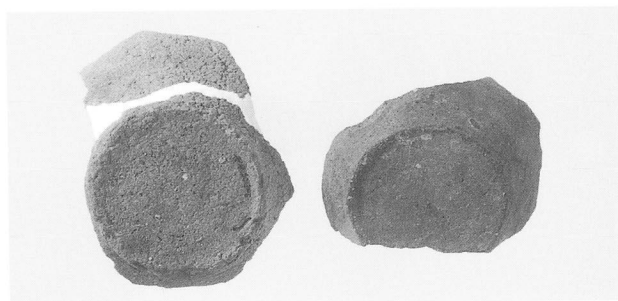
39



40~42・44~45



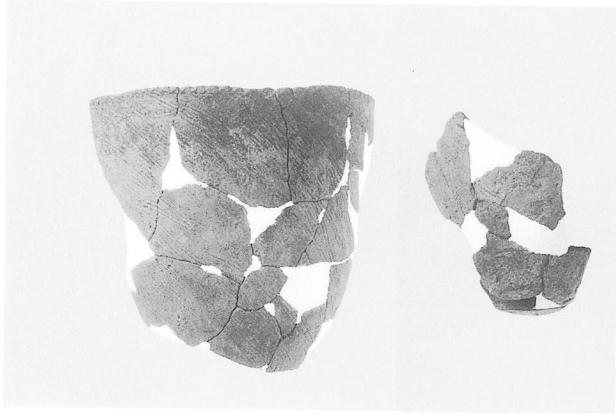
47~55・58~60



43

46

布平遺跡出土土器・古銭(1)



56

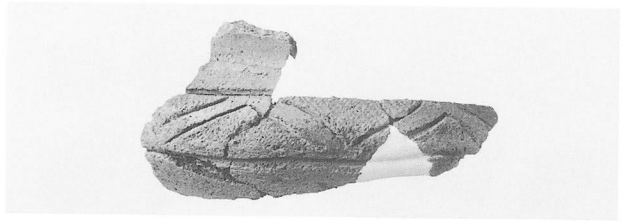
57



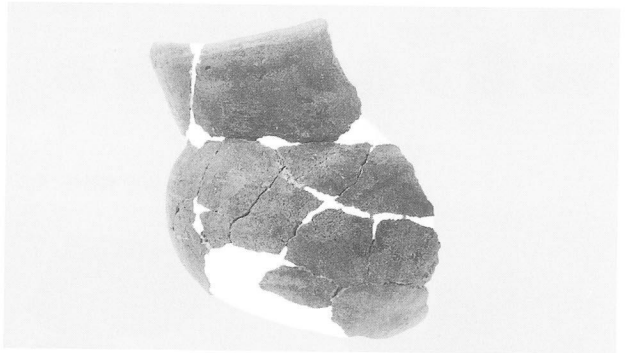
61~63



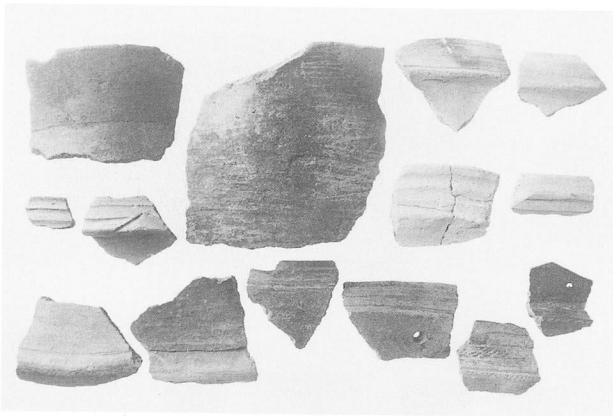
64~66 · 68~78



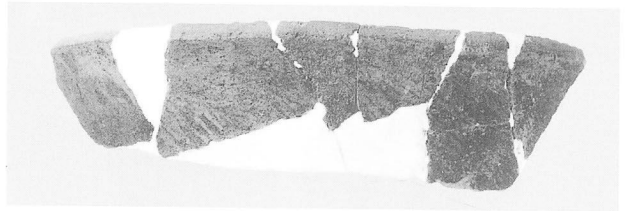
67



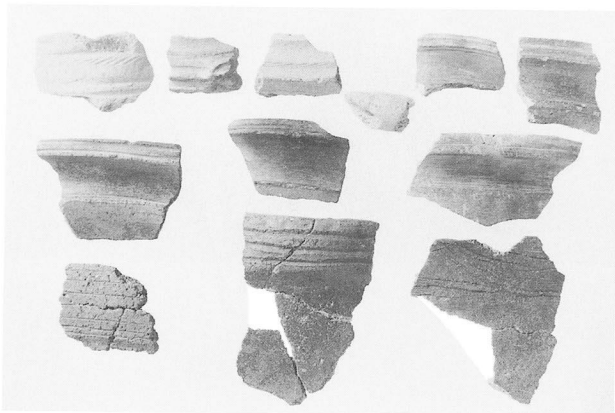
79



81~94



80



95~97、注口部、98~105

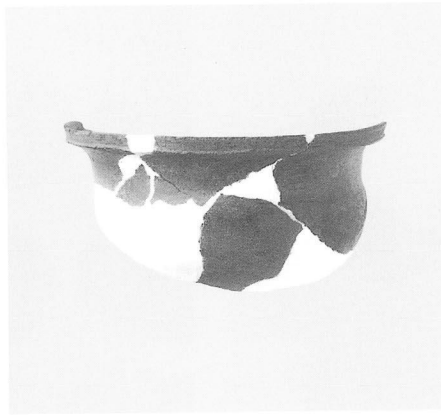


106

布平遺跡出土土器 (2)



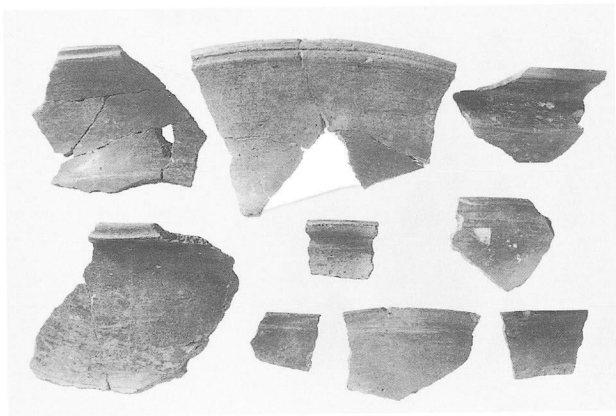
108



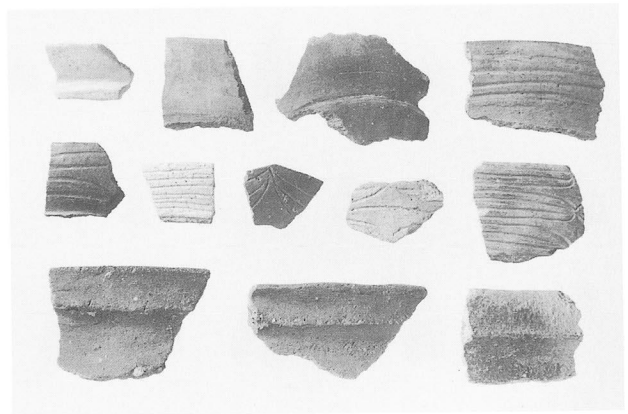
109



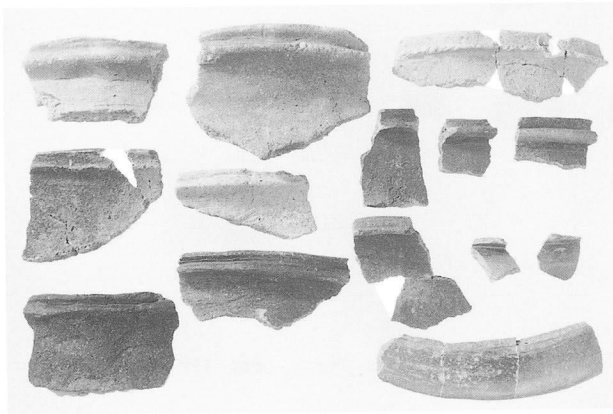
107



110~118



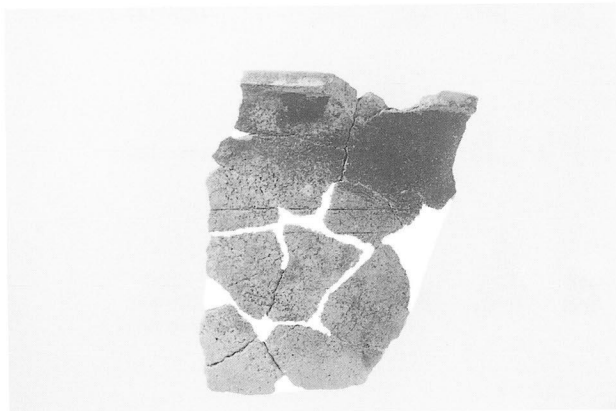
119~130



131~133・135・137~146



134



136

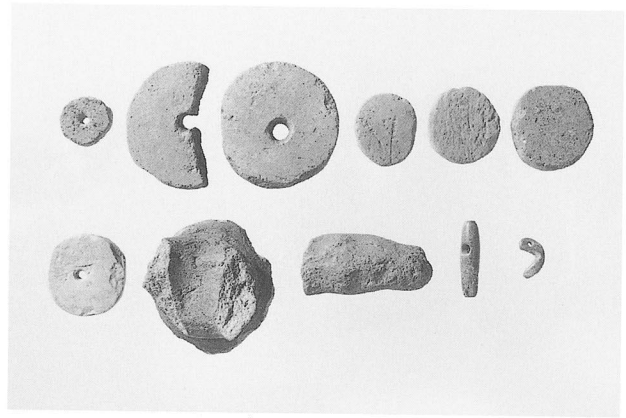


147~152・154

布平遺跡出土土器 (3)

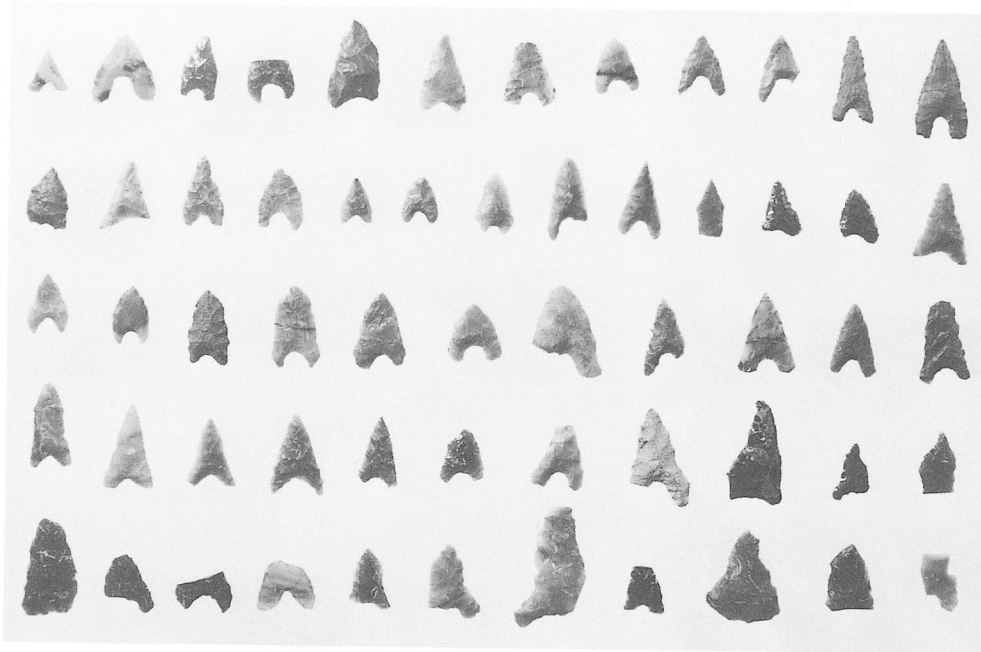


153・155



156~166 (162・165~166は石製品)

布平遺跡出土土器・石製品 (4)



計測表番号

石鏃 1~12

13~25

26~36

37~47

48~58



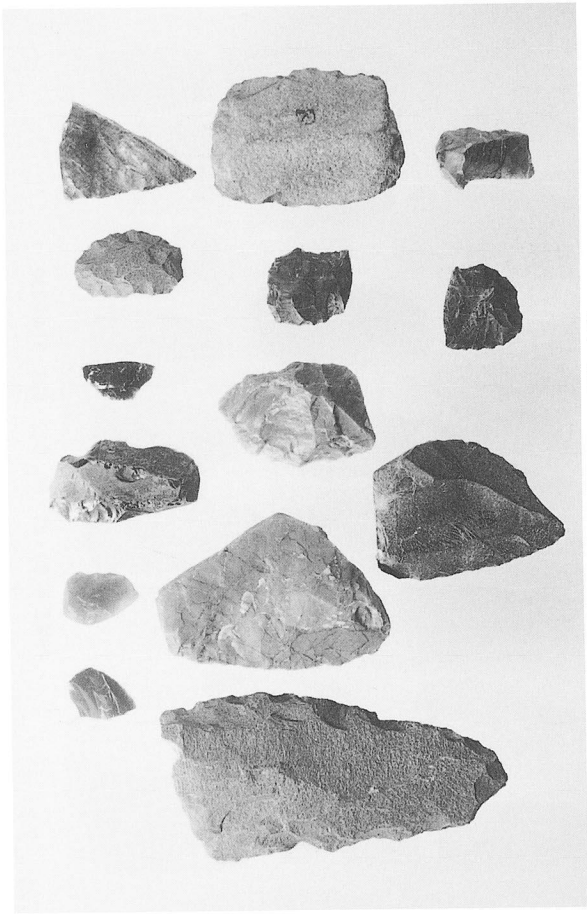
石鏃 127~136

137~147

148~159

160~171
(171は剥片)

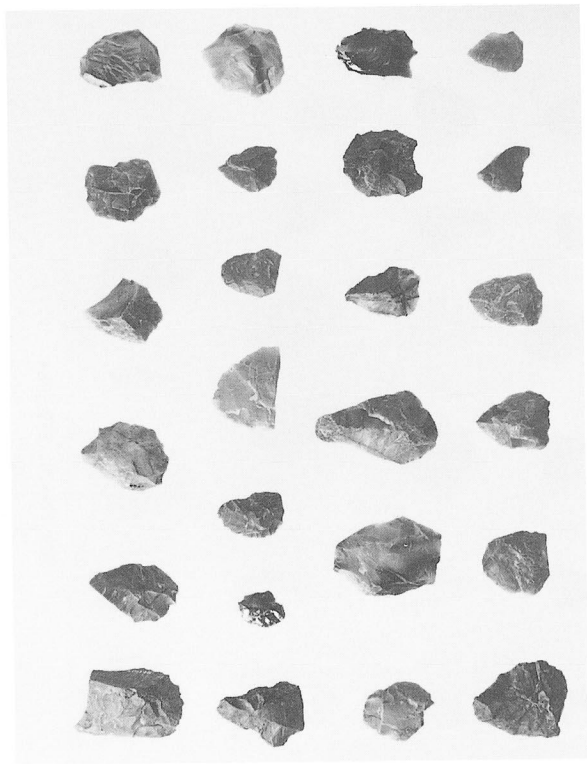
布平遺跡出土石器 (1)



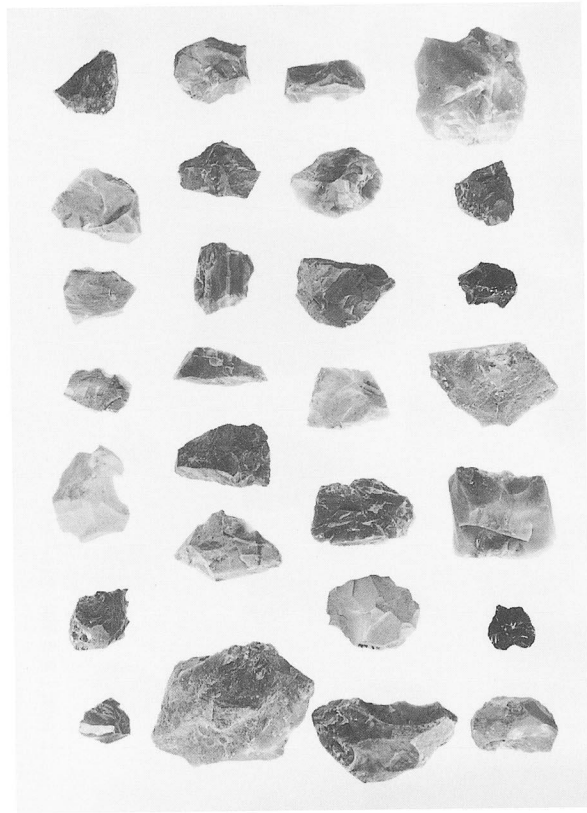
スクレイパー 68~71、175~184



石錐 59~62、172~174、石匙 63~67

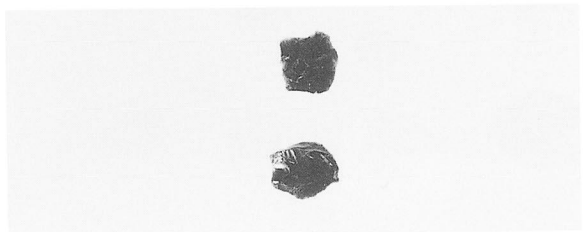


二次加工ある剥片 210~234



石核 74~76、185~209

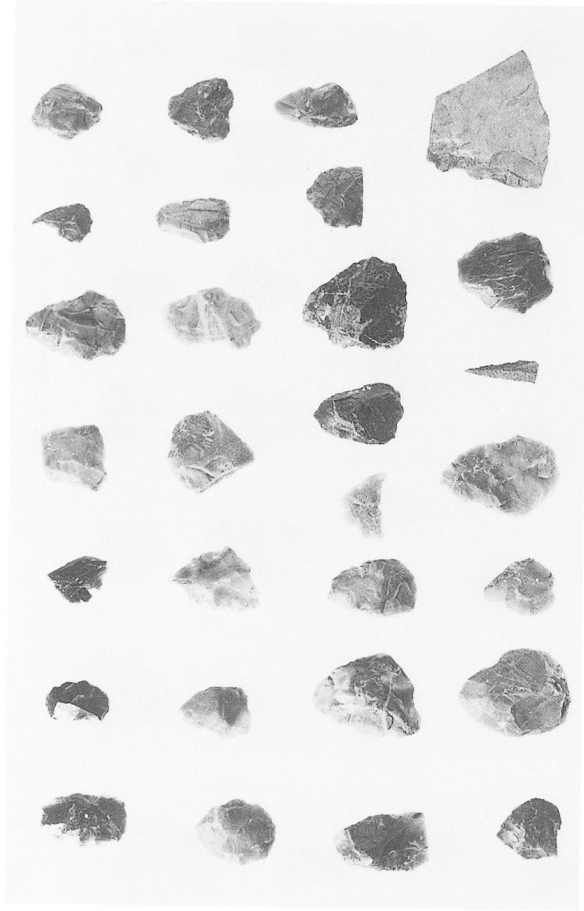
布平遺跡出土石器 (2)



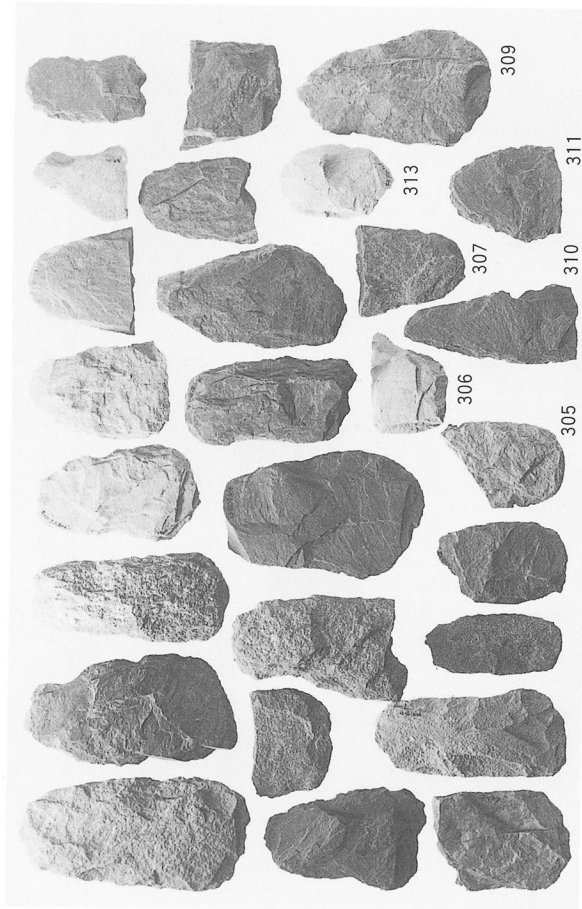
クサビ 72~73



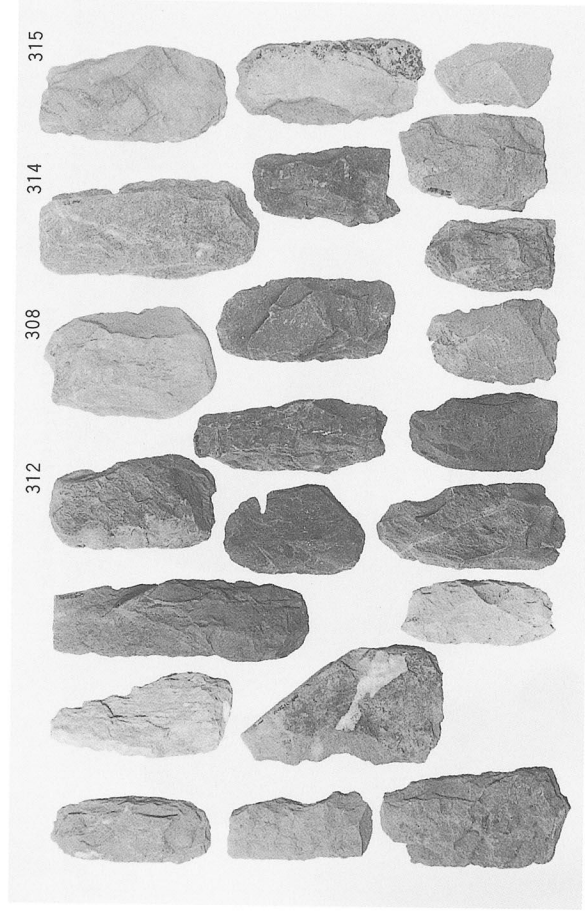
二次加工ある剥片 235~258



剥片 77~79、259~284

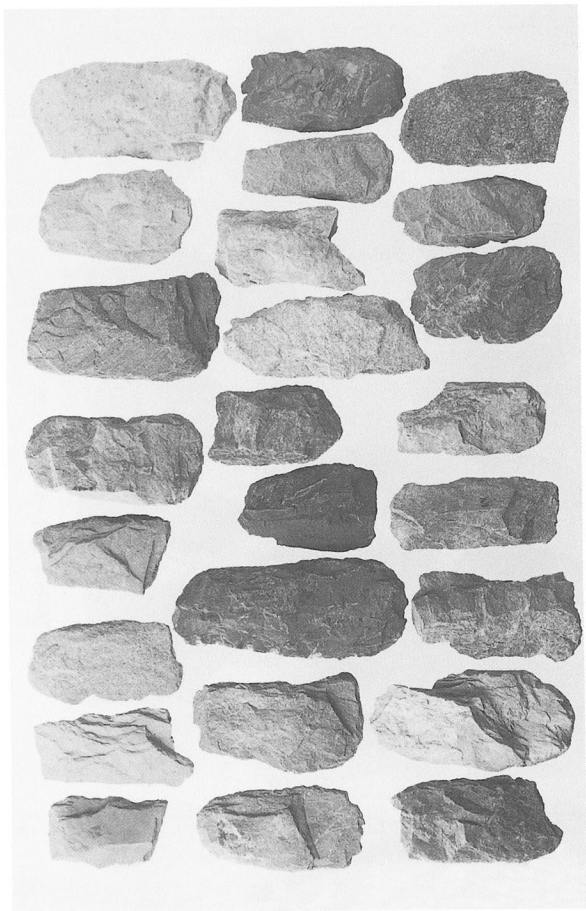


打製石斧 285~307、313、309~311

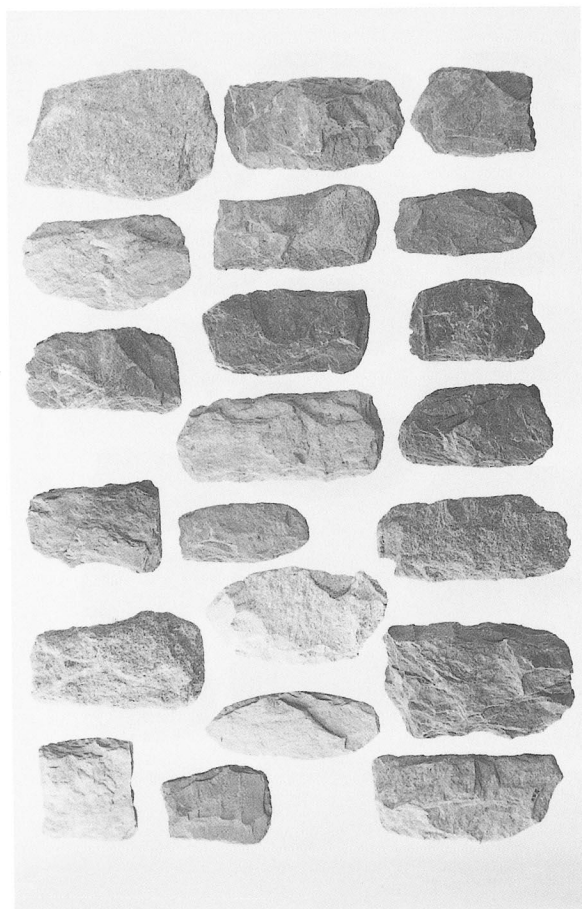


打製石斧 80・82・81、312、308、314~330

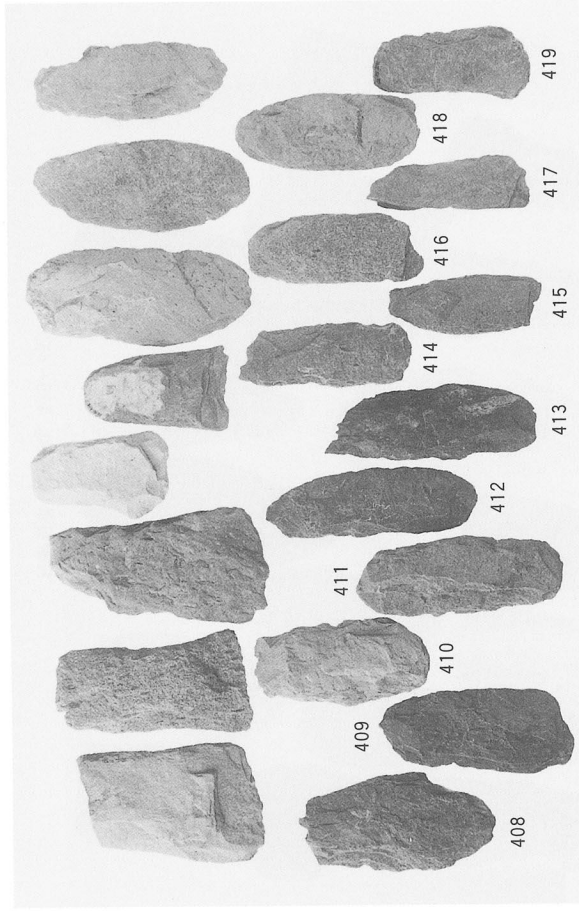
布平遺跡出土石器 (3)



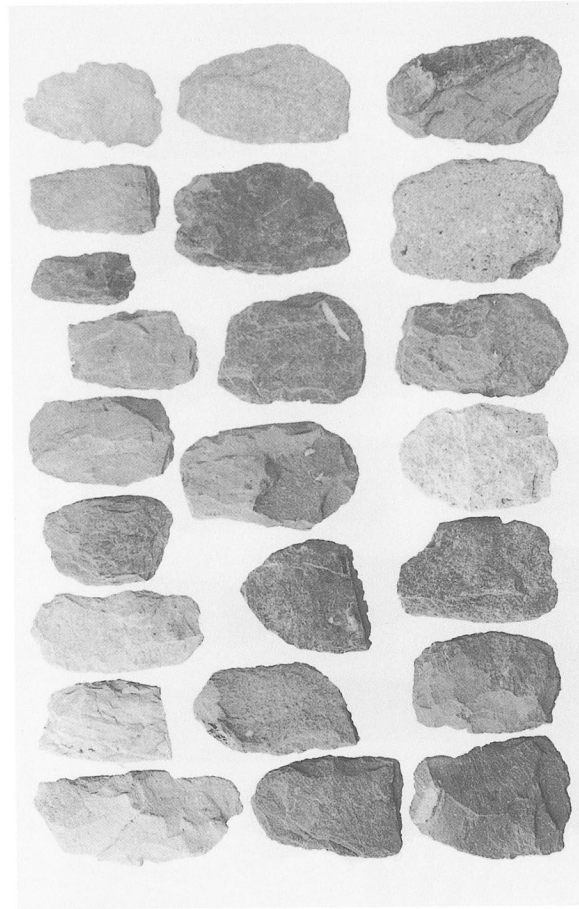
打製石斧 352~372、374、373、375~376



打製石斧 331~351

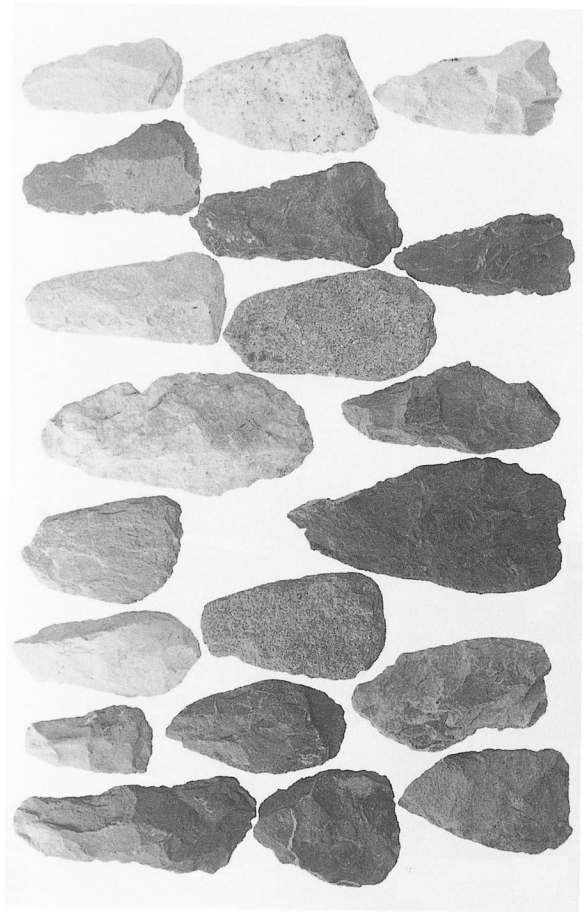


打製石斧 400~419

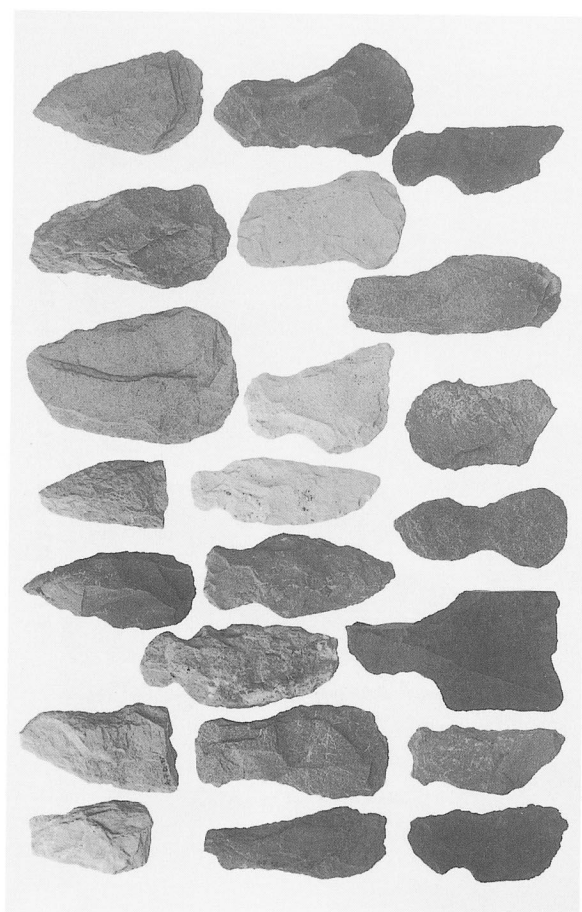


打製石斧 377~399

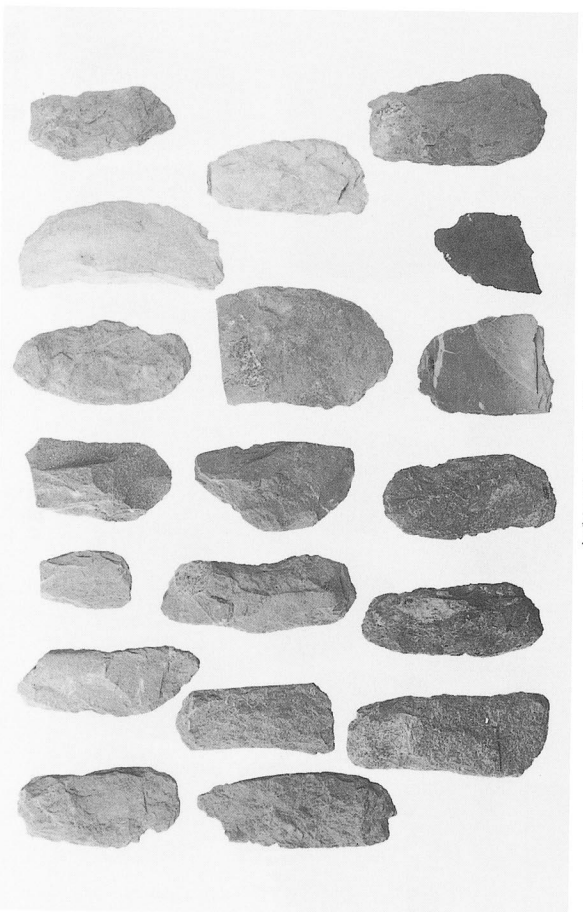
布平遺跡出土石器 (4)



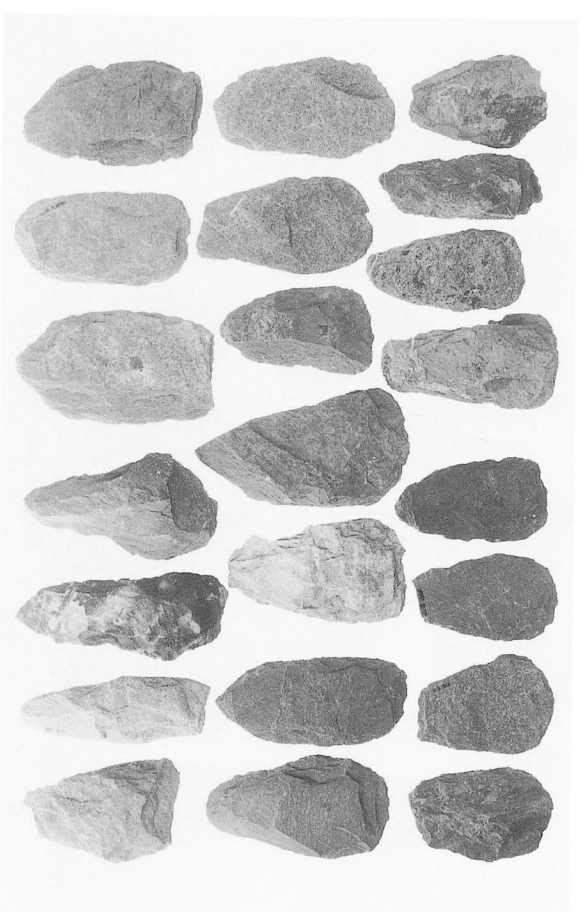
打製石斧 83~90、439~450



打製石斧 473~479、91~96、480~488



打製石斧 420~438



打製石斧 451~472

布平遺跡出土石器 (5)